

こう見えて

風雲”アライ”だいき



生^は

え

て

ます。

【電子単行本】

成年
コミック

こう見えて生えています。

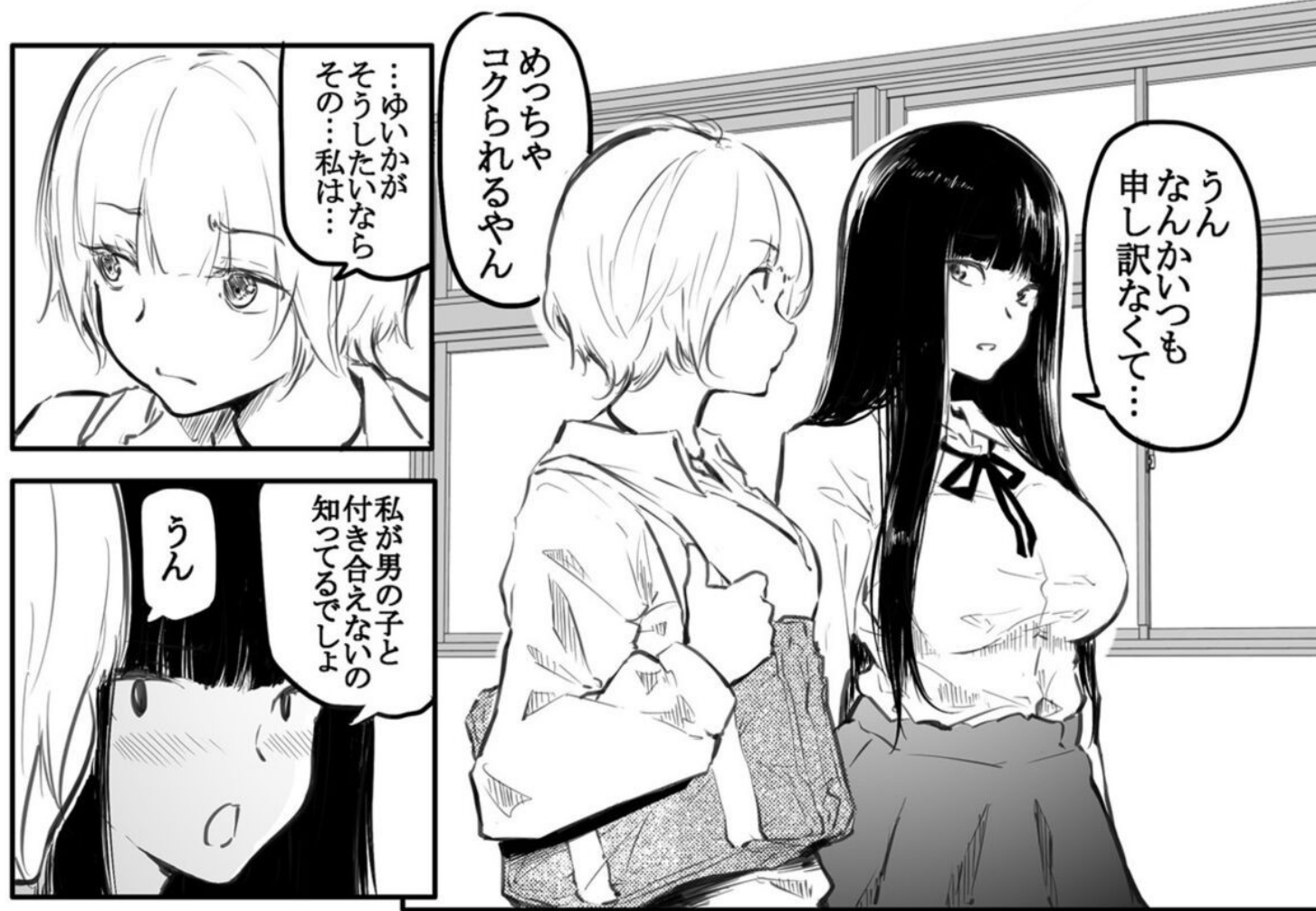
C O N T E N T S

- | | |
|-----|----------------|
| 003 | 第 1 話 |
| 031 | 第 2 話 |
| 053 | 第 3 話 |
| 079 | 第 4 話 |
| 101 | 第 5 話 |
| 125 | 第 6 話 |
| 155 | 第 7 話 |
| 173 | 第 8 話 |
| 195 | 第 9 話 |
| 217 | 第 10 話 特別先行カット |
| 224 | カラーイラスト |
| 228 | あとがき |



第一話







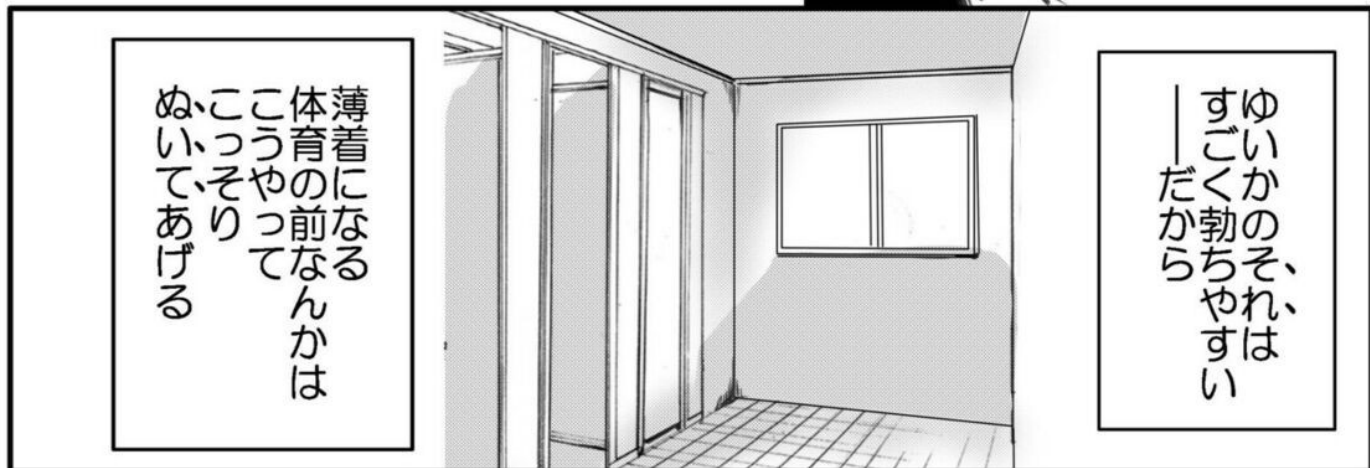
おち○ちんが
ついてる



この子
こう見えて







—3年前—

はい…

これじゃ
立ち上がれないよ



すごい勃ってる



それじゃ
次



鳴美



どう
どうしよう
昨日えれな
たぬいてもら
たのに



先生

ガッ



そこ
あつし
読むつ

いや
読みたい

おおお
そうか











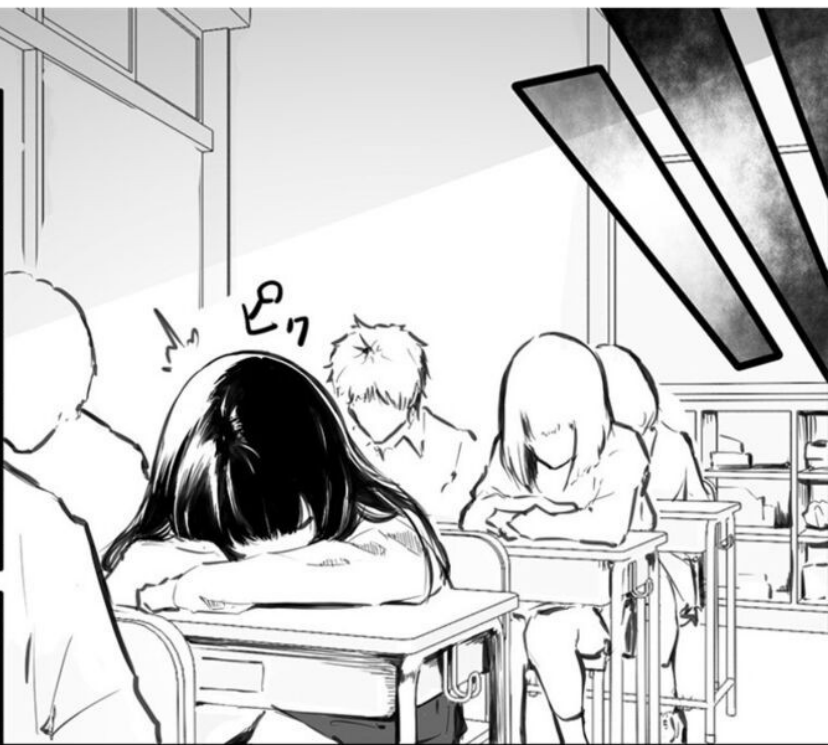


何!?

何これ?

誰?

おめえさー



射精で
てる!!?

!?

くくく
くくく

まって
まって
まって!?



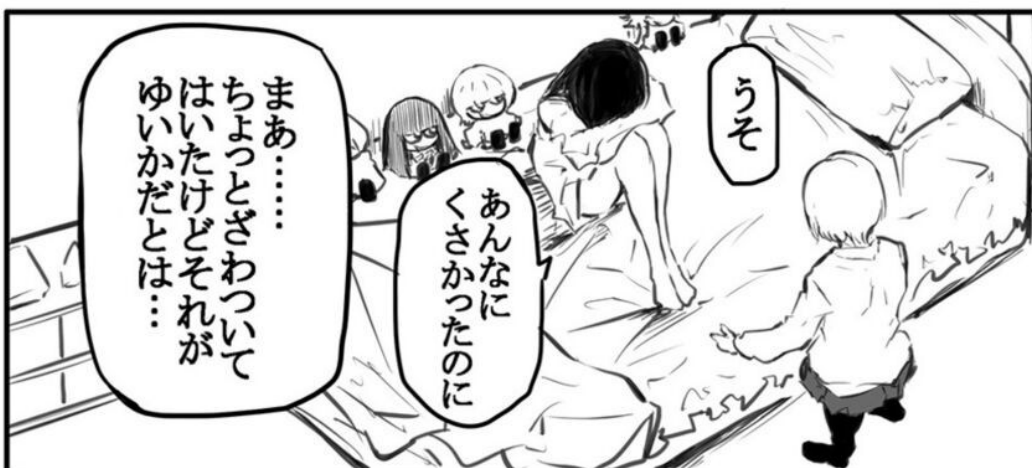
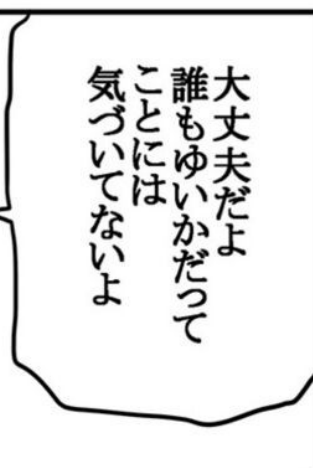
!?

じゅ..

ぐしょ





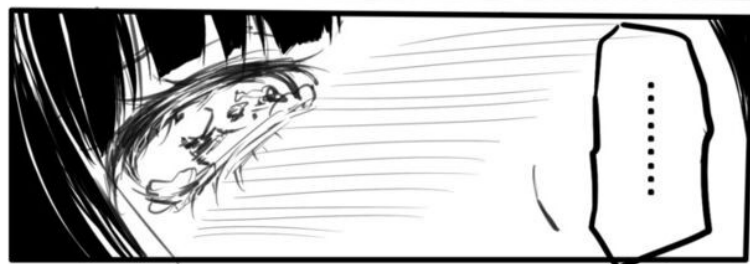














えれなっ

わた...っ
私ね

でもえれなは
親切で...私のこと
かわいそうだから

本当は
ずっとこう
なりたかった

いつもあんなこと
してくれてるって



だって
きもちわるいでしょ

こんな

こんなの
ついてて...

ヤッ

とろとろ

みち..

ヤッ

ゆいかは
かわいいよ

んんっ

ちよー
かわいい

おっぱいだって
あたしより
おっきいし

ふん

そのうえ
こんなきもちいい
おち○ちんまで
ついてるなんて

最強じゃん

ぬちゅ

あ♡

ぬちゅ





んっ…んっ
奥あたつて…

あッ

あッ

あッ…ッ

はちゅん

はちゅん

ほんと？

私も…っ
きもちいい

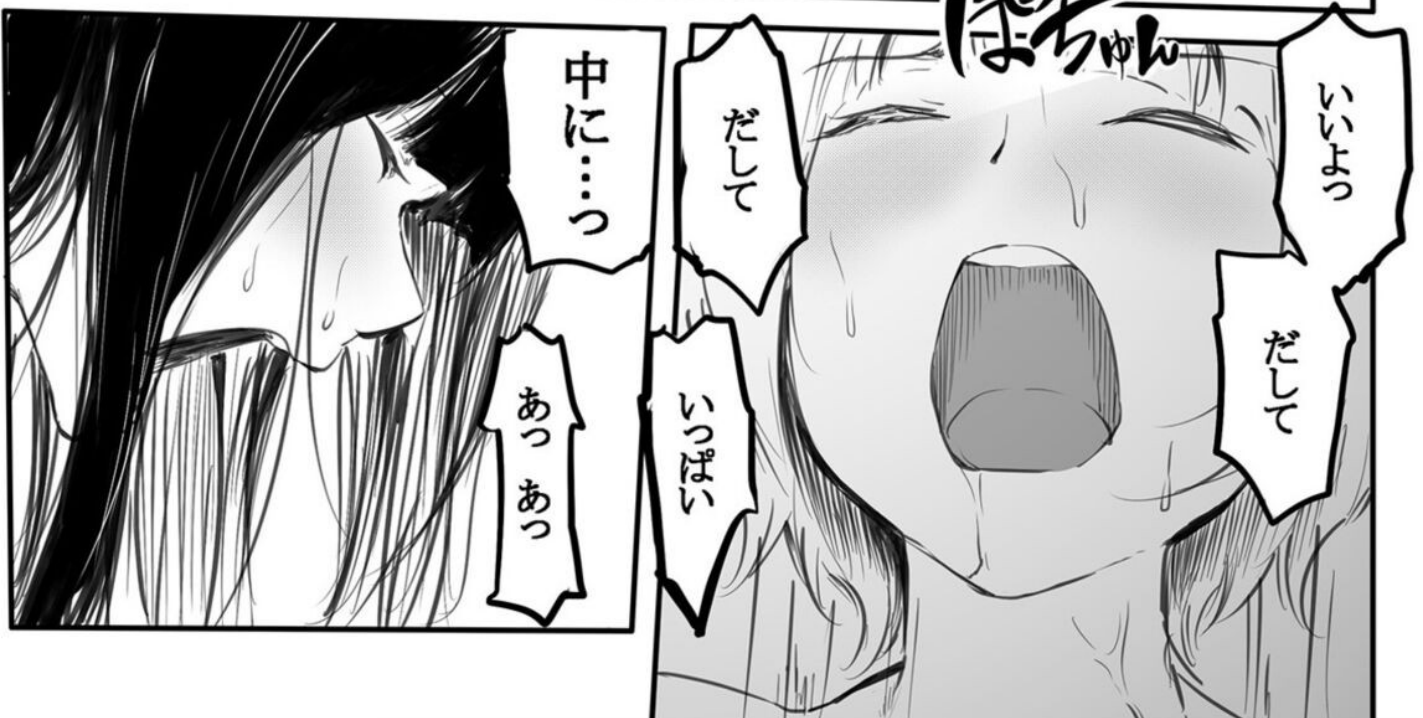
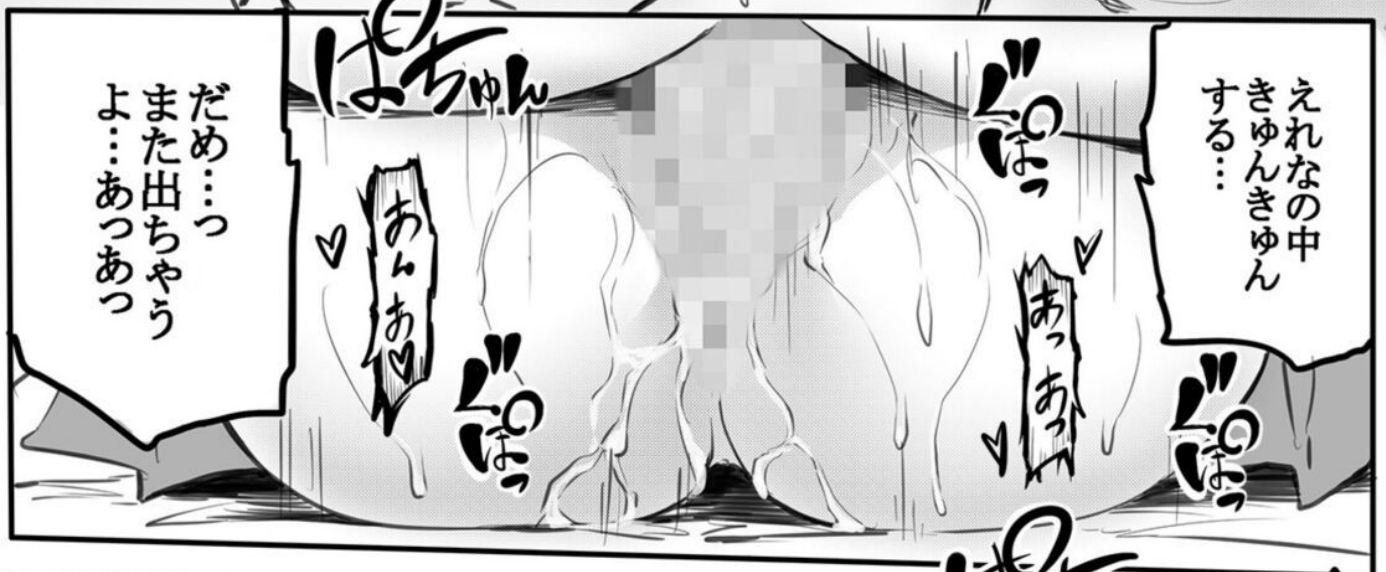
はちゅん

ゆいかの
おち○ちん
きもちいいよ

あッあッ
これ…ッッ

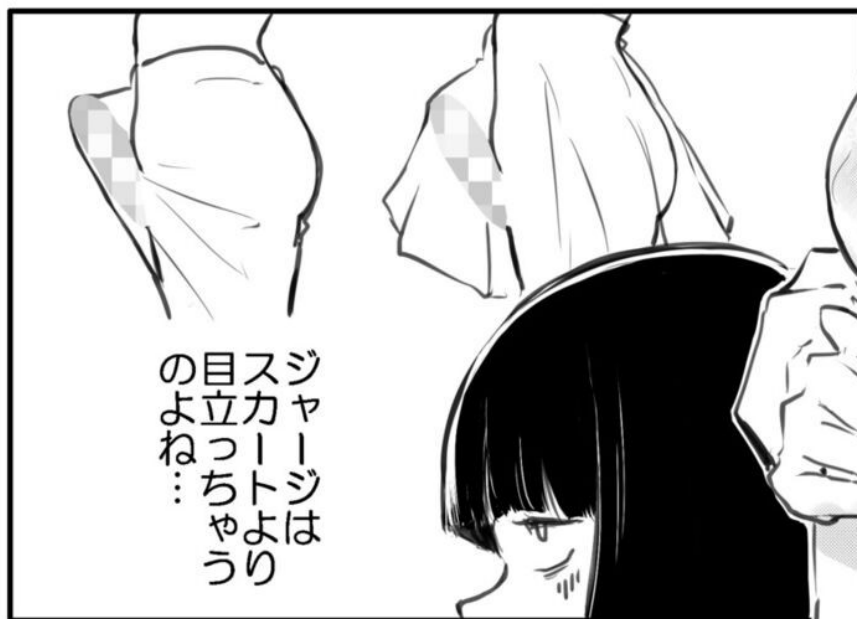
!!















見事に勃つて
るねー

うう

おねがいします

ぴん
ぴん



ん

ちゅ♡



横になつて

グー

グー





えれな…
おち○ちのん
しゃぶるのん

うまく
なってる
— ツツ







ナカにほしく
なつちやつた

ゆいかの
せーし

アッ...



挿入...っ

.....
た



えれな...
えつちに
なつたよね

ゆいかのせい
.....っだし

みる..

みる..



みち..

みち..

えれなの中...
あったかくて
ぎゅってされて

きもちいい

すっ

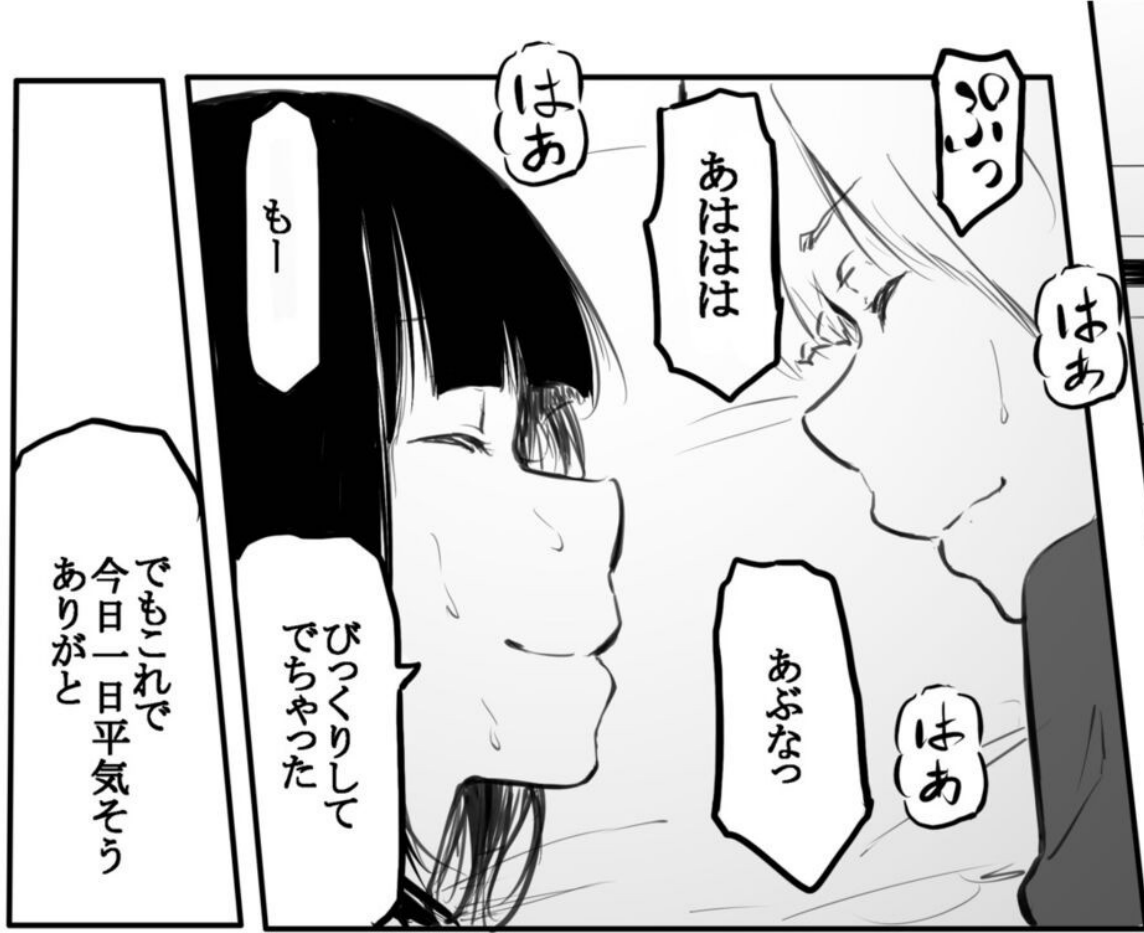
すぐ...
射精
ちやう—

あ

あ

あ





…あの
いきなり
ぶしつけな質問で
申し訳ないん
ですけど

鳴美さんって

レズ

なんですか？

いきなり
ぶしつけね

えっと…
どうして…？

いや
むらかみ
村上さんと
すごく仲いいし
よく二人で
トイレ行ったり
してるし…

え!?

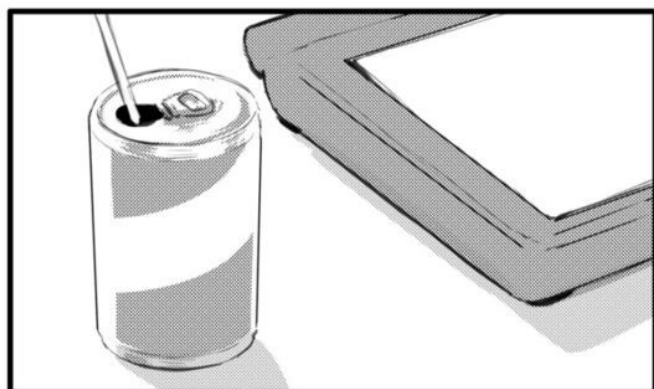
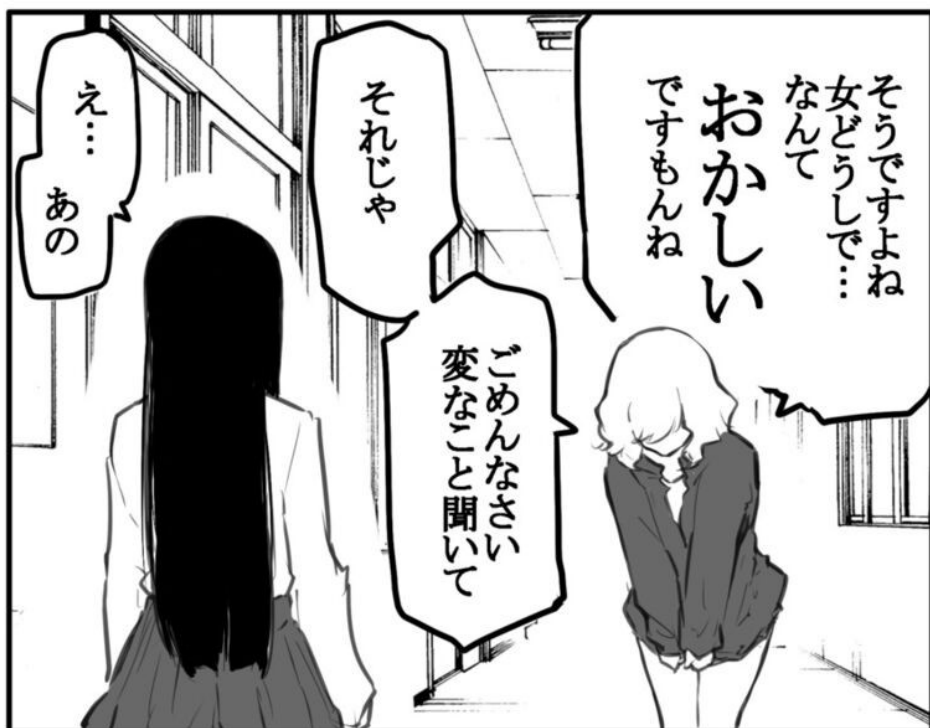
え…えれなとは
幼馴染だから

どこまで
バシてるの—!?

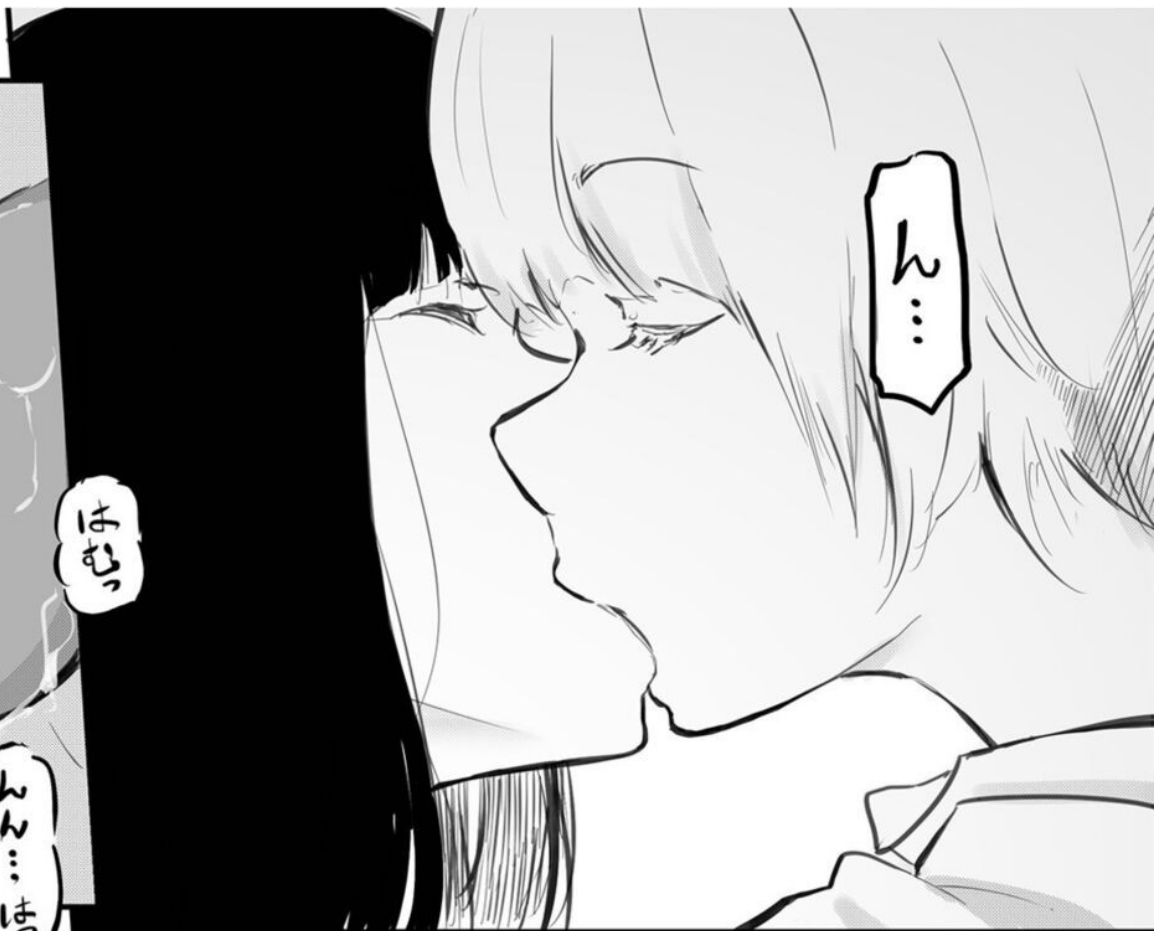
それだけ
よ…？

ほんとう
ですか…？

ええ…









私
ずっと
ぬれてんだ

モヤム



今日さ
ちやんと
できなかったからさ



欲しい

ゆいかの
おち○ちん



でも
こじや……

こつち
来れば
見えないから

トル！

ガマン
できないじゃない——

ずるいよ
えれな——

こんなの







ド

は...ん

あ♡

んん

んん

ん

んん

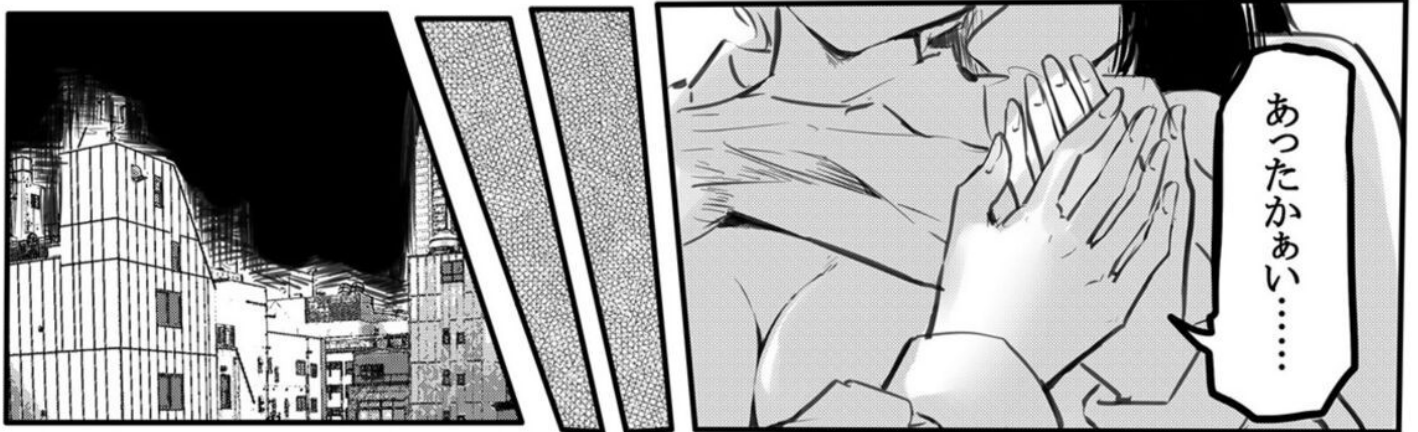
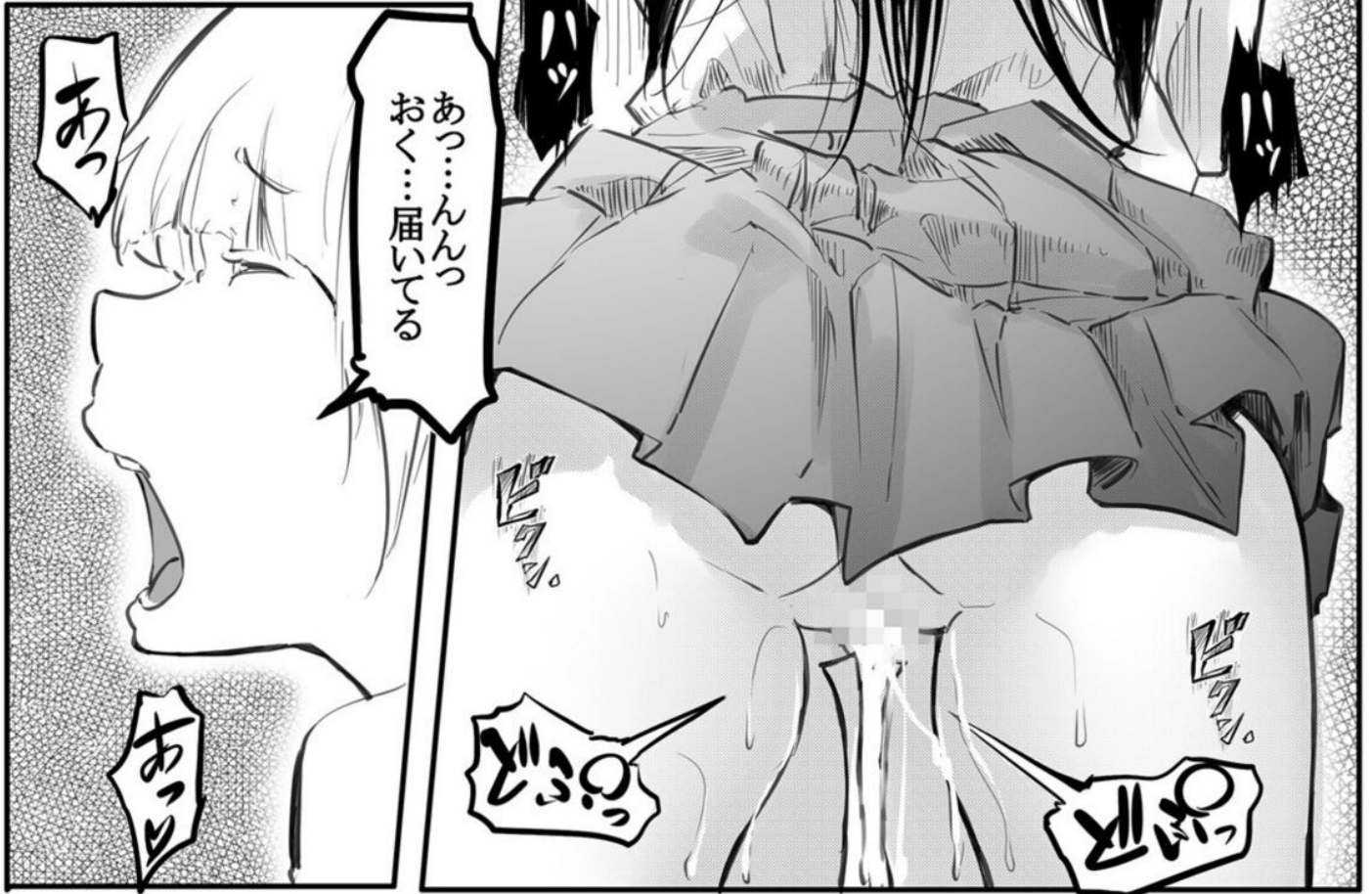
ん

んん

んん

んん

んん



翌朝

カチャ

バツ

封筒...?
ああ手紙か

ゴッ

.....
ッ

君のひみつも
知ってる

第三話





あなたの秘密を
知る者です

今日放課後
屋上で

会いませんか?

どろん

どろん

どろん

どろん





うーん…

でも
これだけだと
この秘密が
“あのこと”だつて
わかんなくない？

うん…
でも他に
そんな秘密
つて…



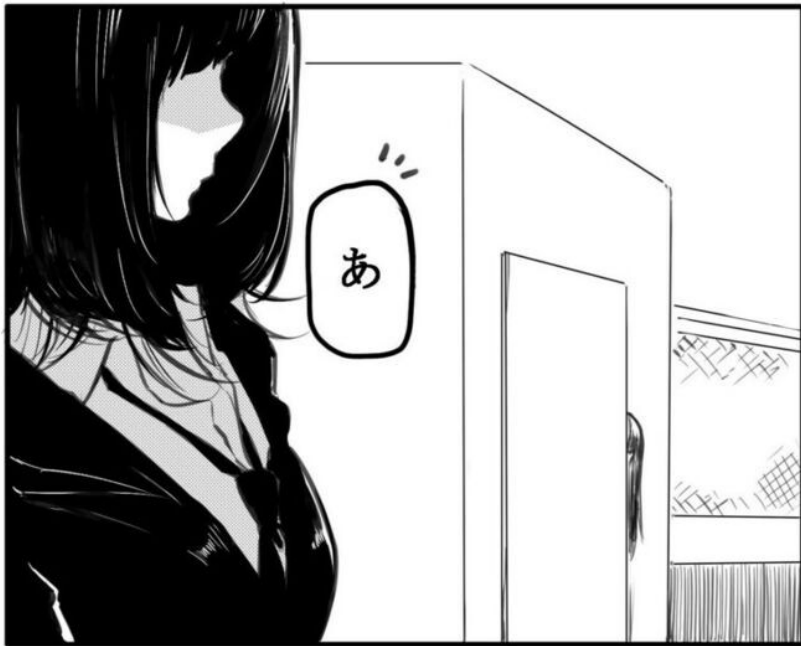
行くの？
私もいこつか？

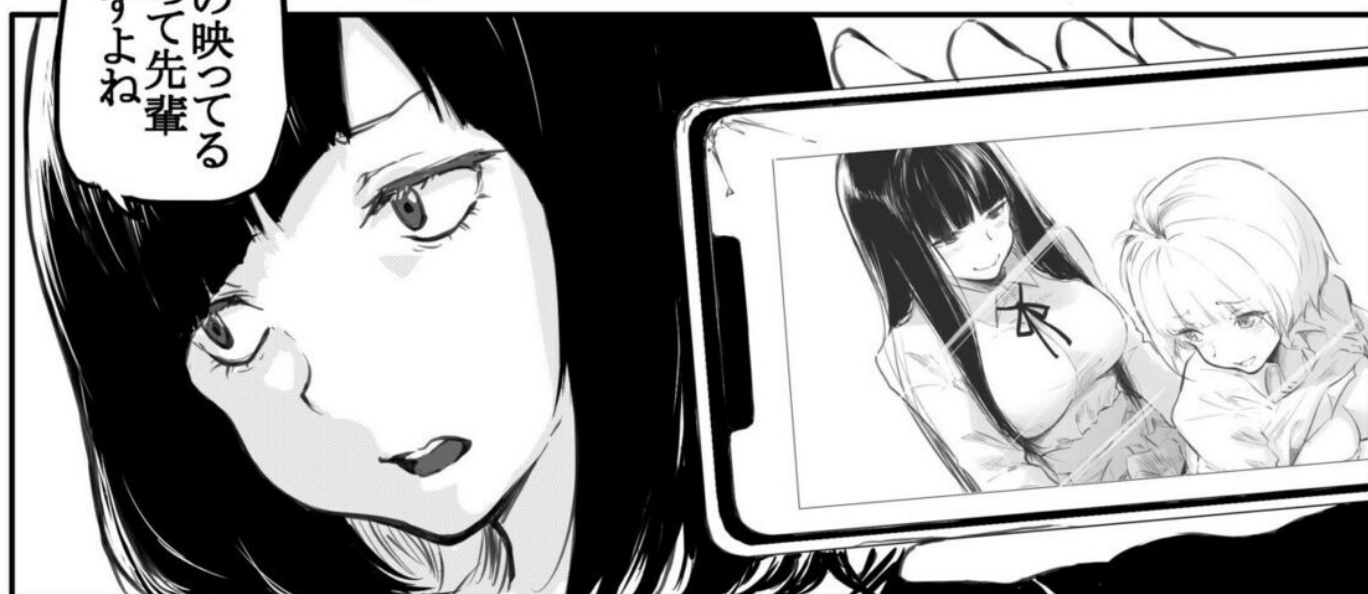
うん…でも
いつもえれなに
助けてもらつてるし

一人で行つてみる

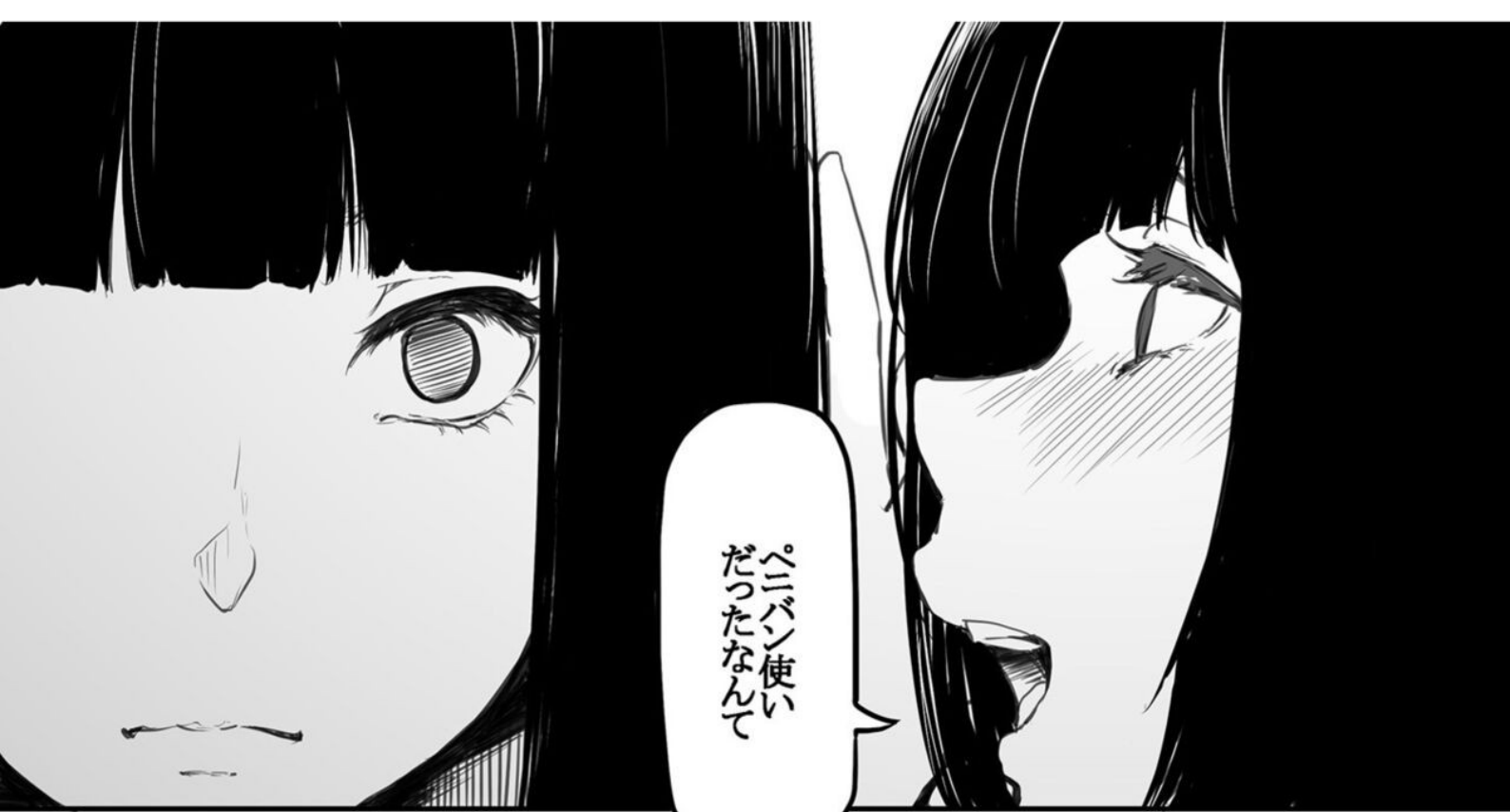
……そっか









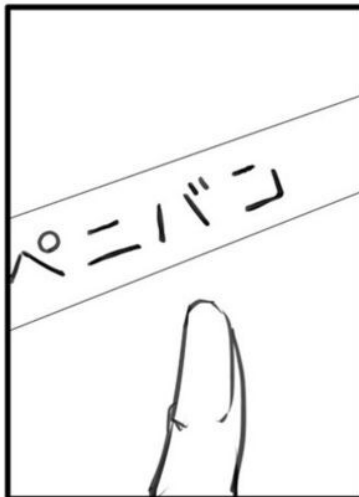
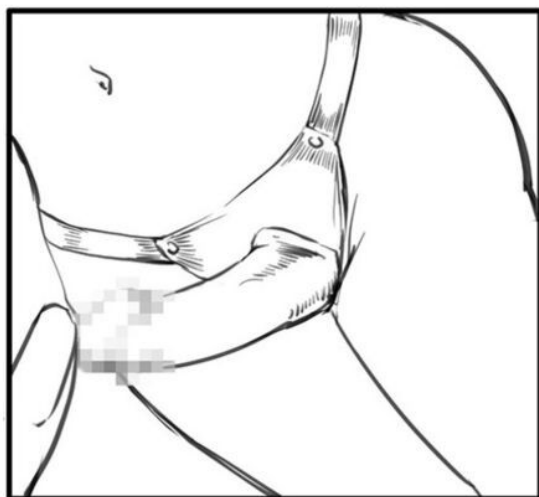


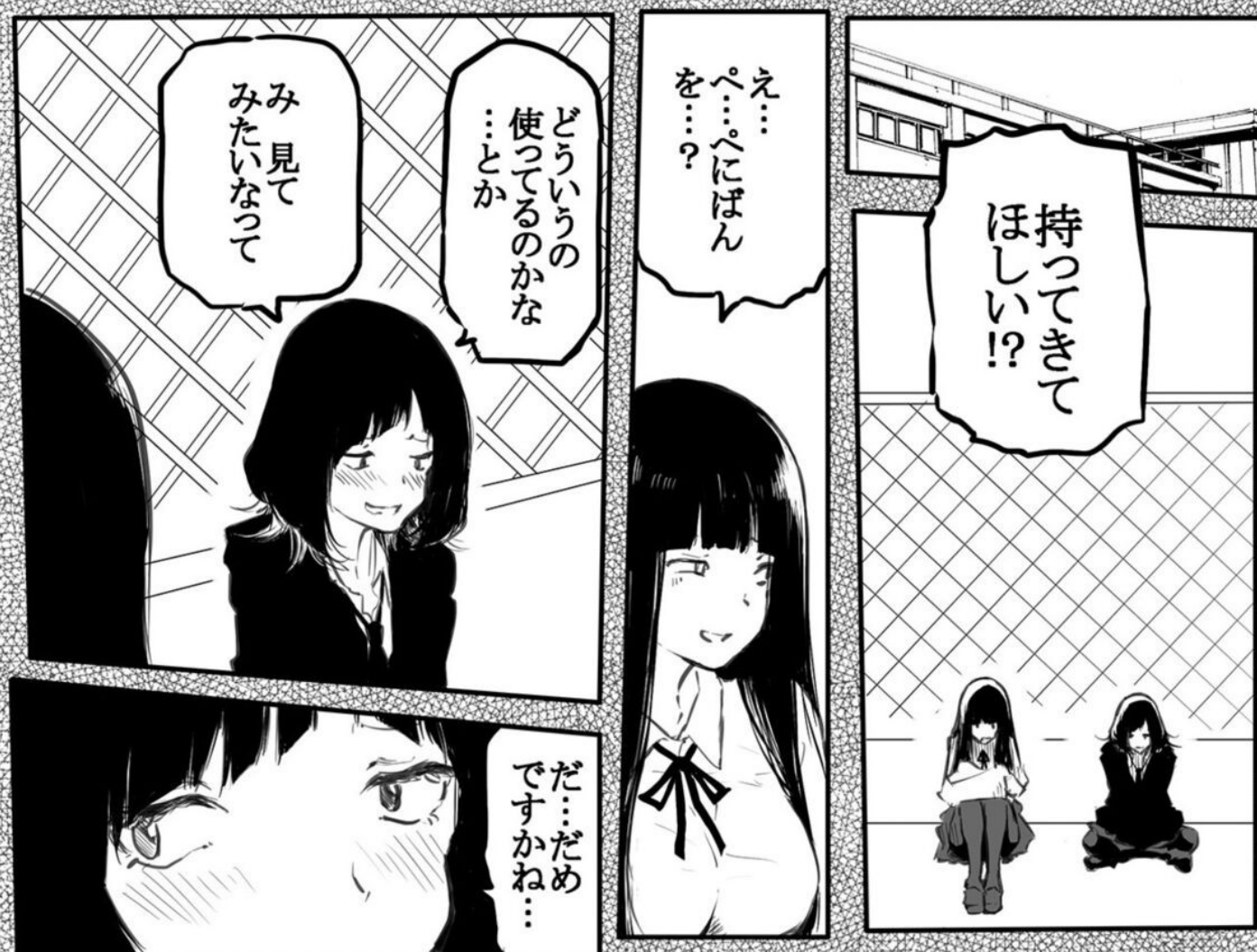
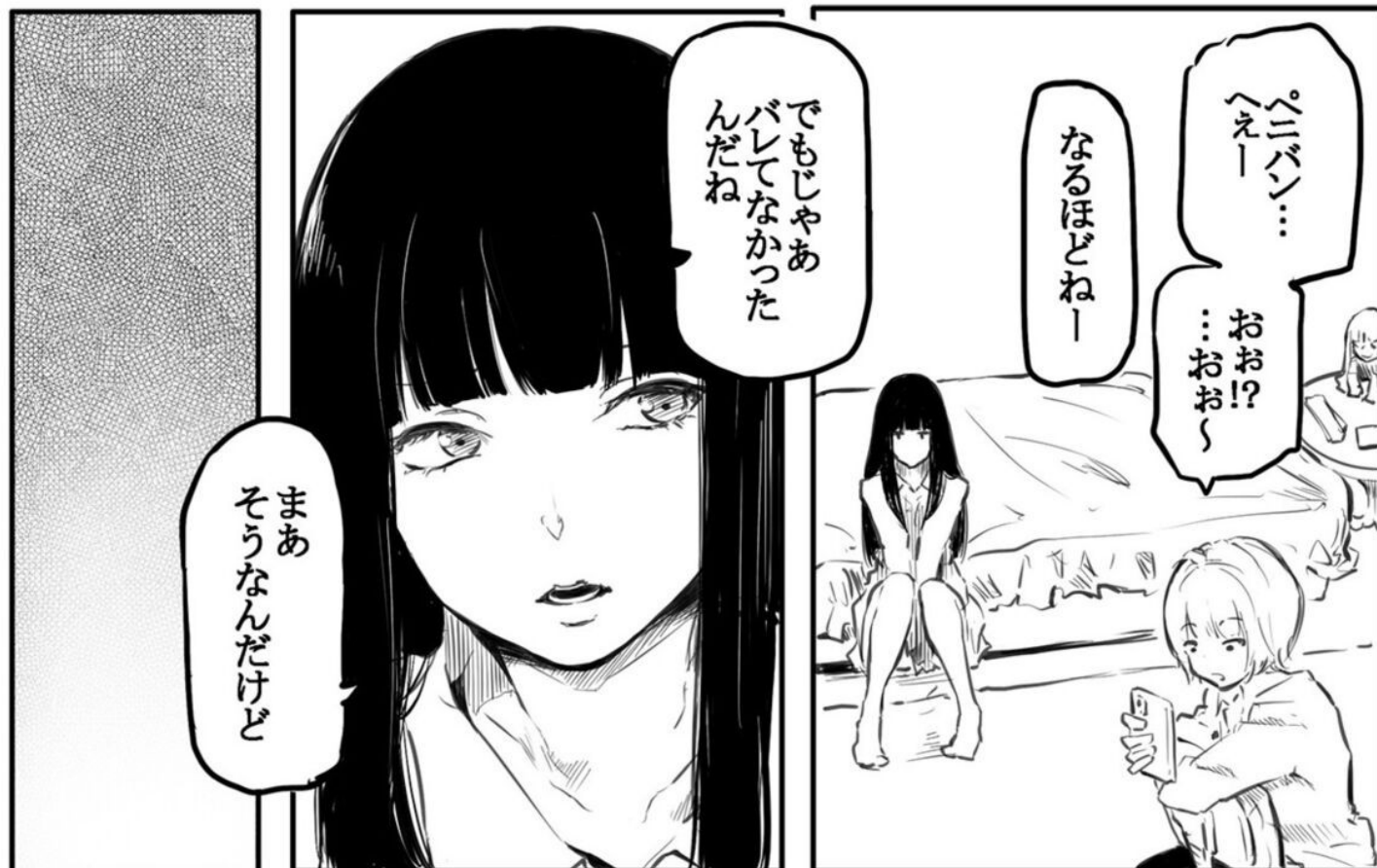
ペニバン使い
だったなんて



.....?
っ

.....



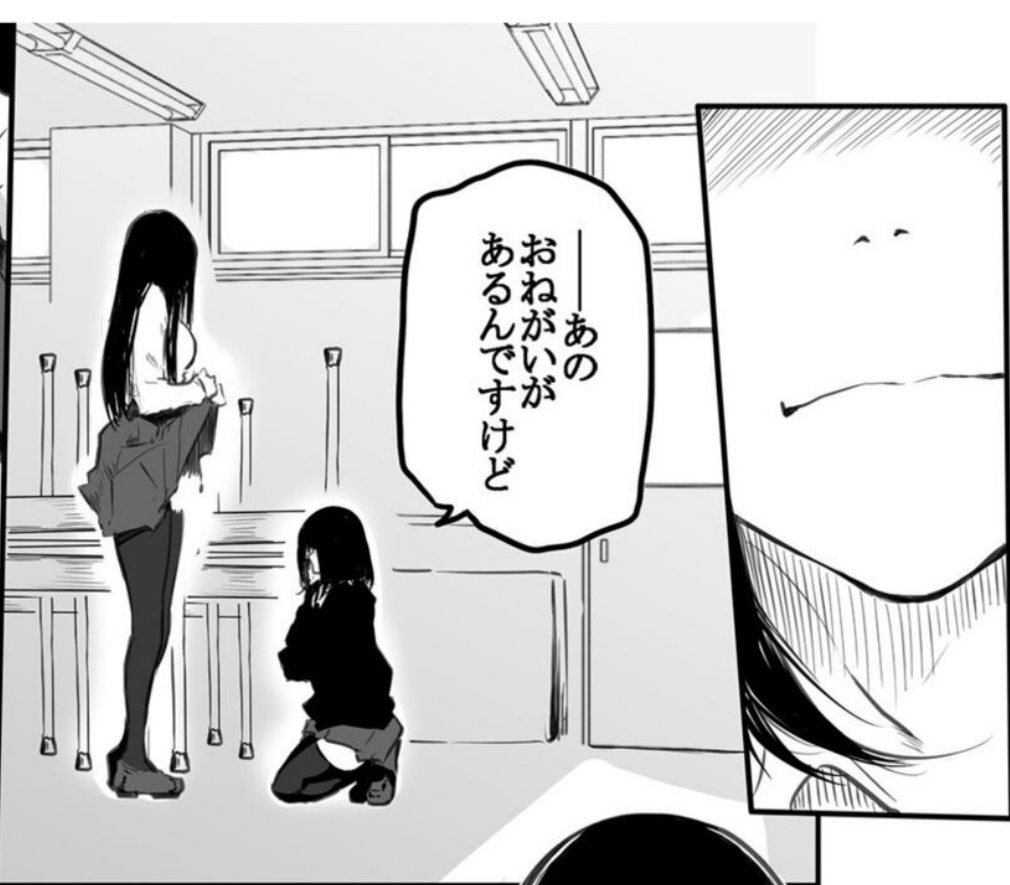












あの
おねがいがあるんですけど

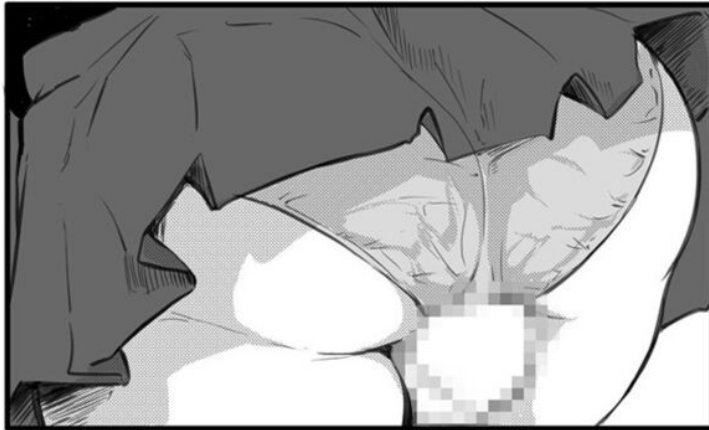


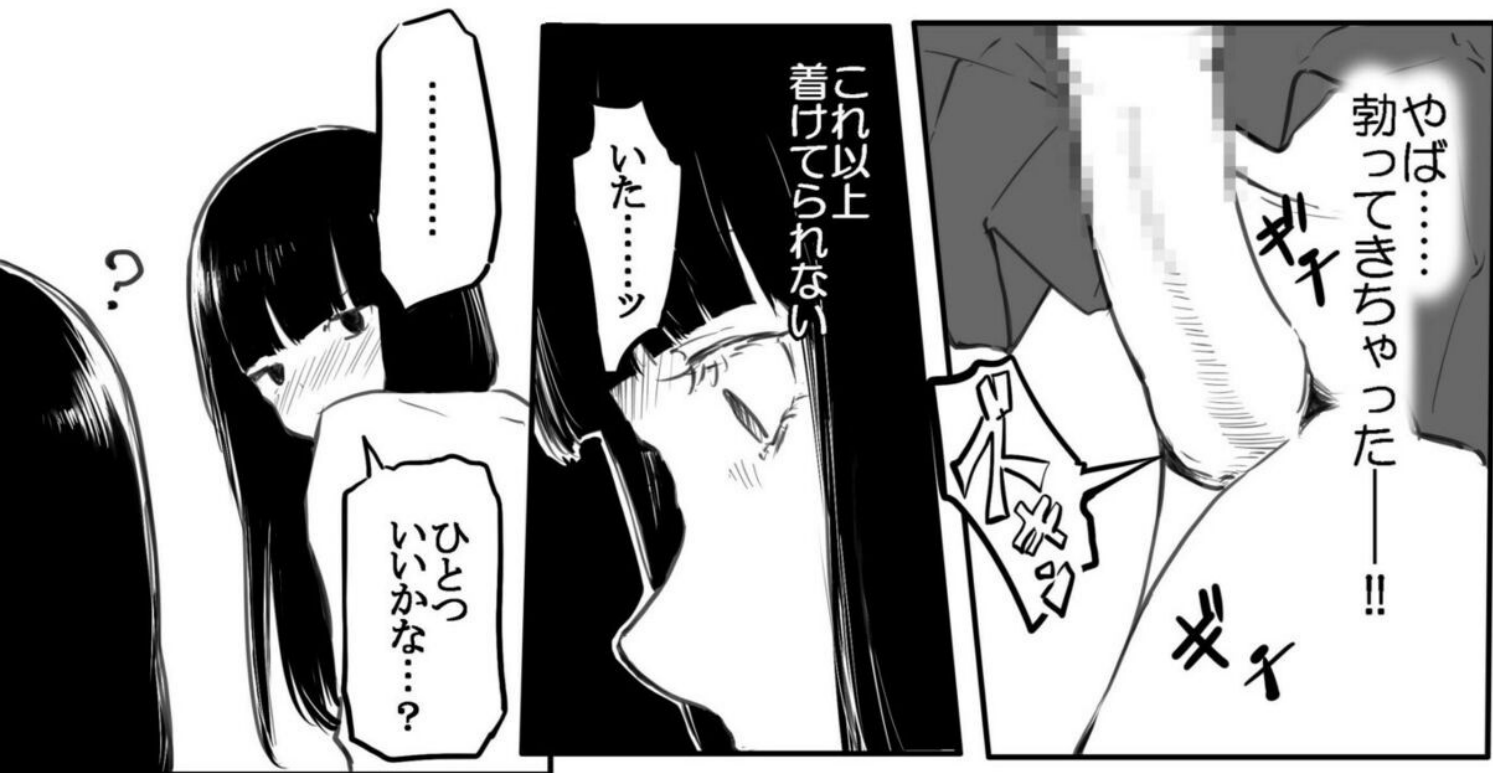
!?

それで私のこと
思いつきり突いて
くれませんか...



え!?
いやそれは
さすがに...

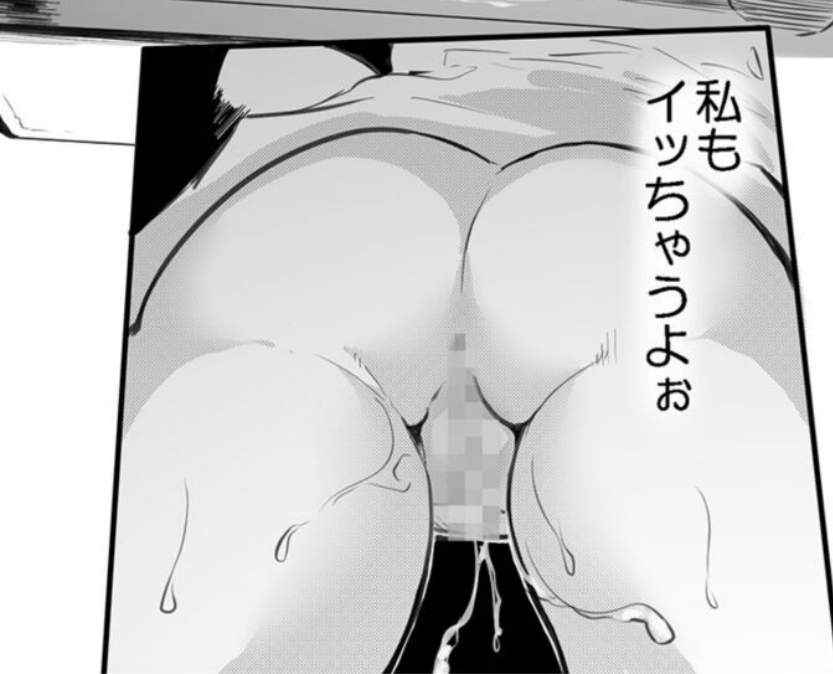














あ

あ

ビクン

ビクン

せんぱい...っ
動くのうま
すぎ...

ん...あ

うっほ

うっほ

うっほ

んんんん
腰とまんない
でも

あっあ

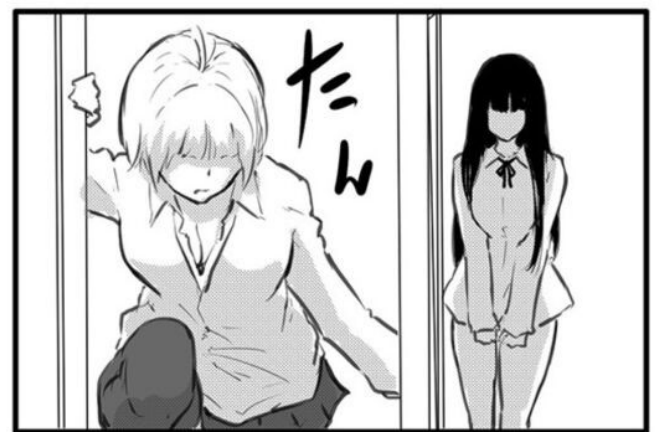
きもち
いいと
すこ...っ

あっあ

うっほ

このまま
射精するわけには

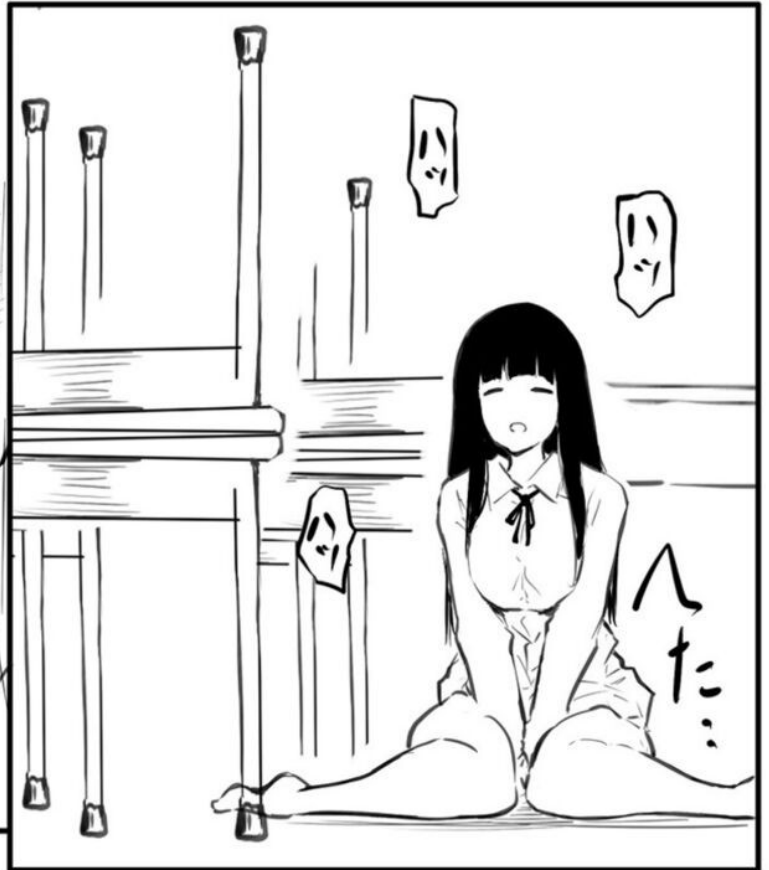






ありがとう
えれな……

はあ



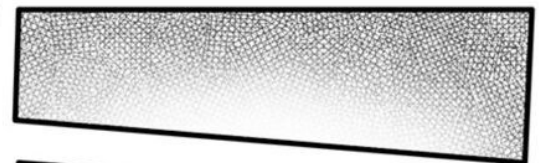
へた……



あの……私
女の子が好き
かもしれないって
気づいたとき
それは変だつて
言われて……
それから
男の人を好きに
なろうとした
んですけど

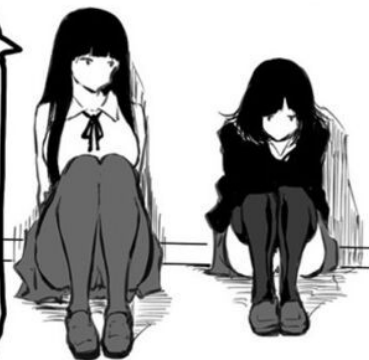
なんか……
よくわかんなく
なっちゃつて……

でも……鳴美先輩と
村上先輩を見たら
いてもたつても
いられなくて……
それで……ッ



無理な頼み
聞いていただいて
すみません……
冷静になったら
すすごいこと
しちゃいました……

何かあったの……？





やっぱり



この子は

大丈夫だよ

変でも
きもちわるくても
人が人を
好きになることに
変わりはないから

昔の私に似てる



……はい



私も前に

そう言っ
てくれる人
がいたんだ



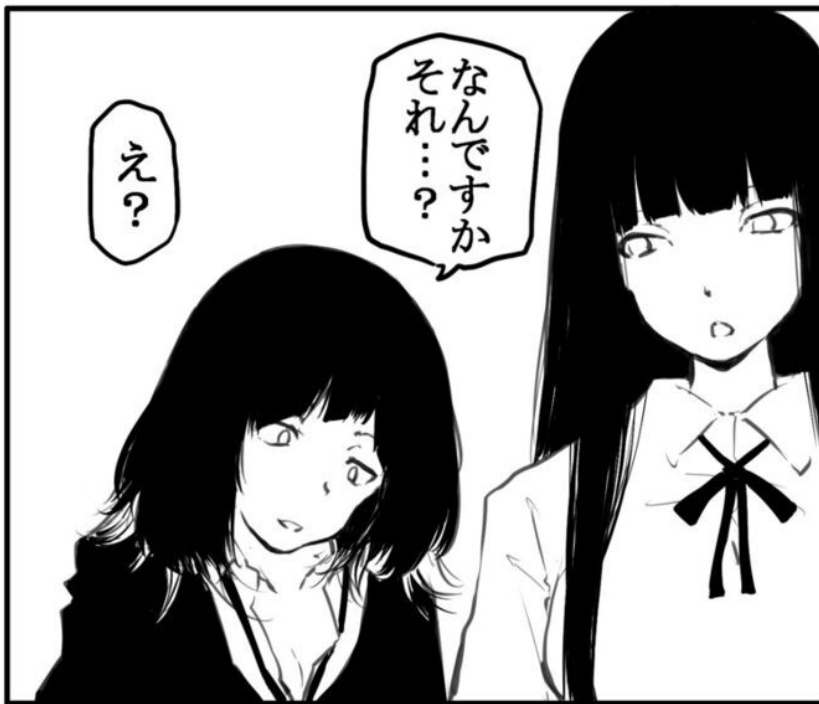
第四話





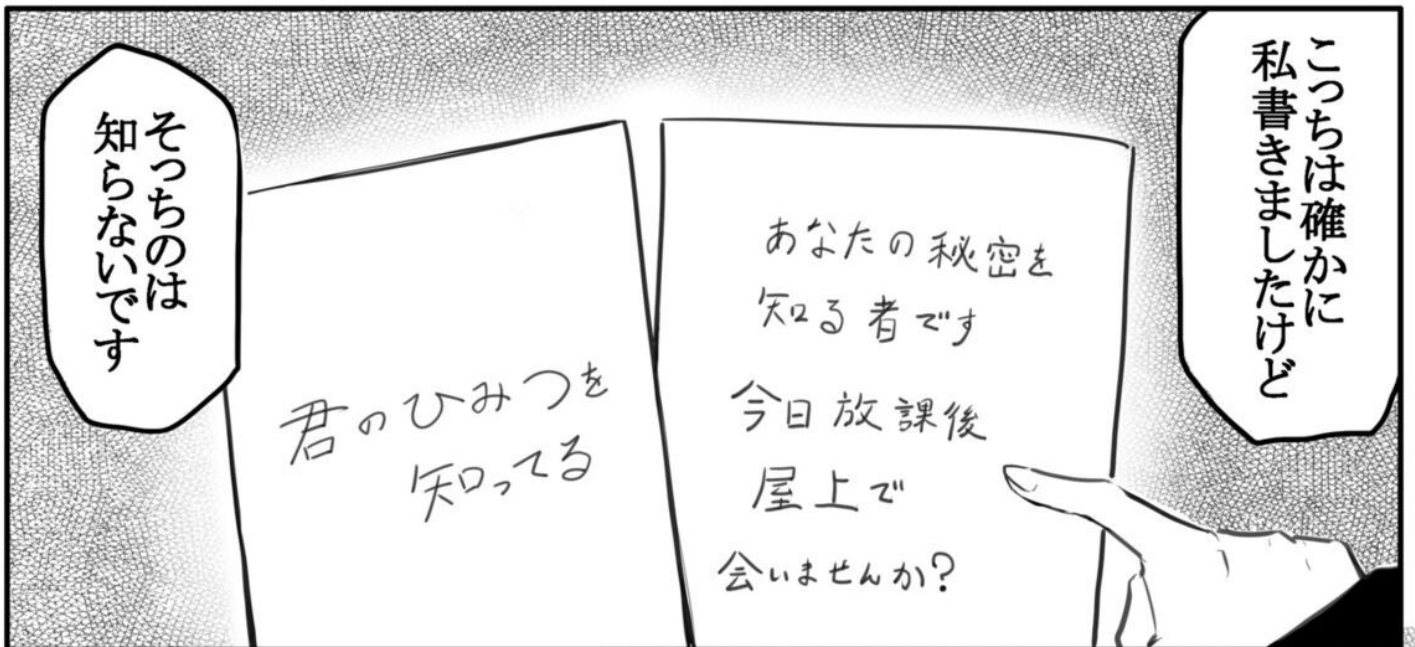
でもよかった

これの差出人が
真宮ちゃんで



なんですか
それ...?

え?



こっちは確かに
私書きましたけど

あなたの秘密を
知る者です
今日放課後
屋上で
会いませんか?

君のひみつを
知ってる

そっちは
知らないです



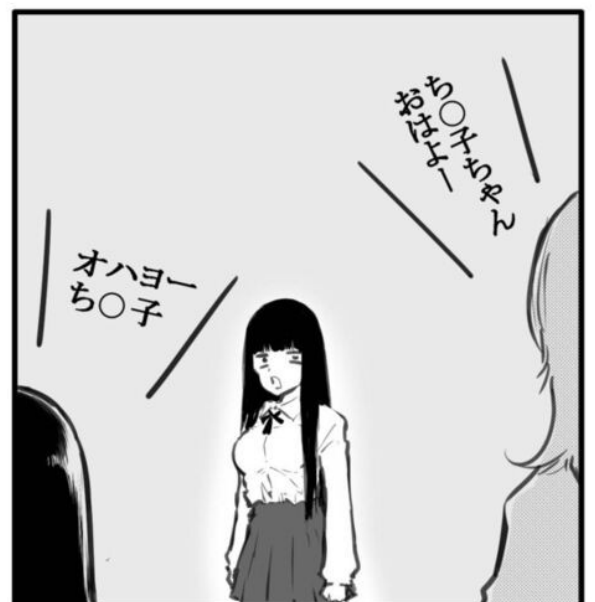
?

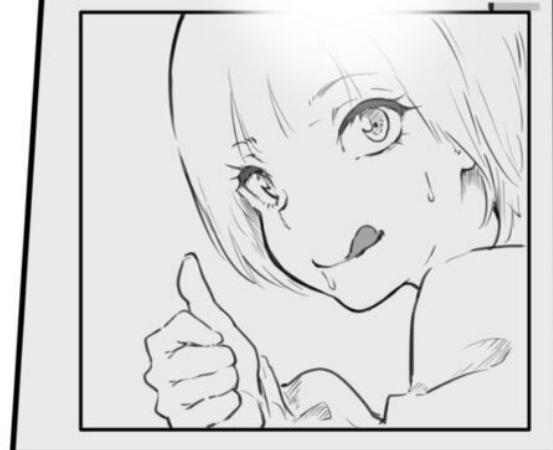
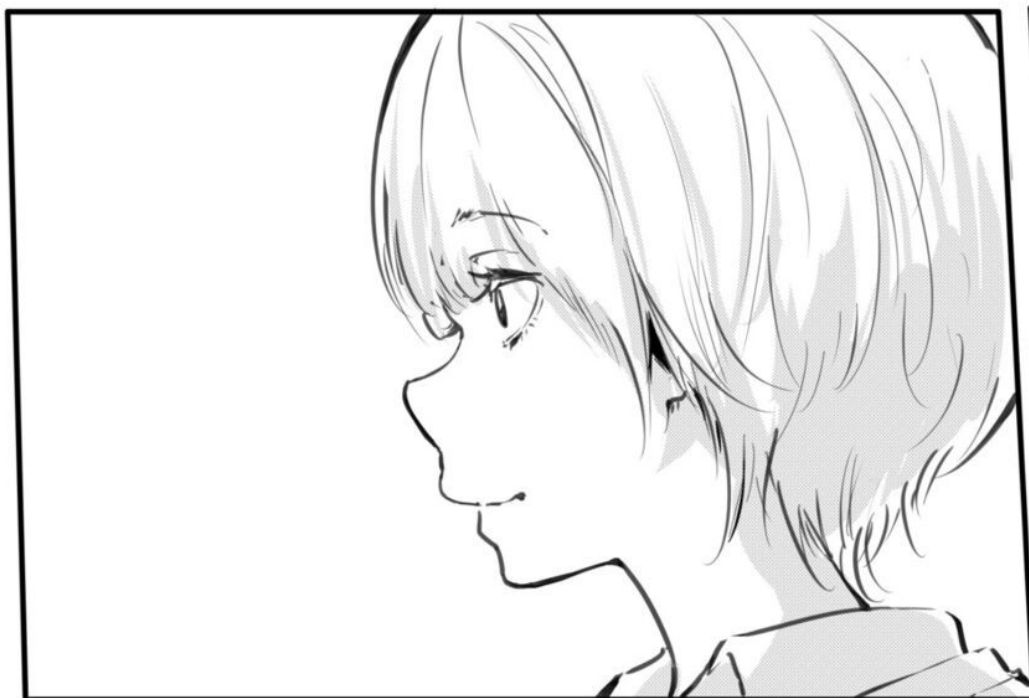


机には
入れました

.....え
くつ箱と机に
入れたの
真宮ちゃん
じゃ...

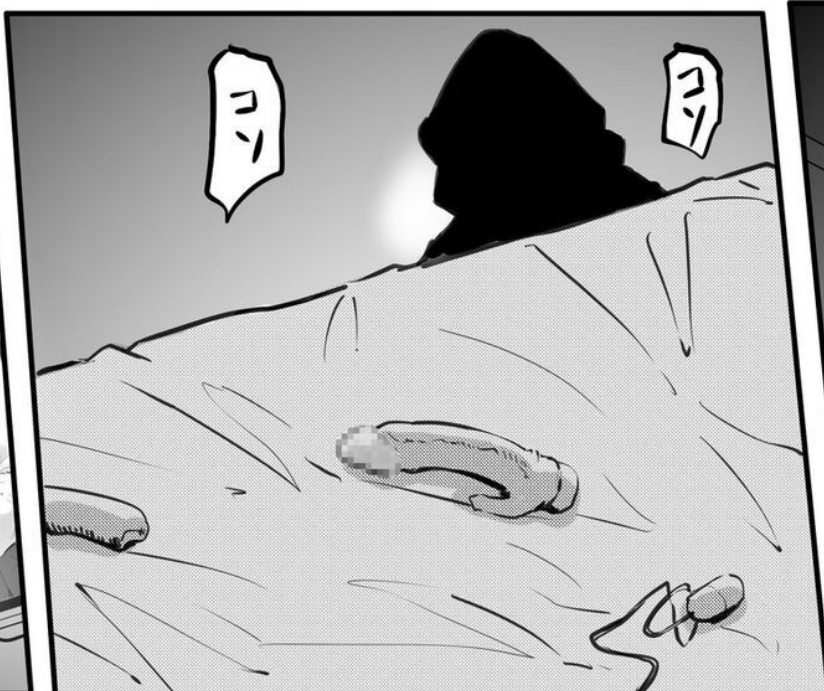
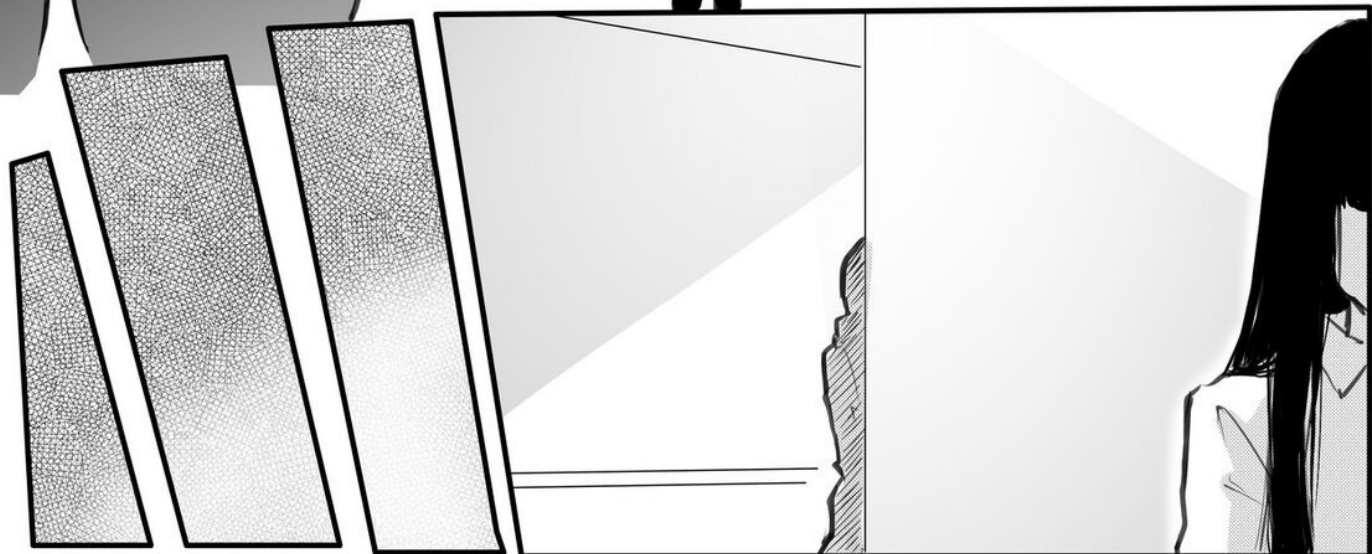
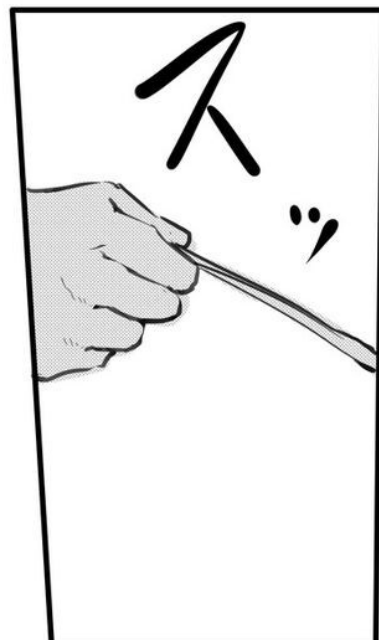


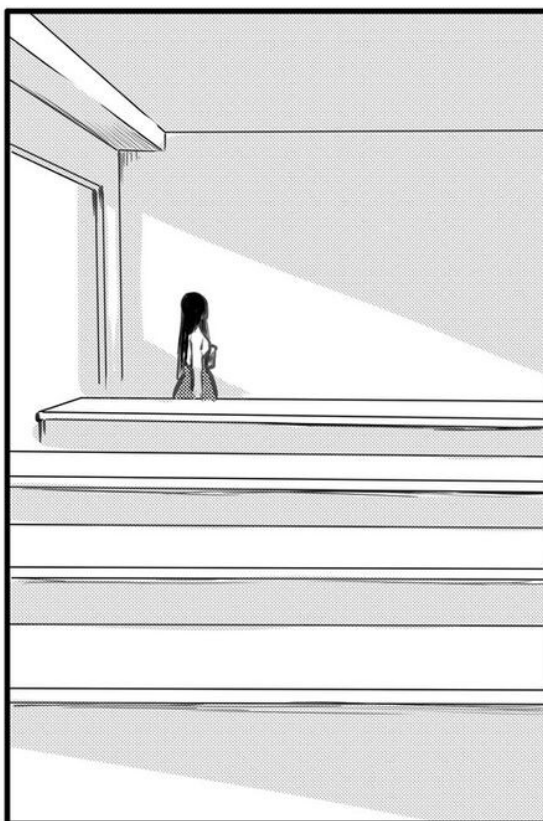
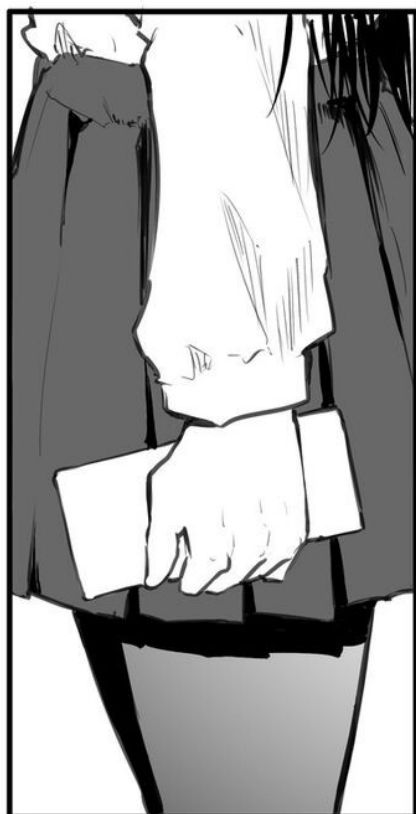


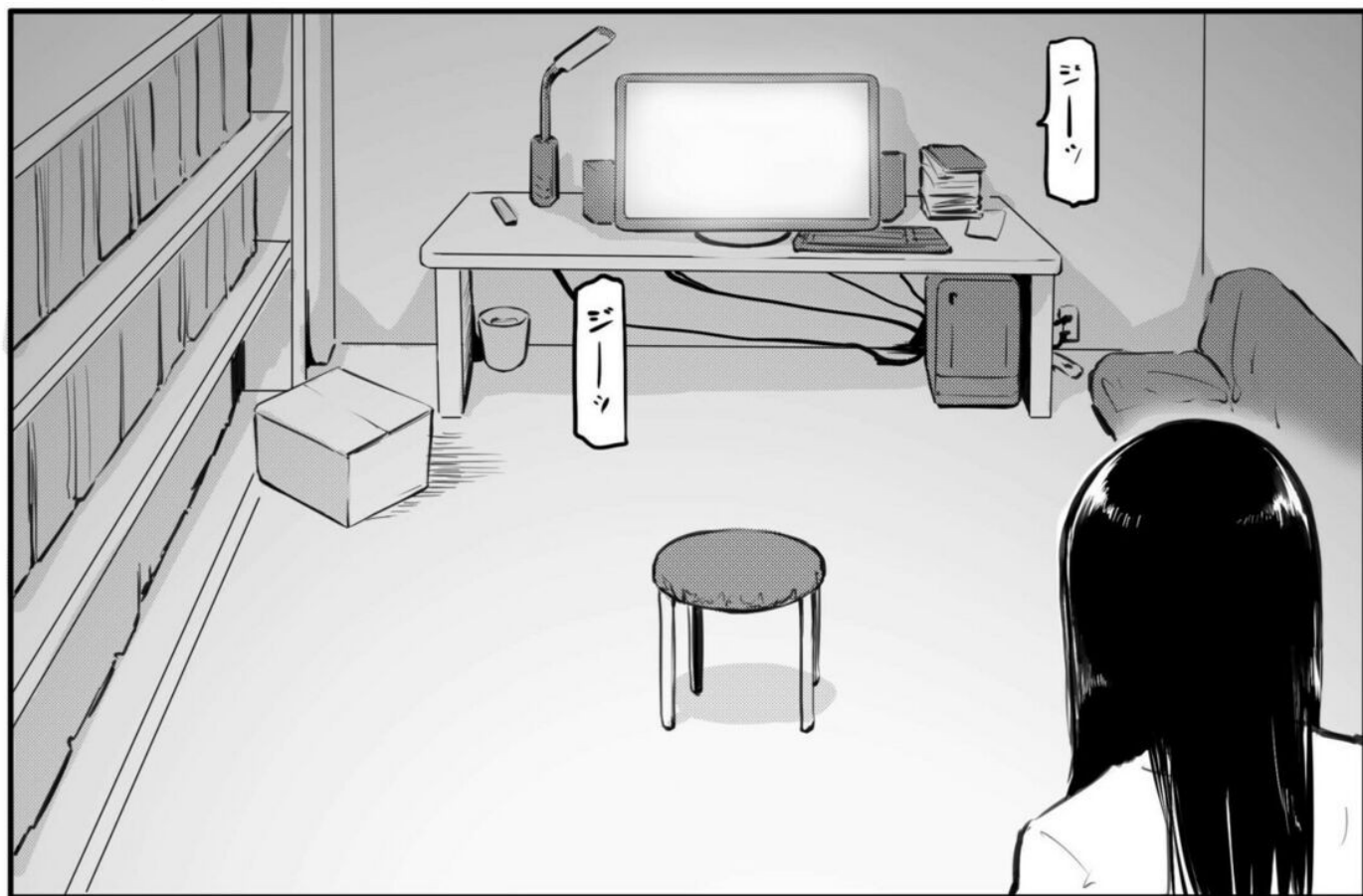
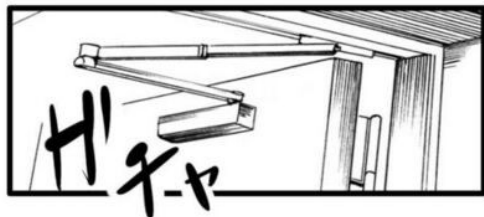
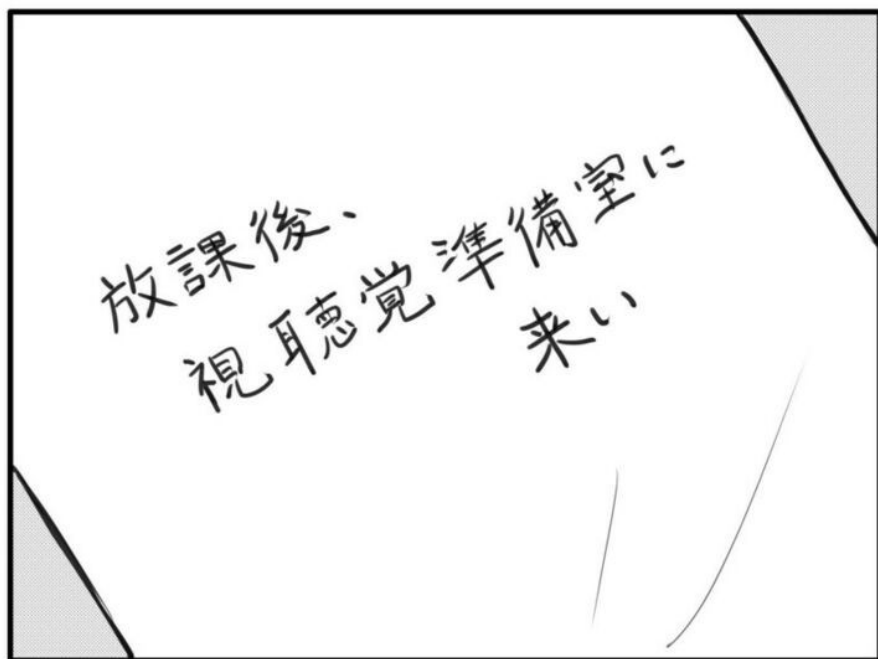


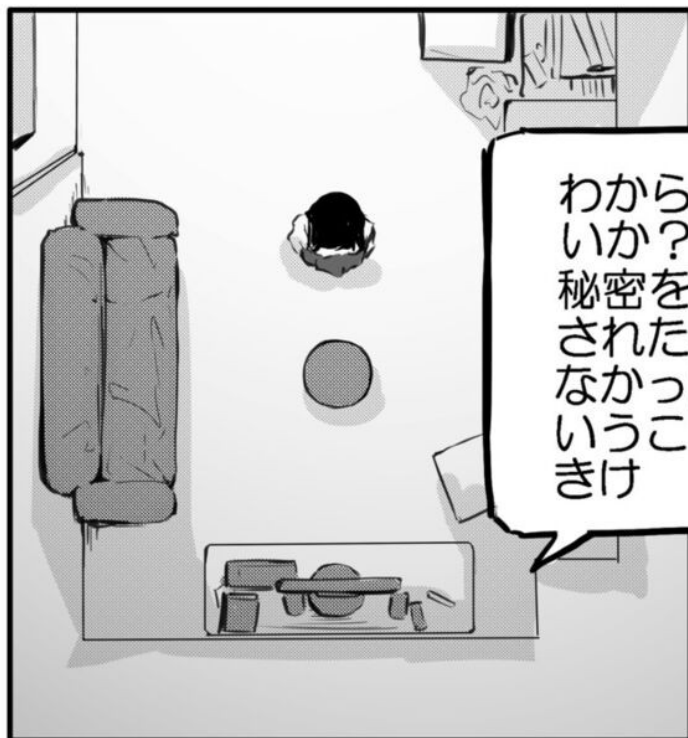


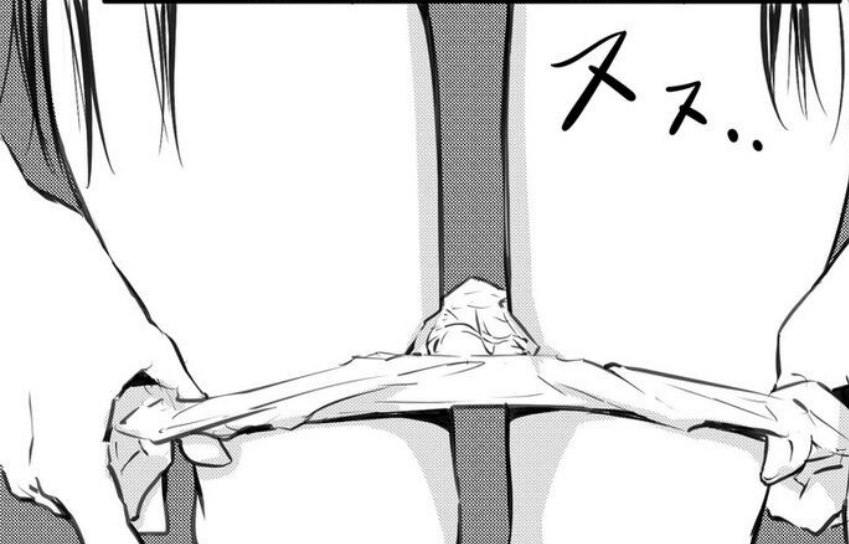
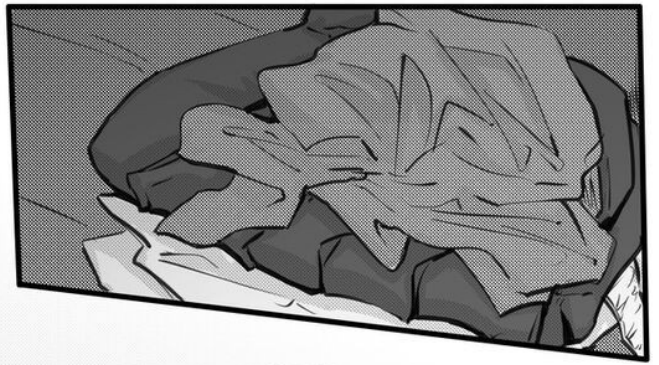
このことは
私ひとりで――















こんな状況でも
興奮するのか

少しイジっただけで
ビンビンに勃起してる
じゃないか

これは...

ち...ちがう





ん…？
ガマン汁まで
出てきたか

そんなきれいな
顔して

とんでもない
スケベなチ○ポ
生えてるんだな

やだ……
このままじゃ
出ちゃう

やだ
なんだよ
――

だ
射精したくなったら
いつでも出していい
からな

情けない

さあ出せ

こんな——ッ

こんなので——

うう……

あッ

出せ——!!

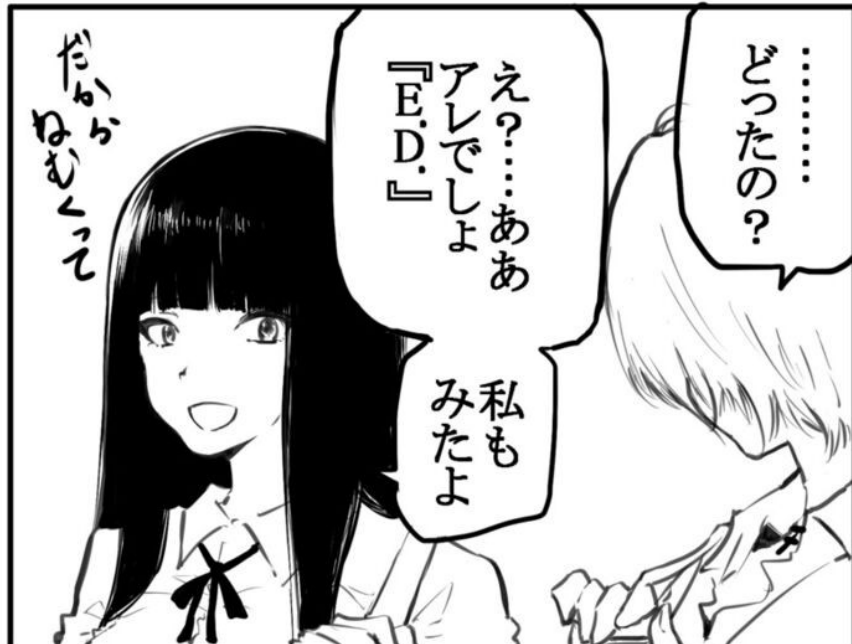
ん……

どん

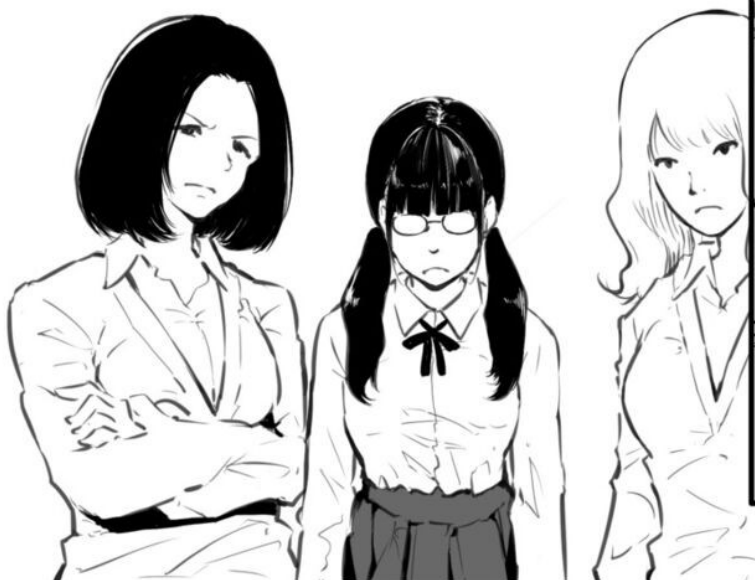
どん







.....









お前ら…
私がどれだけ
悩んで悩んで
ゆいか先輩に
声かけたと思
つてんだ



テメエ…

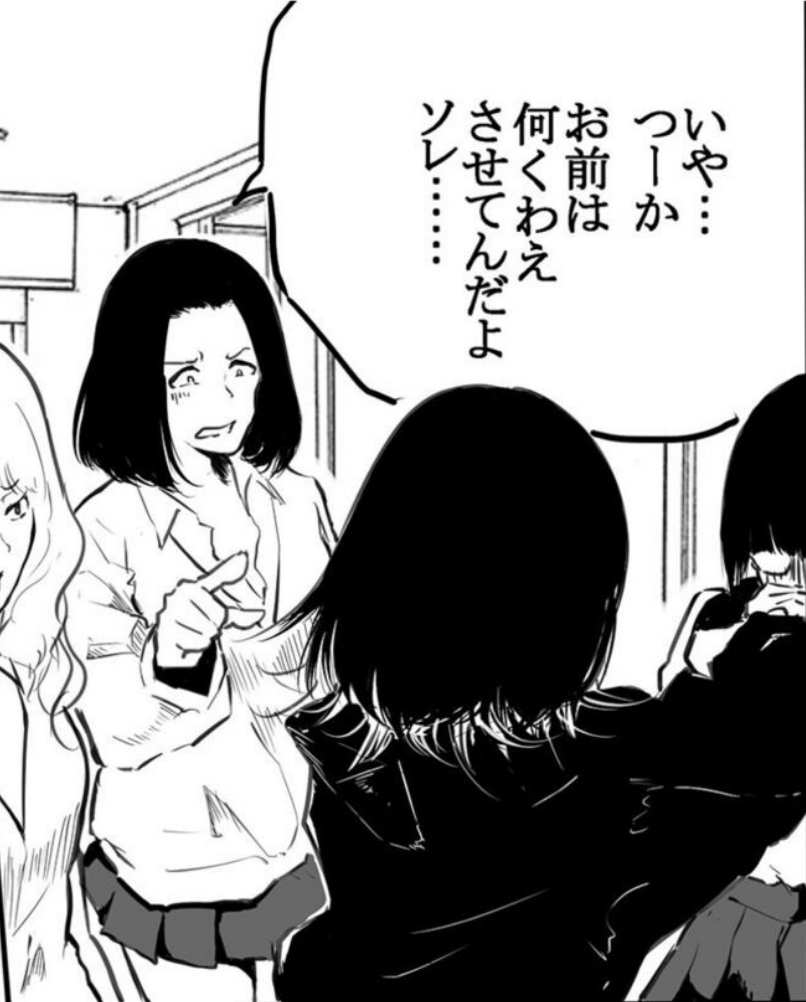


……ッ



お前は どうせ
指くわえて
見てただけだろ
私だつて……

いや…
つーか
お前は
何くわえ
させてんだよ
ソレ……



がわ…

ラえ

あ……





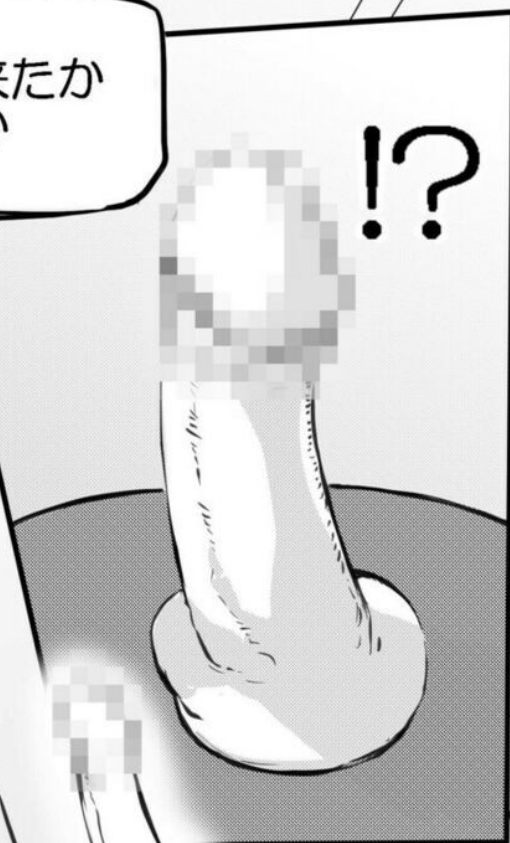
まわりの奴には
怪しい奴には

どこか外から
あのPC使って
るんだ

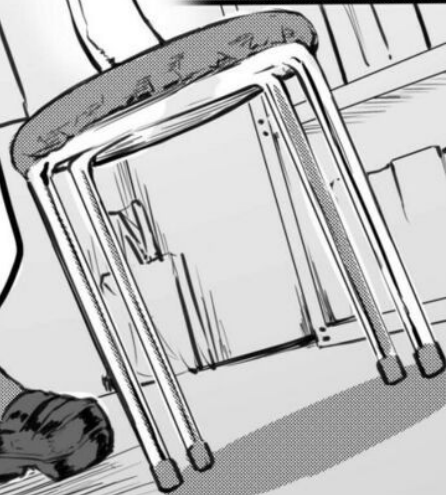


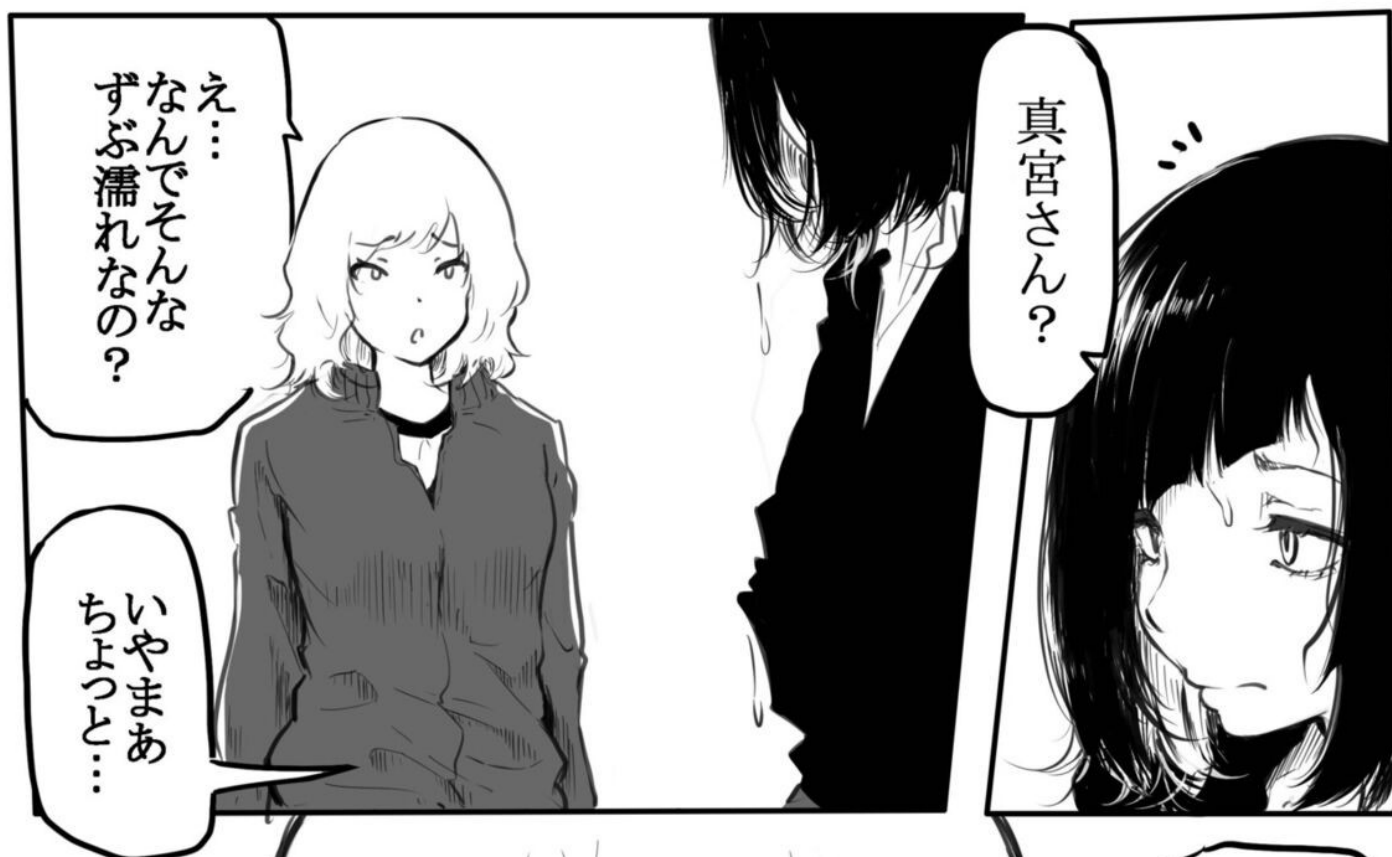
ちゃんと来たか
鳴美ゆいか

さあ——



座れ

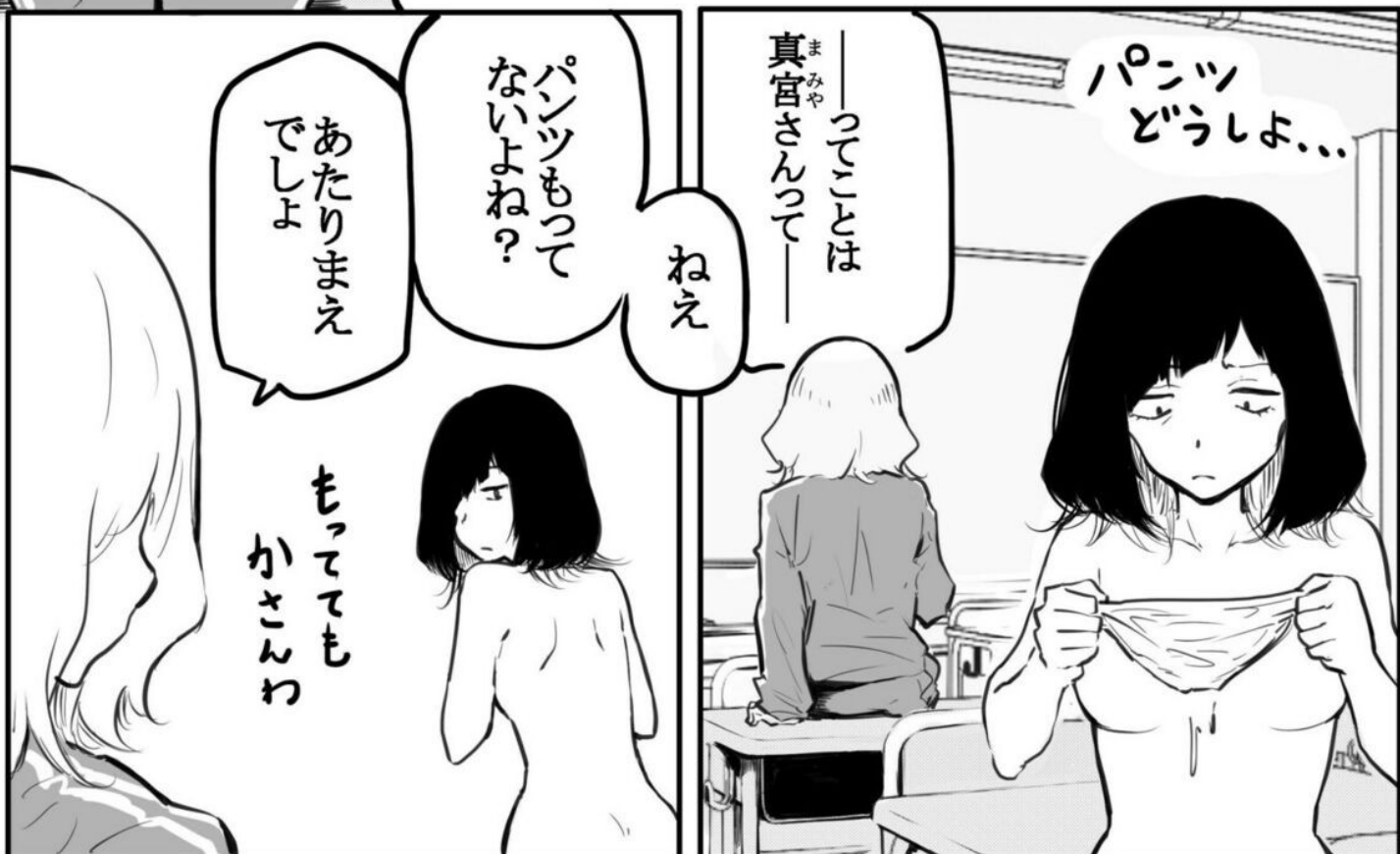






…ふーん
“鳴美先輩たちに
近づいたのが
気に入らない”
ねえ……

きもちわる



パンツ
どうしょ…

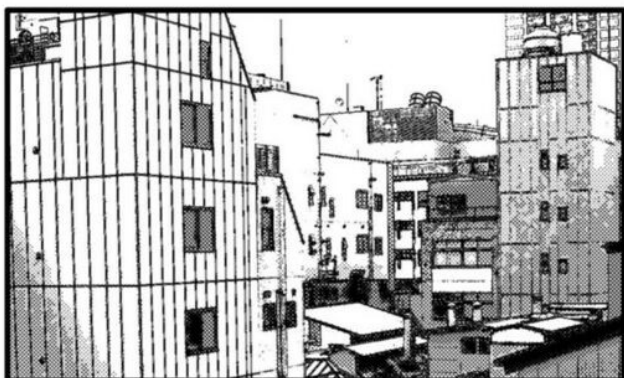
——つてことは
真宮さんつて——

ねえ

パンツもつて
ないよね？

あたりまえ
でしょ

もってても
かさんわ





ゴトン..

ゴトン..

うーん：
パンツはいて
ないと
すげえ
ムラムラ
するー

帰ったら
オニーしょ





ふざけてる
のか——？

す…
すわりました



——おい

俺は座れと
言ったんだが



い
挿入る
んだよ

こんなの
座ったら…

挿入^{はい}
ちやう



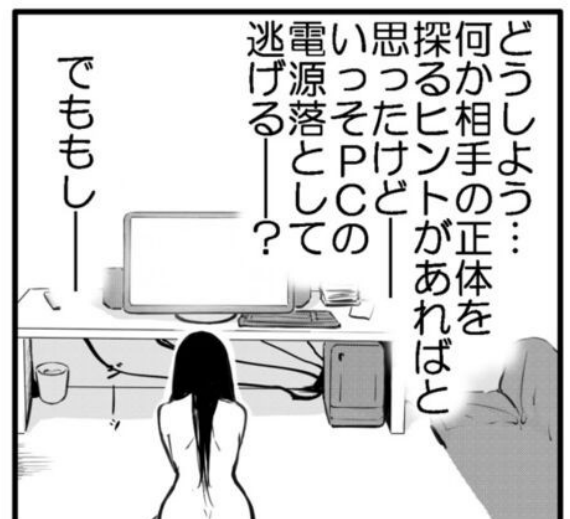
だって…
無理



でもは
隠さなくとも
お前のことは
もう知ってる

もし本当に
秘密をバラされたら…

あ…
全校生徒に
知れ渡るより
いいだろう？



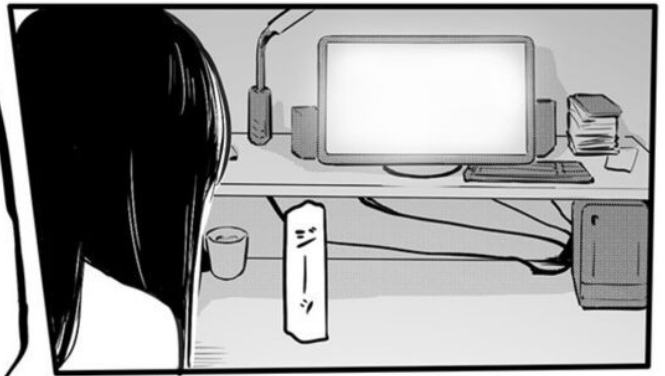
どうしよう…
何か相手の正体を
探るヒントがあればと
思ったけど
電源落として
逃げる——？

でももし——





ん
.....
あ



フワッ

みち..

みち..

!?

!?

い
い

いワ..

ズ

おち○ちんが

奥にいくほど
おち○ちんが...

お

お

~~~~何コレ  
!!?

お

お









おち○ちん  
こわれちやう

びしょ  
めーっ...

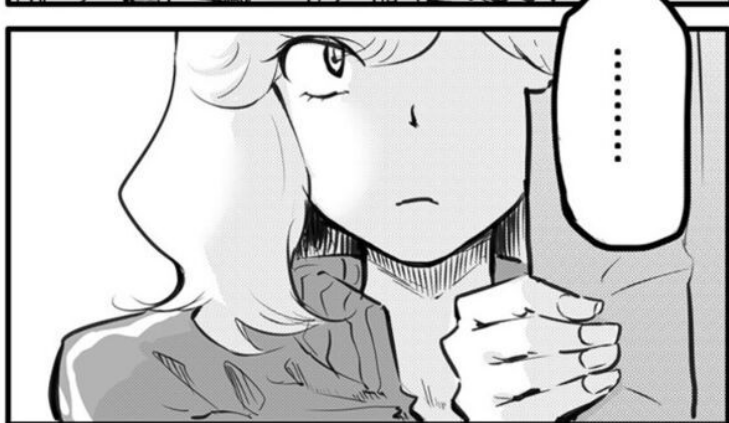
ぜ

ハ  
タ  
シ  
ン  
ガ  
ン  
ガ  
ン









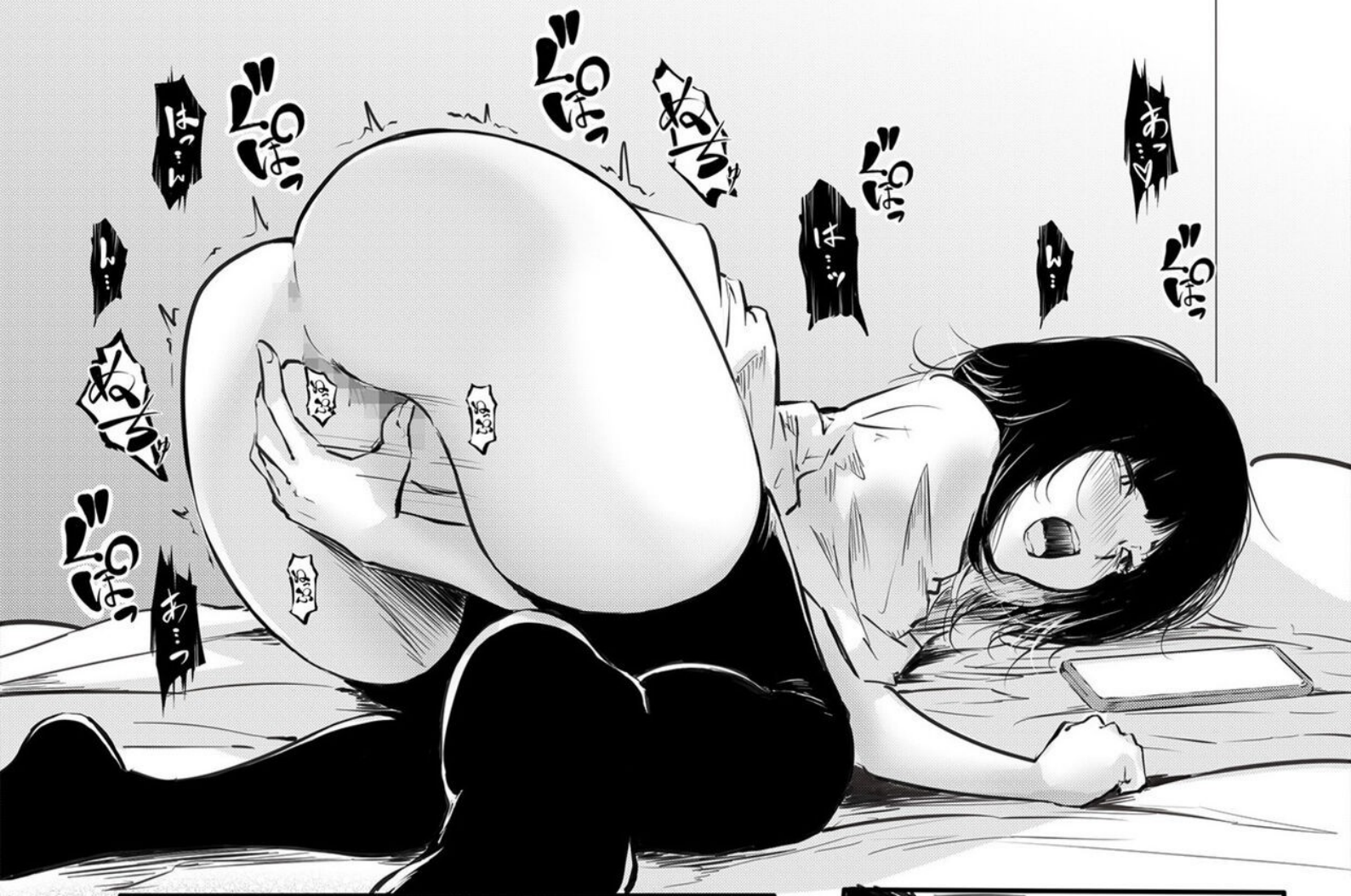




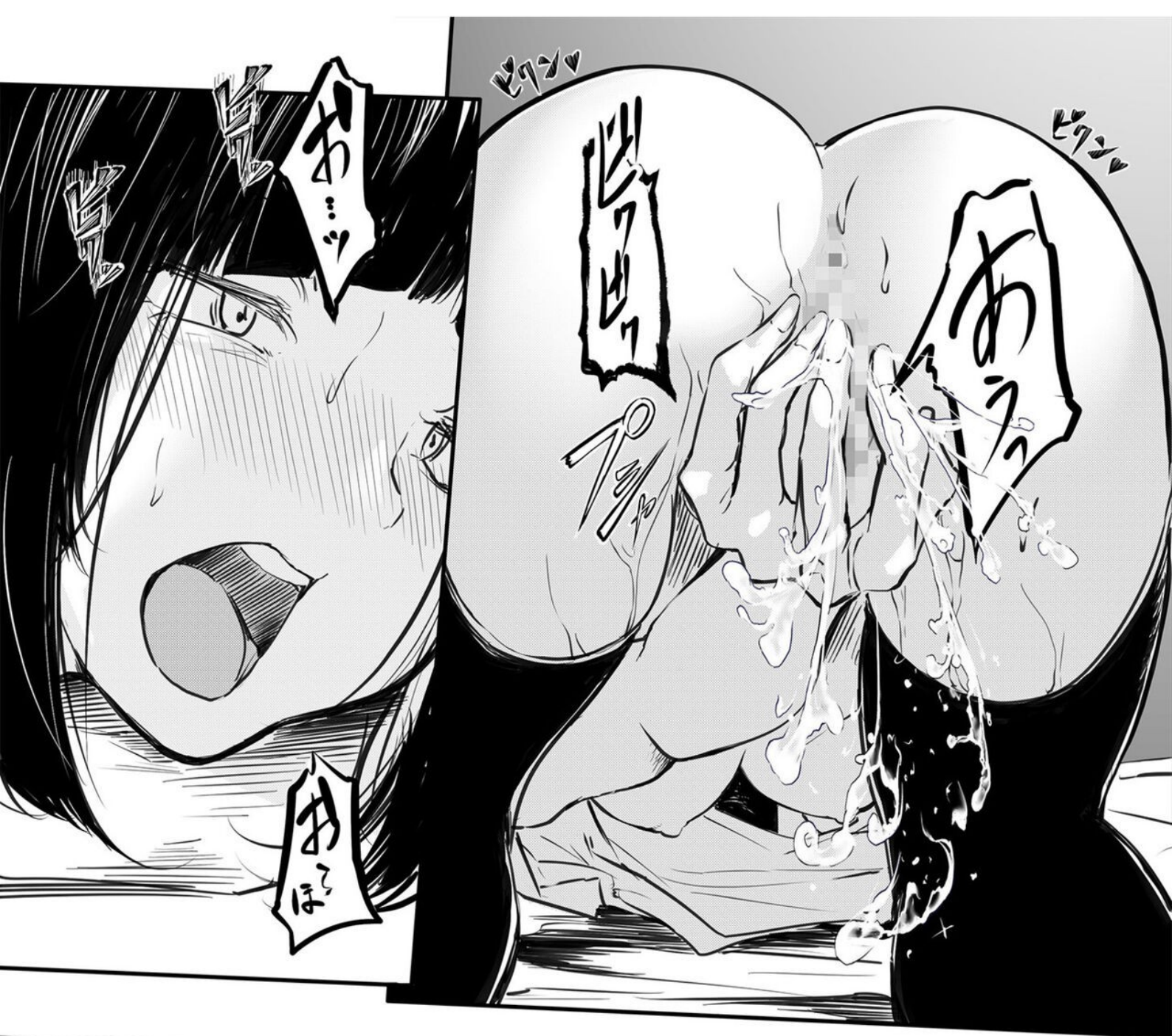




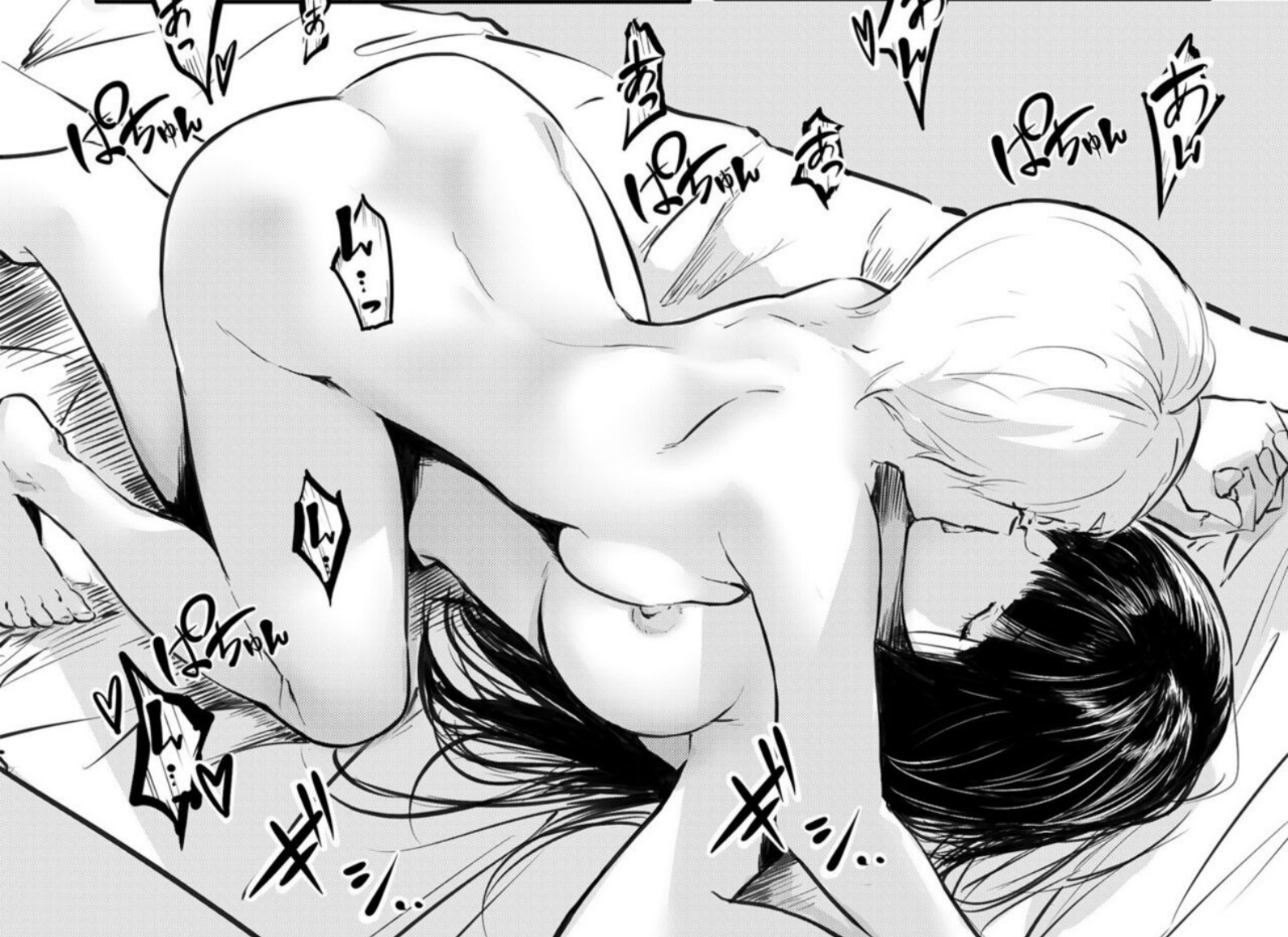
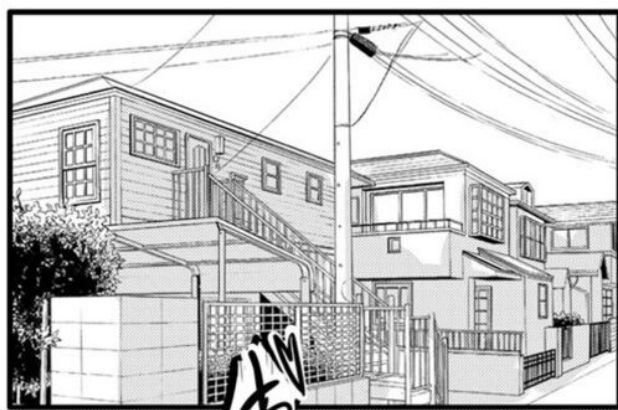
















今日も  
いっぱい射精<sup>だ</sup>して

ぜんぶ  
しぼりとって  
あげる♡

んん

ちゅ

えれな...

んんん  
♡♡♡♡♡

ちゅわう

ああ

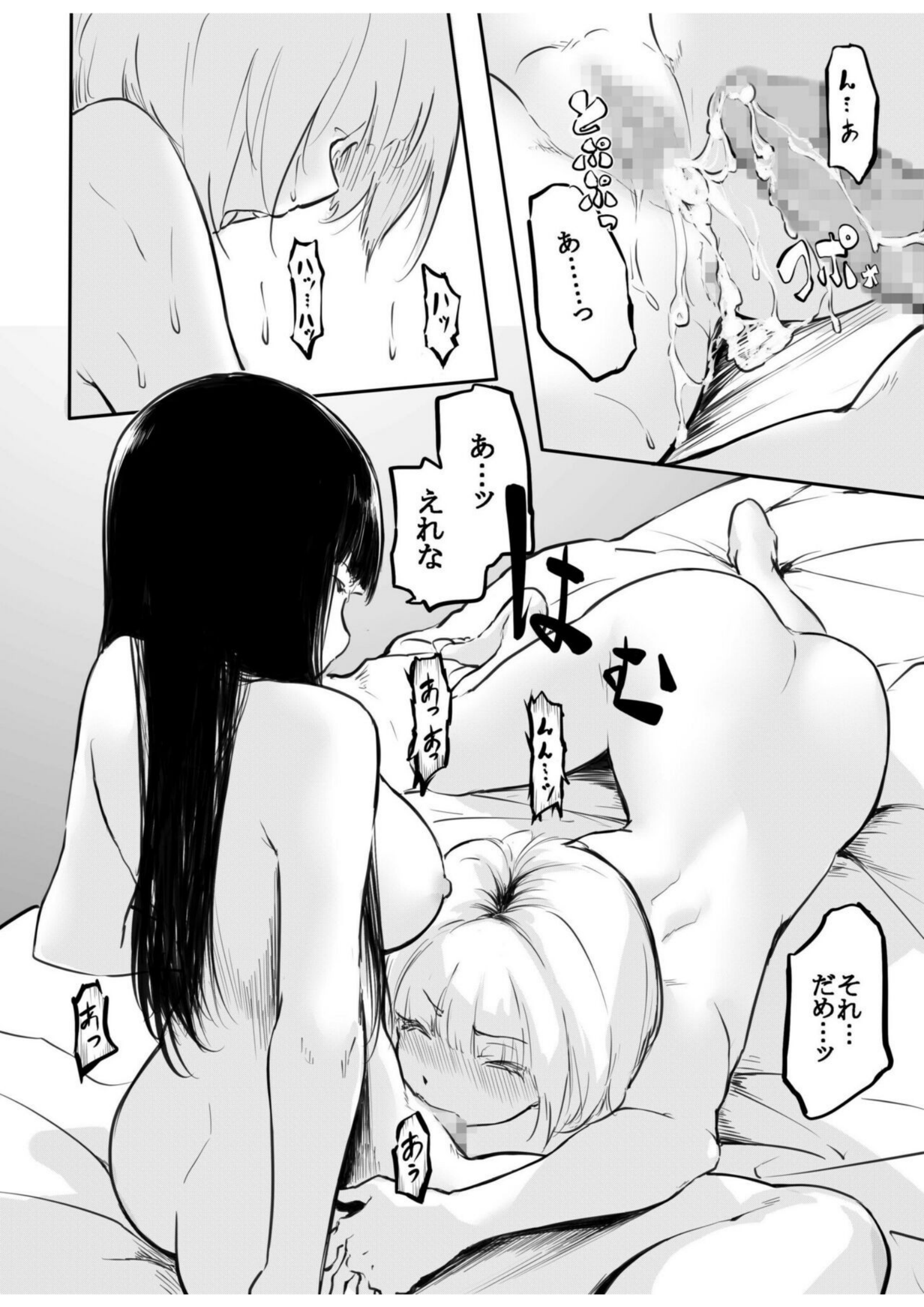
ああ  
ああ  
ああ

んん  
んん  
んん





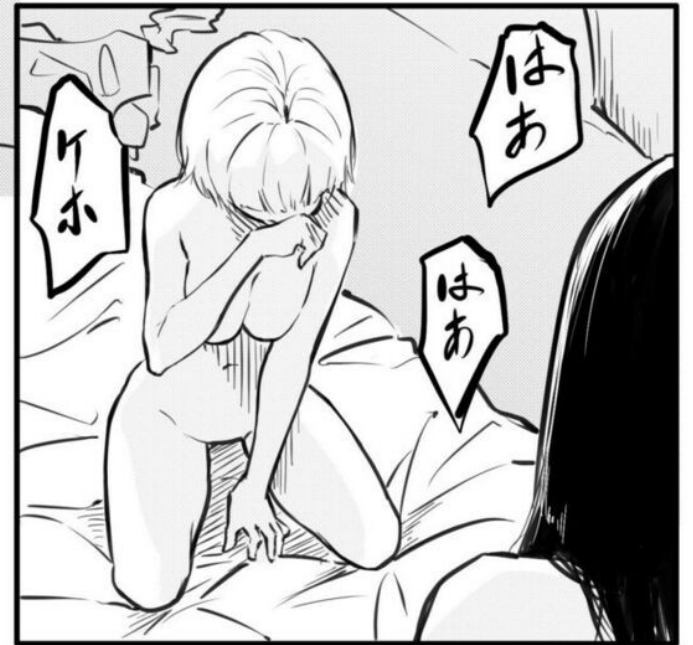




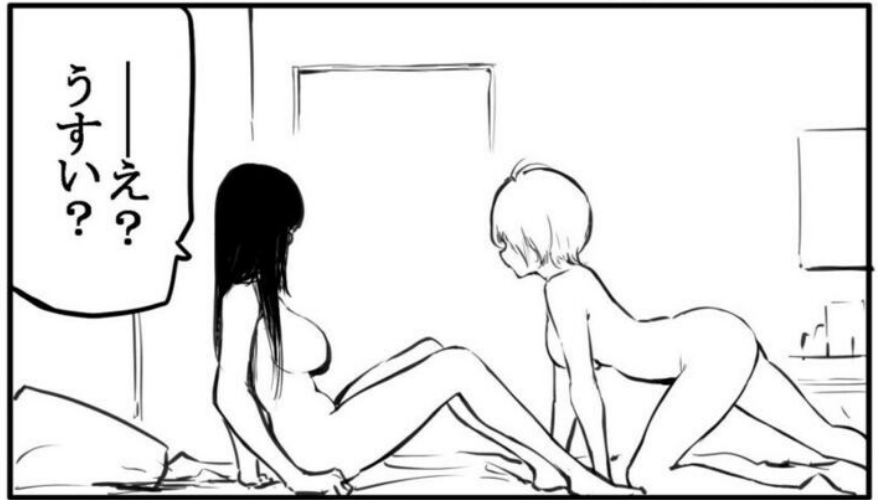








# 第六話







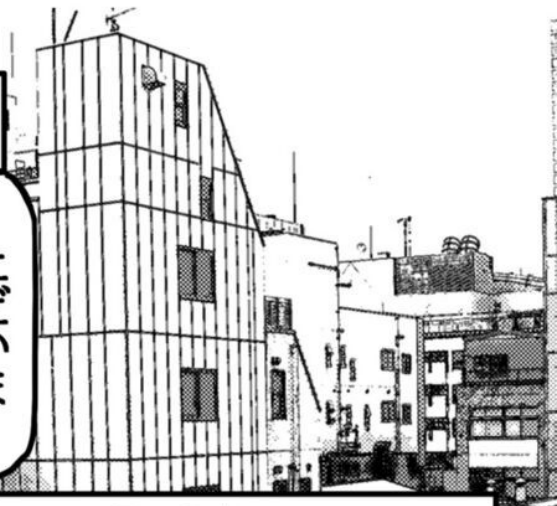




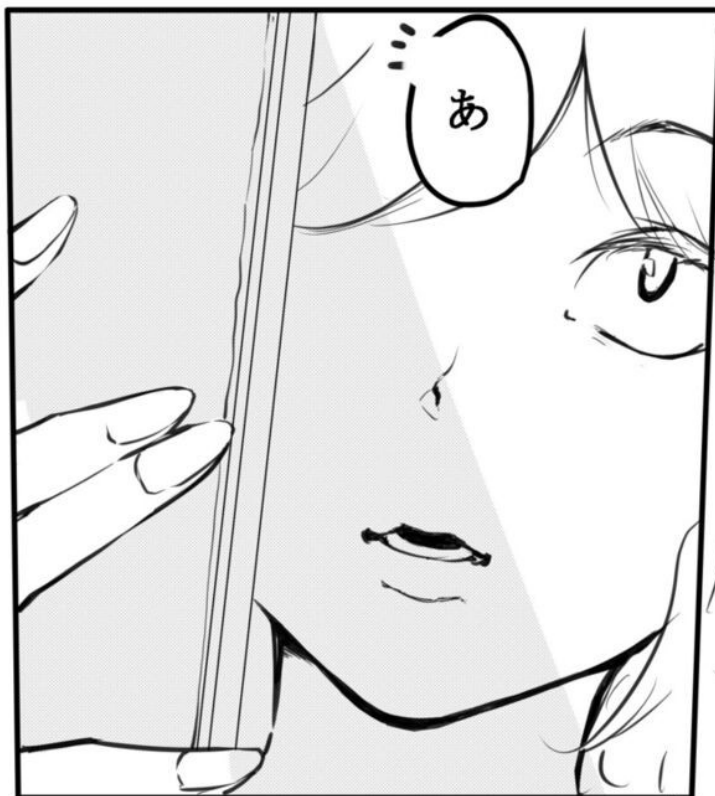


赤月

ただいま



ド



あ



制服  
ハカ  
かけ  
とこ



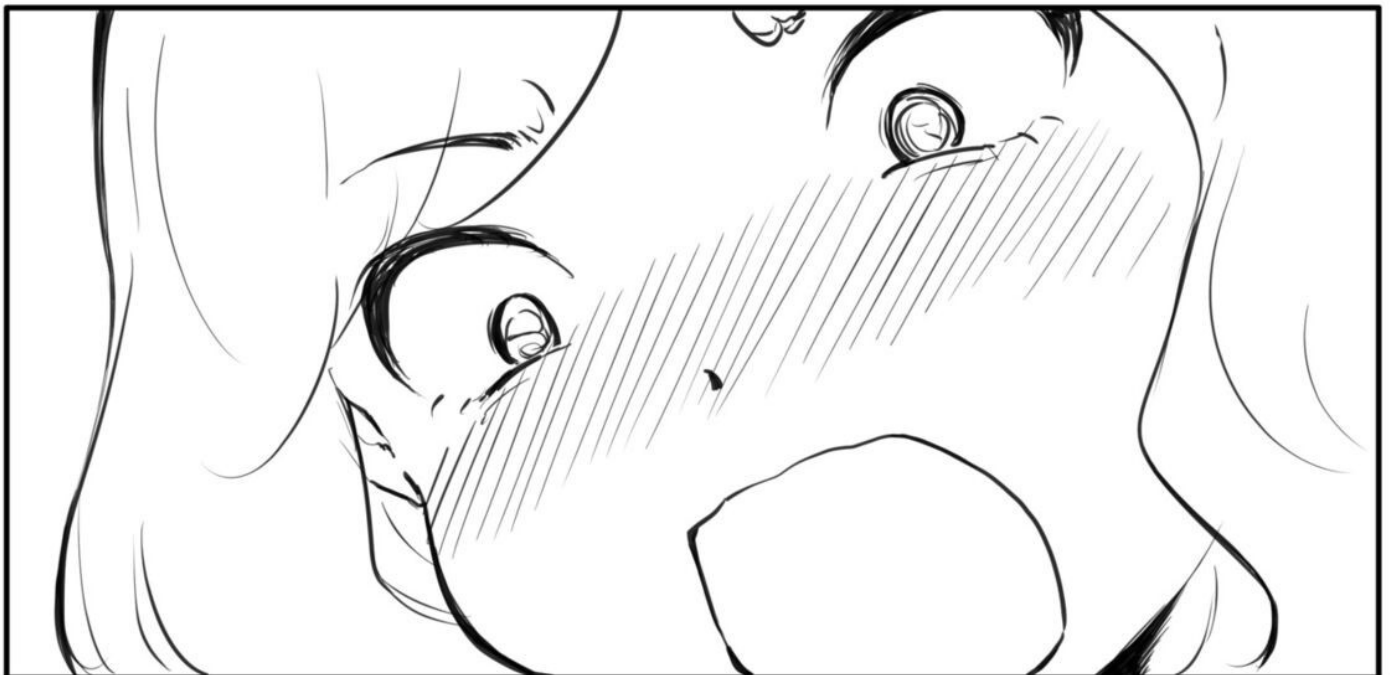
ふう..

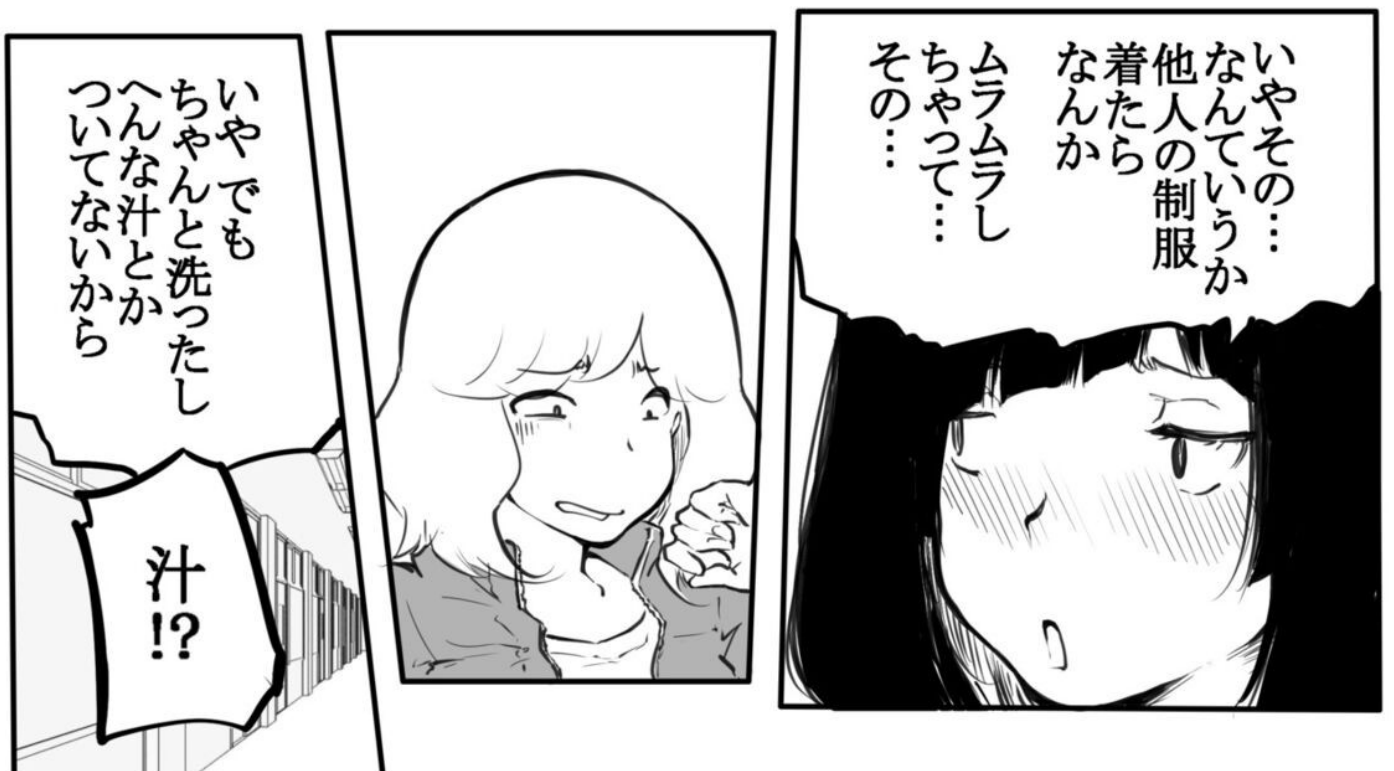
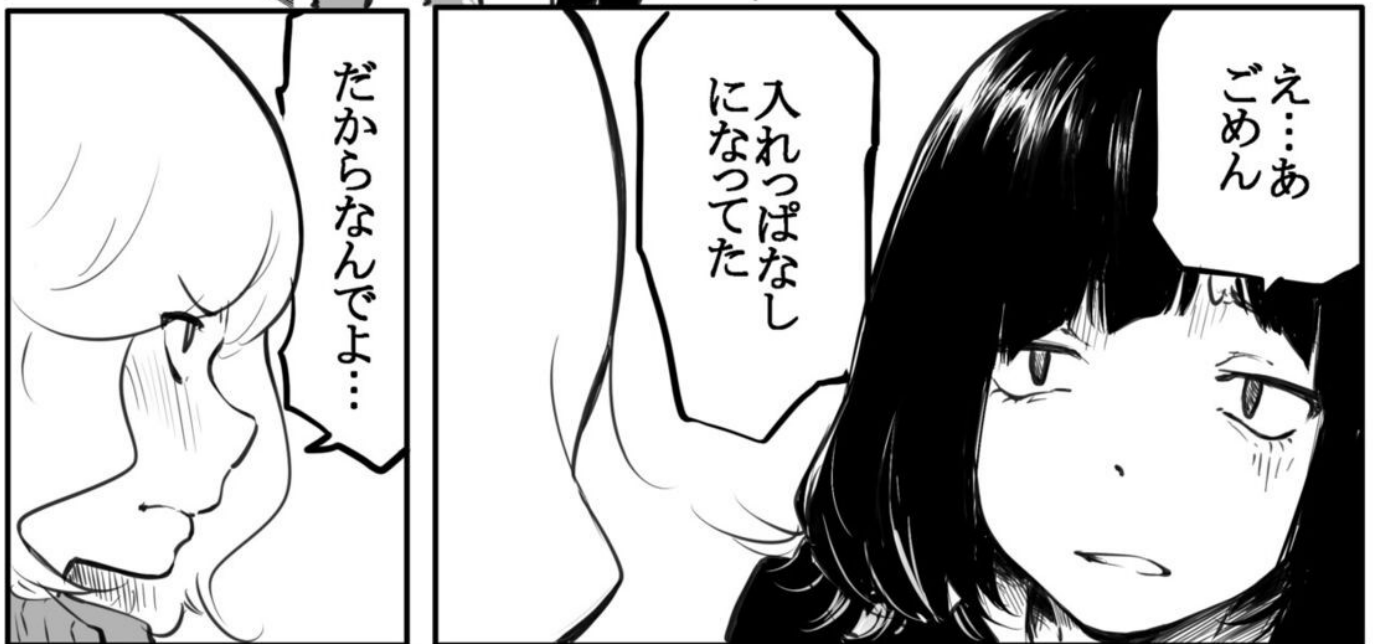
は

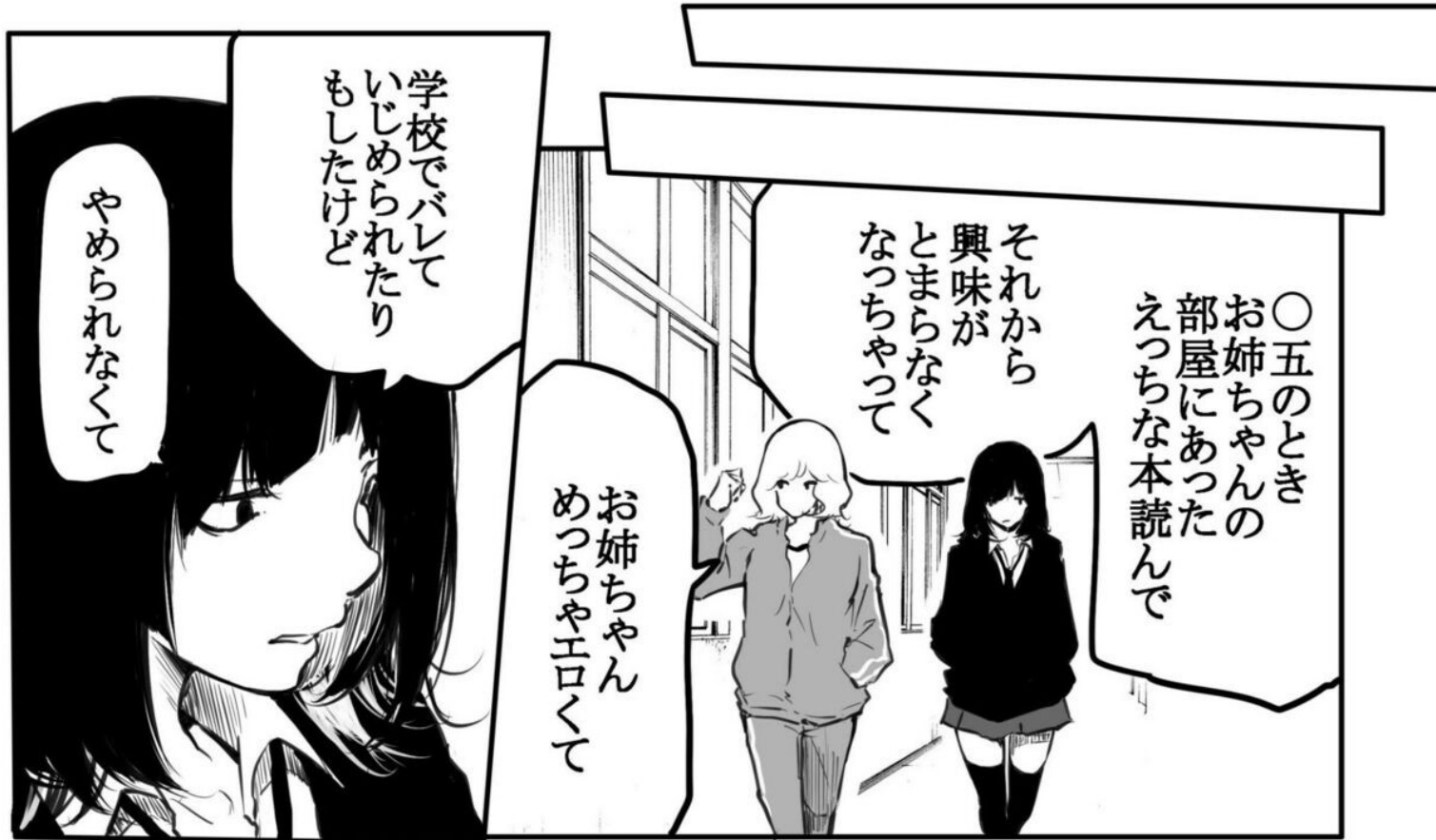
ふう..















そうそう  
“ボーボー”だつて  
かわいいのにな  
うける



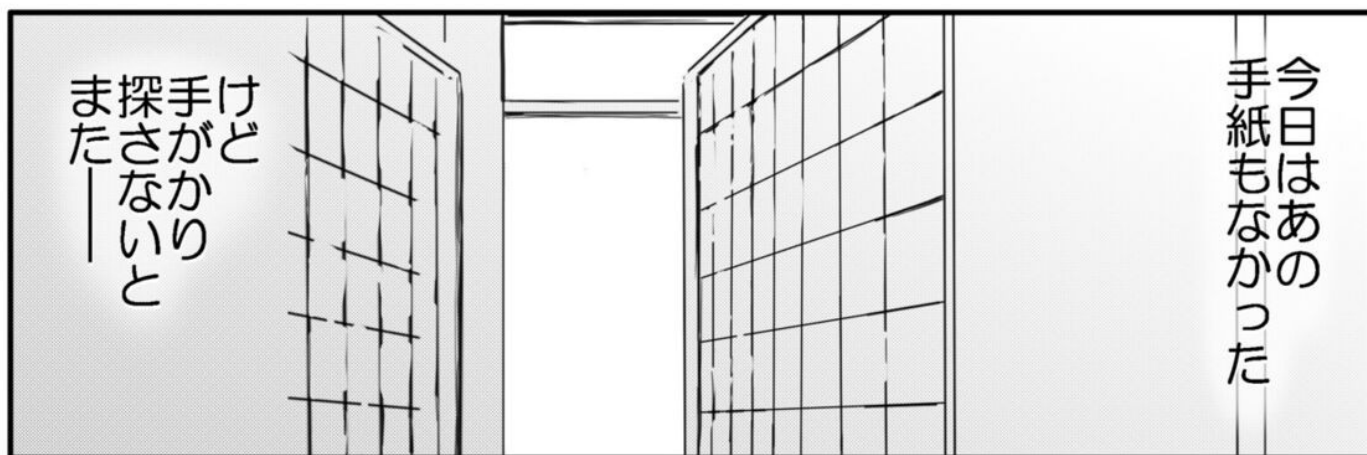
ホ...



生えてるんだつて

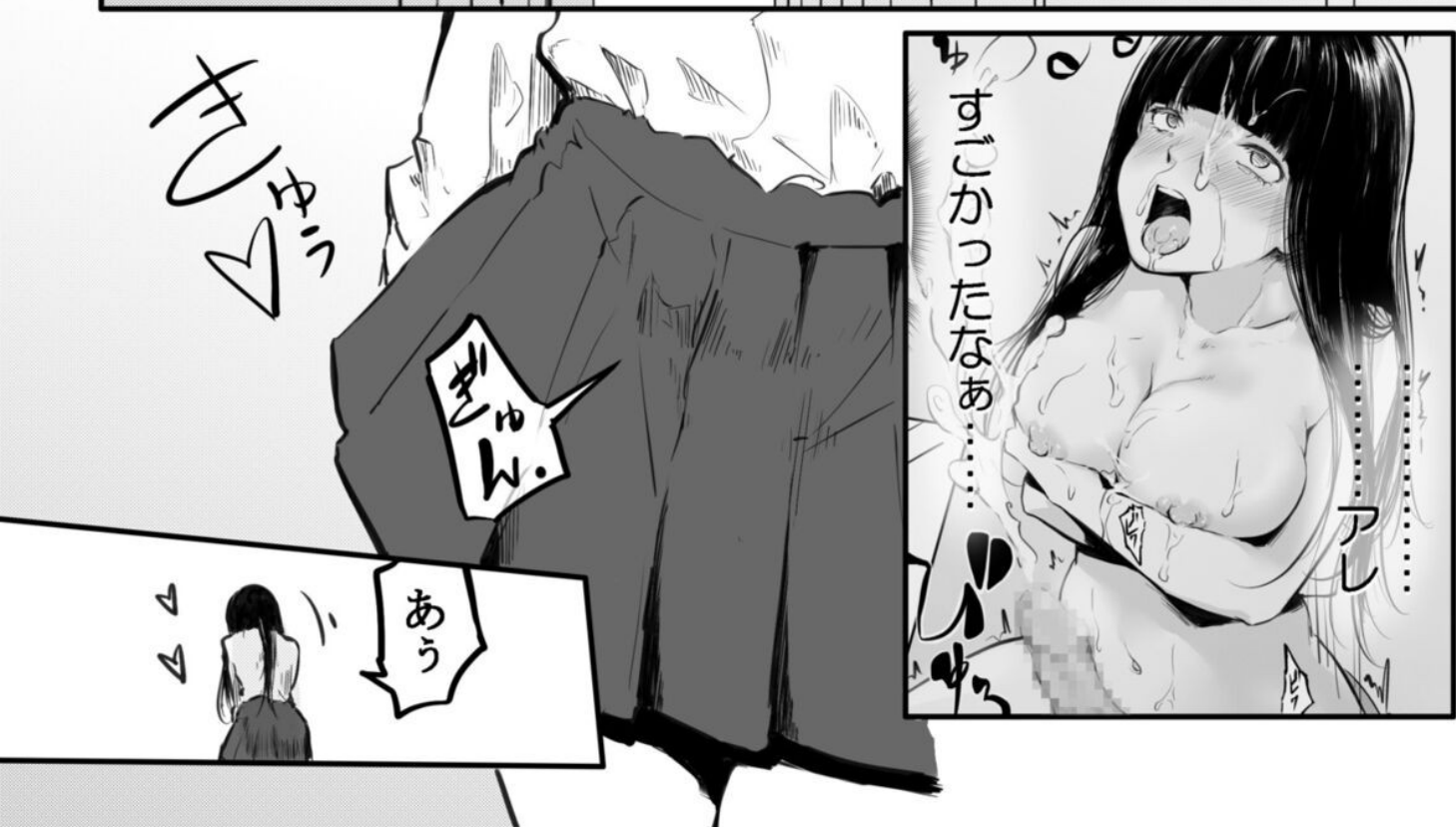
マジ?  
あの顔で?

ドキ



今日はあの  
手紙もなかった

けど  
手がかり  
探さない  
と  
また



すごかったなあ……

アレ……

あう

視聴覚室

ここを管理してる

やっぱり  
まず怪しいのは

アレを  
セッティングした  
人間がいるはず  
だから

ガッ

あそこか  
普段力ギ  
かかってるんだ

何してるの？

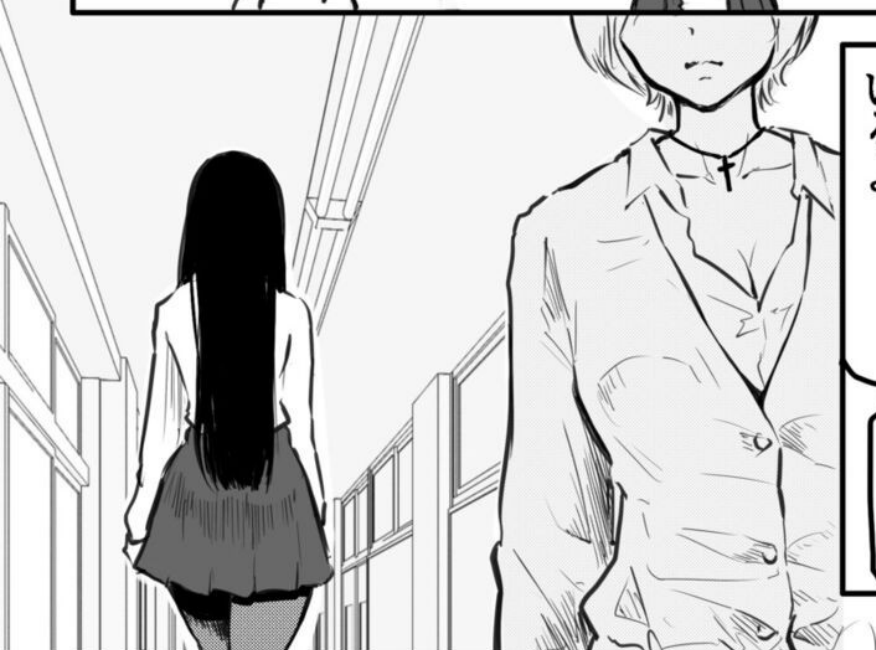
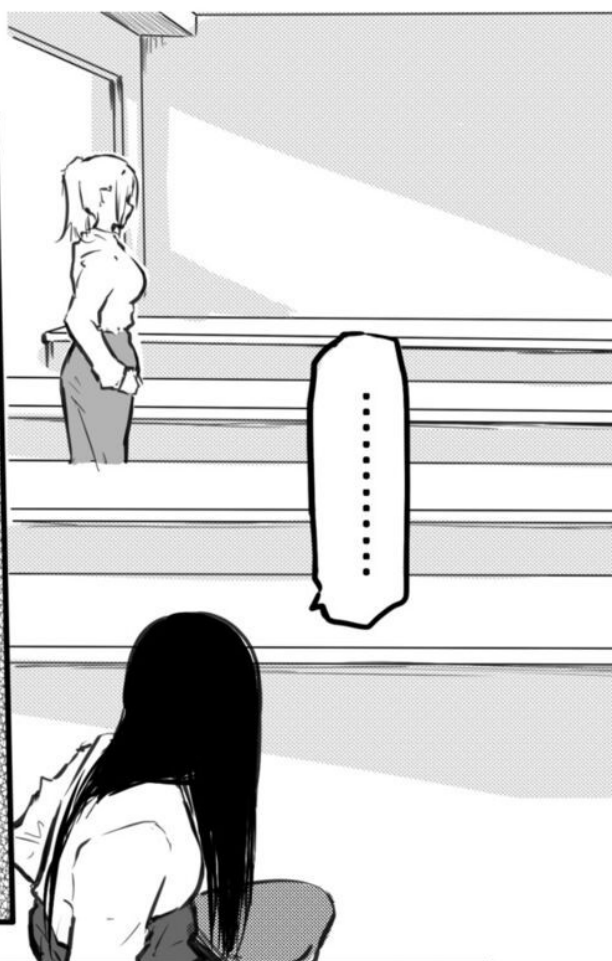
ほんじよ  
本所先生

本所先生って  
この担当  
ですよ

ちよつと  
忘れ物  
しちやって

そう  
今力ギあけるわね

カギ



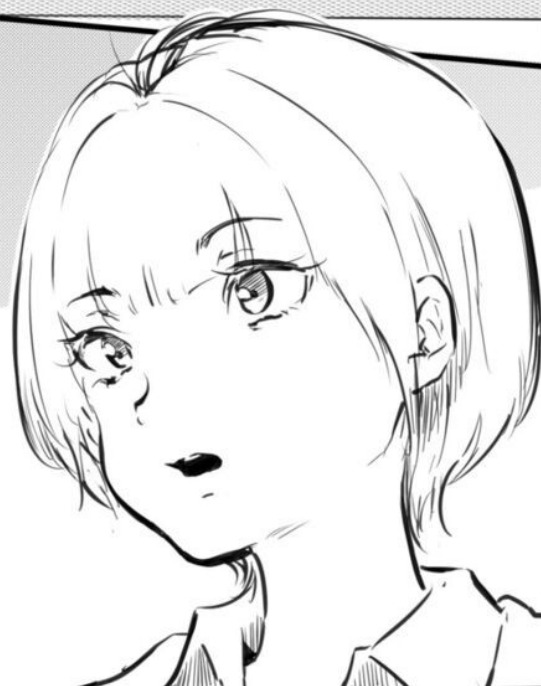




本所先生



……ええ  
言われた  
とおり……



約・束・  
——  
守ってくれますか？



——  
じゃあ

こつちも  
約束のもの  
あげるね

はい

ぬぎたて  
ぱんつ♡

ホカ

ホカ

もふウ!!

……ッ

ゴク!

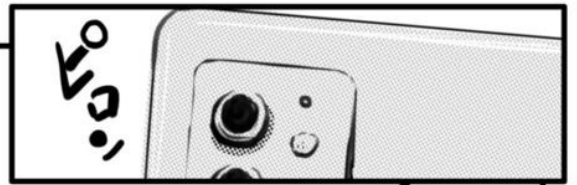
ッ

むっ  
むら  
かみ  
村上さんの

女学生の  
ぬぎたて。パンツ

リン  
パ  
ン  
ツ

む



一応  
もう少し――

口止めなら  
これでも十分  
だけど

へんたいですね  
先生――



先生しっかり  
協力してくれる  
から

ごほうび  
あげますね

え



直接

かがせてあげる



コクコク

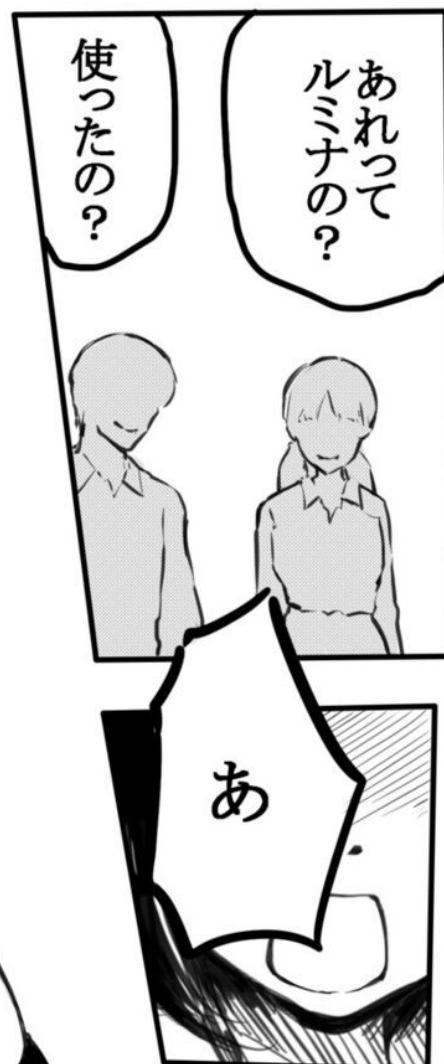
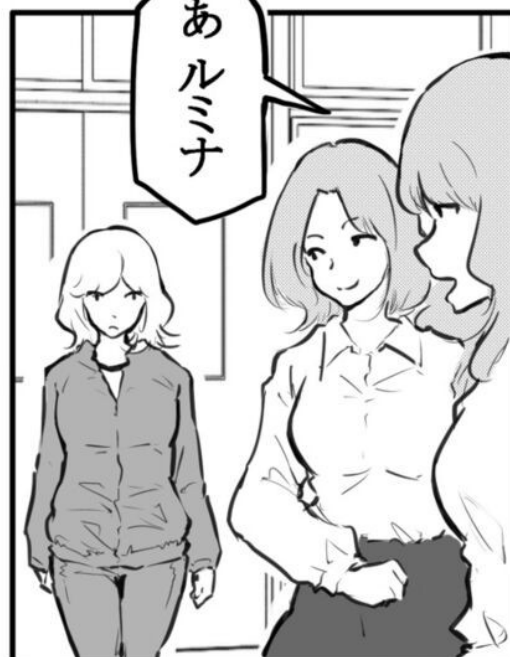
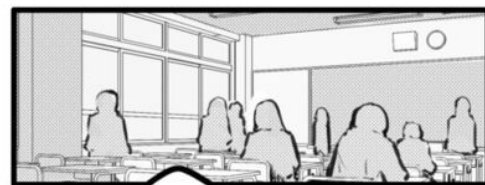
じゃあ  
先生

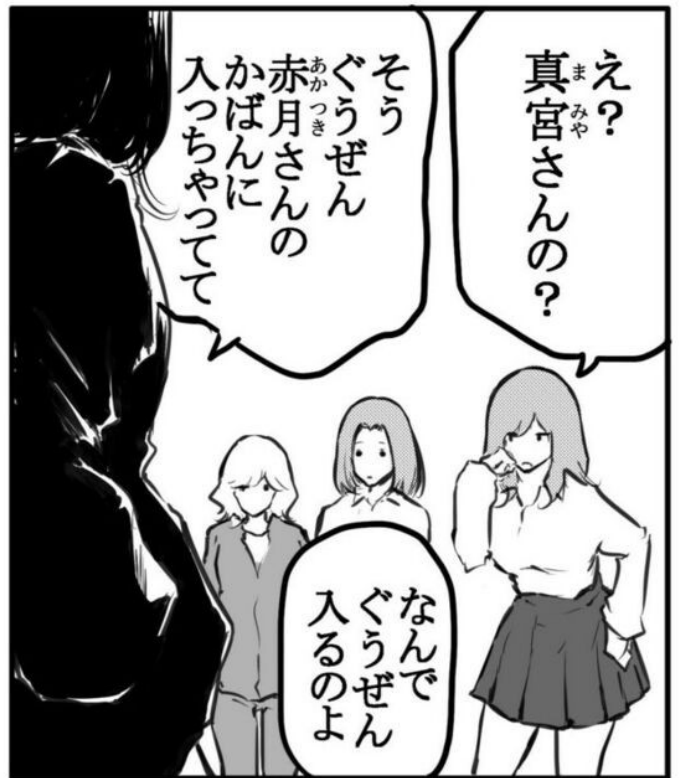
服ぬいで

覚室





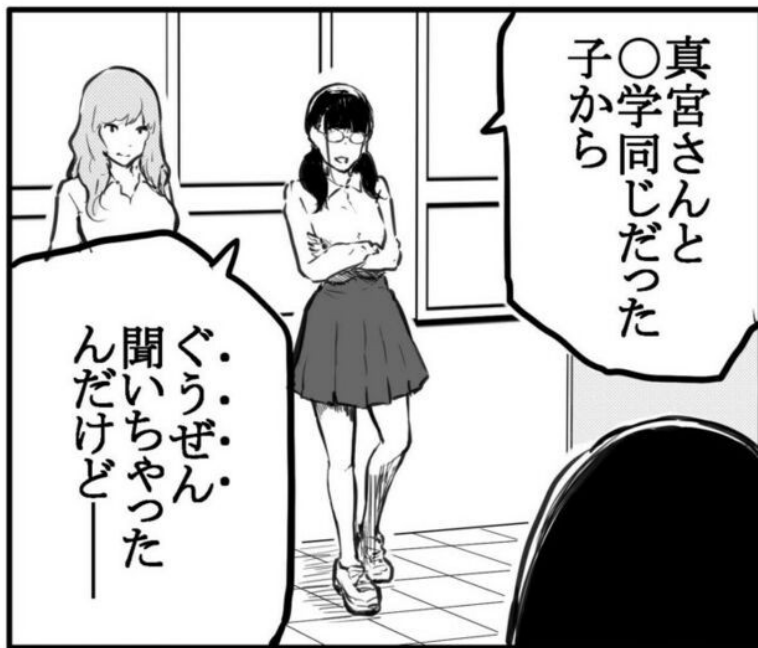














な…ツツ!?

お前もまた  
口に  
つつこまれて  
おもらししたい?



パンツ  
脱がなきゃ  
アウトだよ

アウトだよ

私はギリ  
トイレ内だったから  
セーフですー!!



だって私のせいで  
赤月さん

恥かしい  
ちやつた  
から



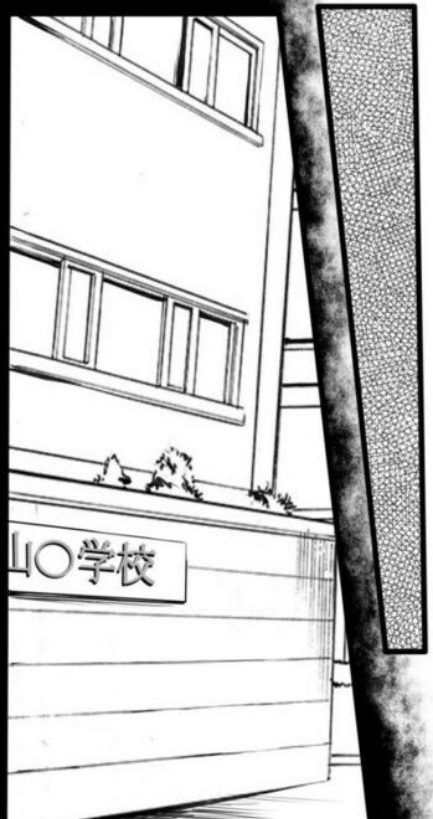
別に  
言わなくて  
よかったのに

.....



でも  
赤月さん  
ローター見たこと  
なかったんだね

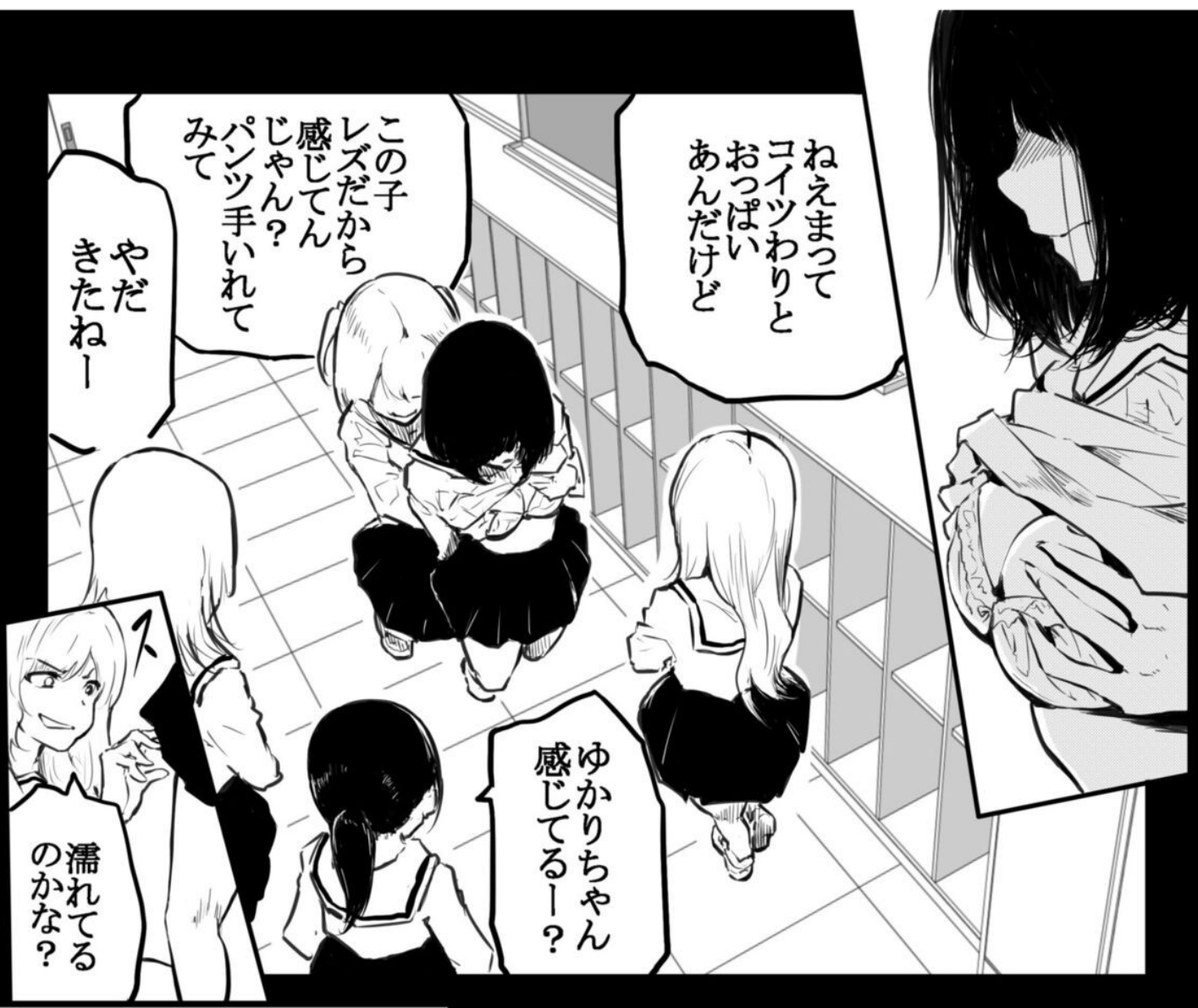
興味がない  
だけよッ  
つていうか  
あんたが  
おかしいのよ  
授業中まで  
使うって  
どんだけ.....



ああそれ...  
自分でやつた  
わけじゃないよ

私...前は  
気がよわくて







そいつの足  
おさえてッ

ヤリ  
た

ヤリ  
タ



罰として  
あんたが持ってた  
コレ

次の授業の  
あいだずっと  
入れとけ

途中で  
とつたら  
あんたの  
マ○コ  
写真とって  
晒すから





ん真宮

体調  
わるいか？

いえ

大丈夫です

顔あかいな  
熱あるんじゃないか？

いえ…  
ほんとに

あ…

あ…あ

びよろろろろ

びよろろろろ



え...?

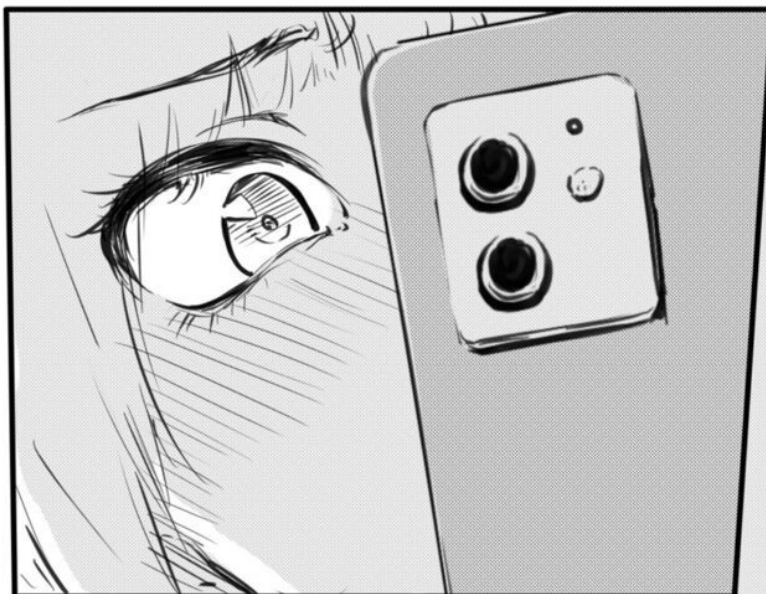
なに?

もらした?

あ

ああ...

ブルン









あつ まつて  
まつて  
やばい

あ...

おしっこ  
でちやう

いい...  
いいわよ

ああ...  
ああ...

んん...

おしっこ  
して...

じゅわん...

びしょ

びしょ

カ  
ア  
ア  
ア





ごめん  
先生…

おしこ  
まみれに  
しちやつた

いいえ  
最高よ

村上さん…





本所先生も  
なんだか  
あやしいし…



はあ…  
けつきよく  
何も  
わからな  
かったな



えれなに  
相談すれば

きっと  
助けて  
くれるん  
だろうけど



本所先生に  
なんの用だっただら



そういえば

こう見えて生きてます。(6)/おわり

# 第七話



家庭科  
ぬいぐるみ

何度も言うけど  
針に気をつけてねー

やったのよ  
言ってるのよ



ああ  
ゆいかちゃんは  
えれなちゃんを  
モデルにした  
んだっけ

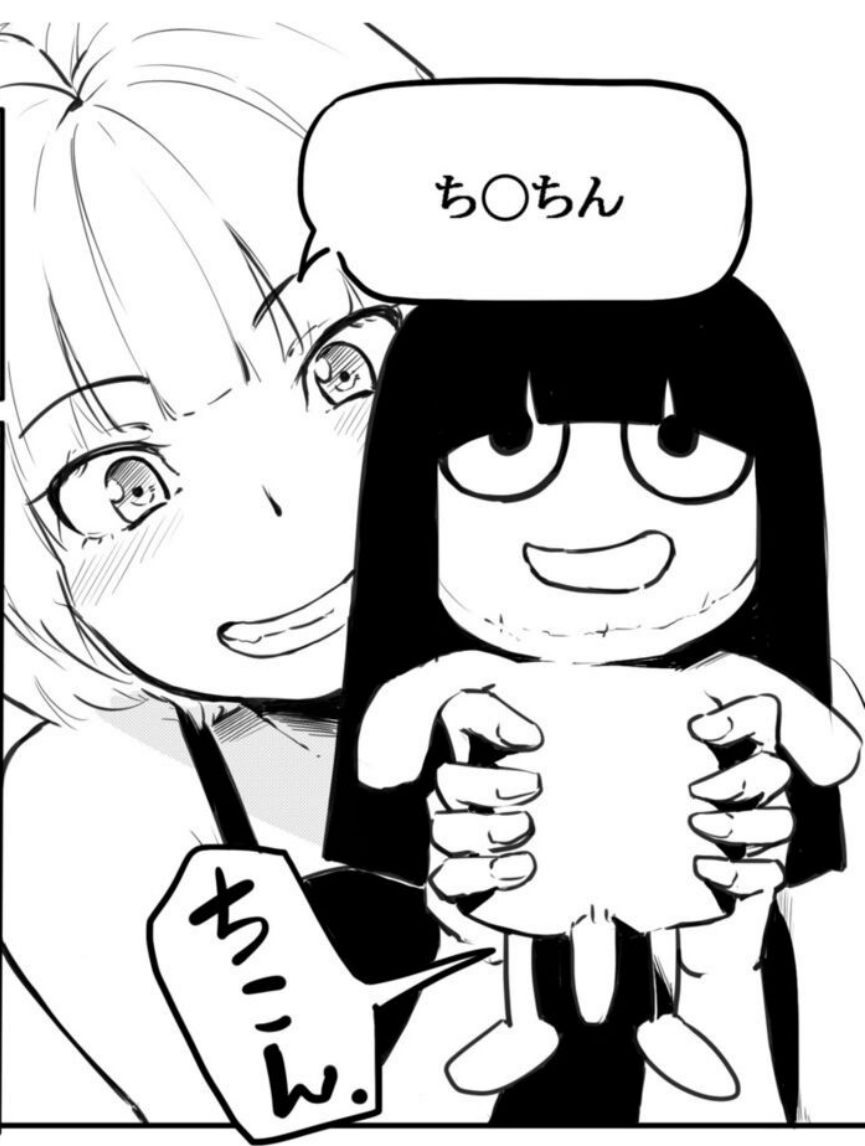
うん

私がえれなで  
えれなが

ゆいか



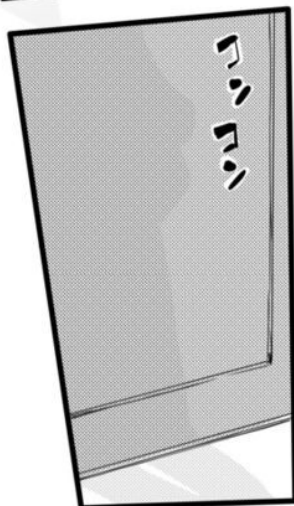
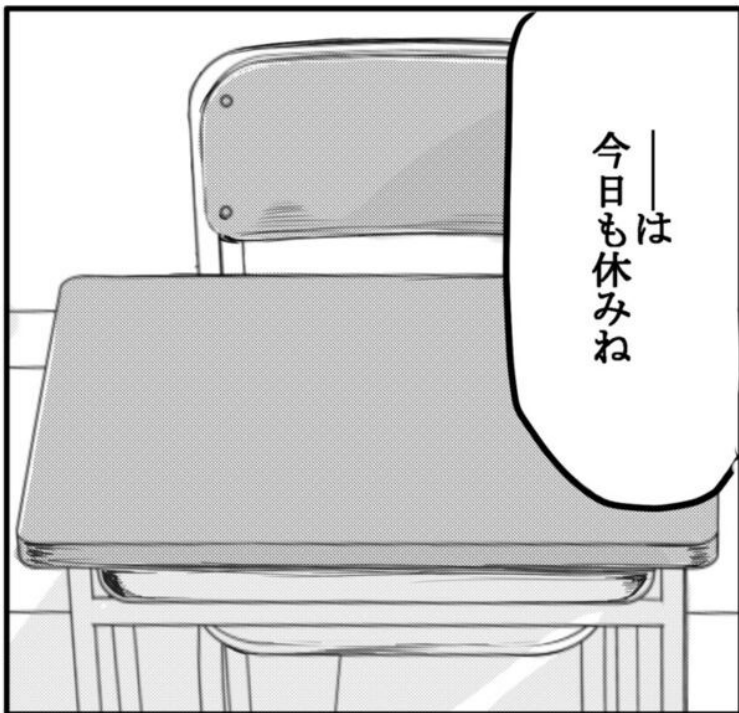


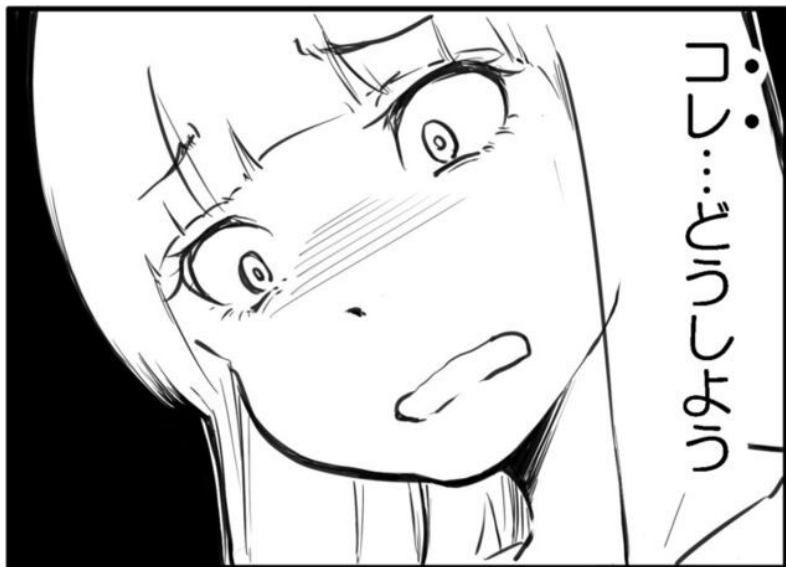


— 数日後 —







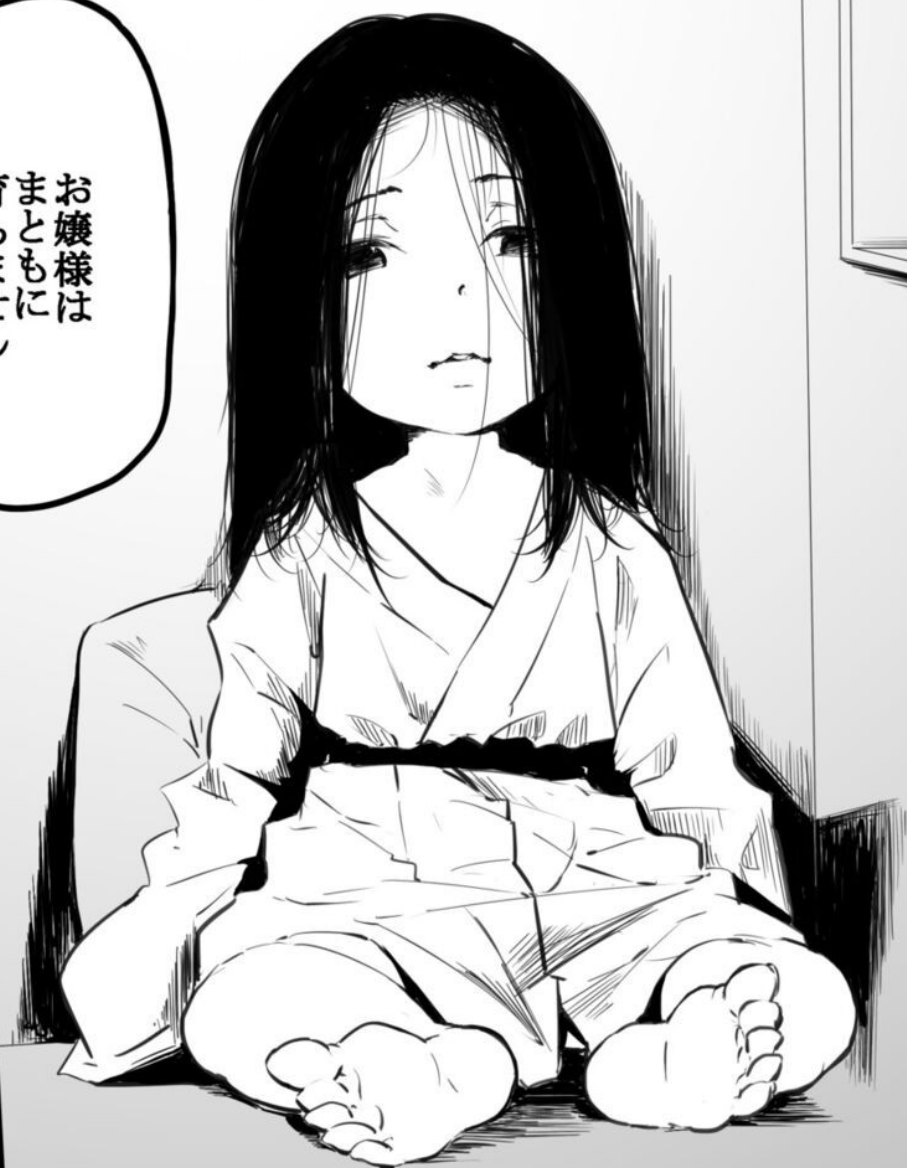








お嬢様は  
まともに  
育ちません



ただし行き先は  
必ず村の外  
車を出させるわ

そしてどこへ  
行ったかを必ず  
伝えなさい



——いいわ  
外出を許可  
しましょう

奥様……ッ

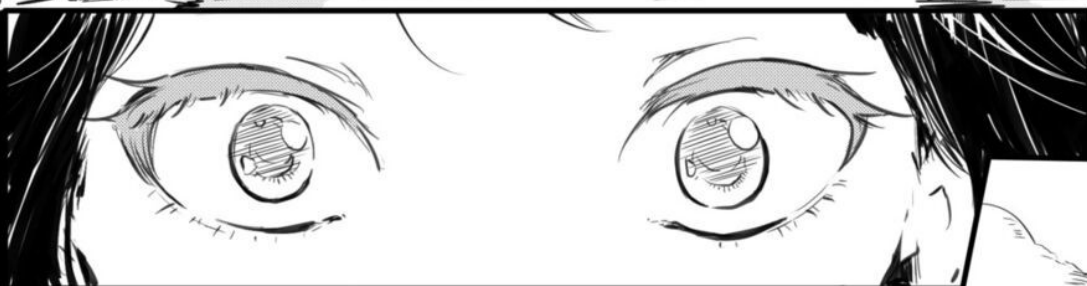
今日は  
村の外へ  
行きましょう

どこへ  
行きたい  
ですか……って

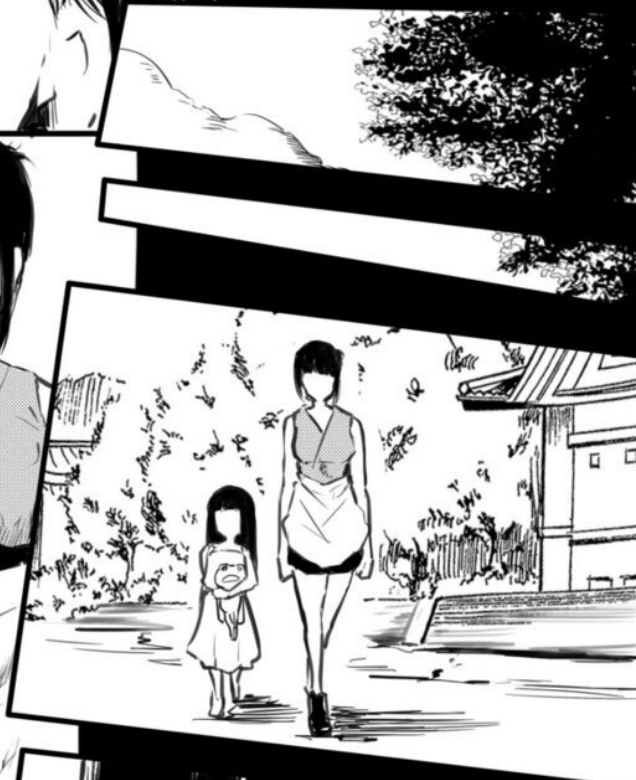
わからない  
ですよ

洋服も用意して  
もらったので  
髪を切りましょうか





めいや  
あれ







“ごうび”って  
なに？

さっちゃん  
はダメですよ



蛇……  
の交尾ですね



なかよし

.....



なかよし……



はちゅん

はん

さあ  
出すぞ...

はん

はん

はん

次はあんな  
失敗作  
ではなく

蛇神戸に  
ふさわしい子を  
孕めッ

はちゅん

はちゅん

孕めッ

はちゅん

はちゅん

はん

はん

はん

はちゅん







とてもうれしい  
ですがそれは

お嬢様が  
おとなになってから  
しましょう



——いい？  
蛇神戸家は  
もちろん  
この村の名前も  
出してはだめよ

連絡も  
極力ひかえる  
ように

学校の手続きも  
すませてあるから



あなたも  
これからは  
鳴美の性を  
名乗りなさい

めいや

それじゃ——

あの



奥様が穢れとして  
お嬢様をさけていた  
ことは承知して  
います。が最後に……  
お嬢様の髪を  
なでていただけ  
ませんか？

冗談じゃ  
ないわ

それで  
また

奥様に似て  
きれいな髪です

穢れが宿ったら  
どうするの

それに

それはあなたが  
毎日手入れを  
していたから  
でしょう



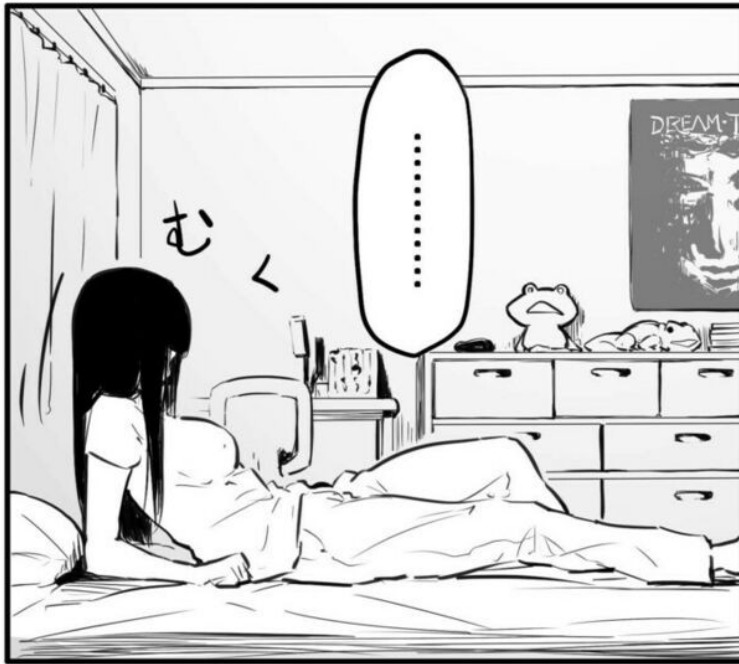


鳴美ゆいかちゃん



いきましよう  
お嬢様——  
いえ







!?

フ、フ、フ

ゆいかちゃん

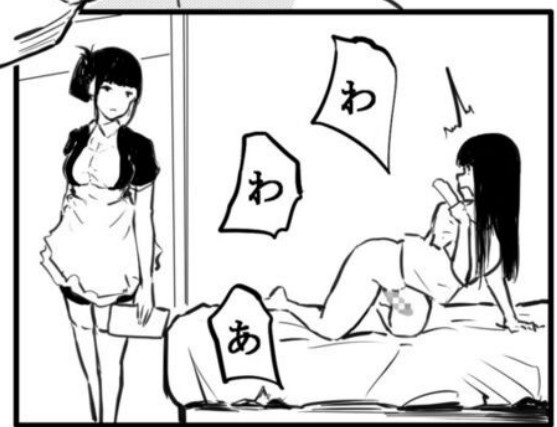
ゆいかちゃん  
宛てに何か  
来てー

!?

こう見えて生きてます。(7)／おわり



手伝いましょうか



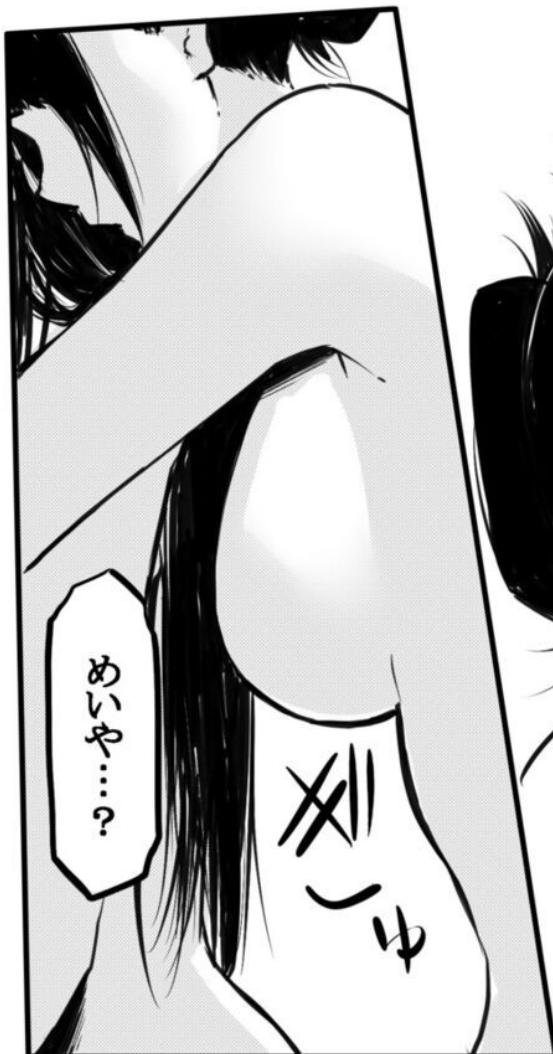
わ

わ

あ













できます



今日は…  
まだ…

ていうか本当に  
手伝ってくれるの？  
めいやそういうの  
できる？



………  
なんだか昔を  
思い出します  
こうやつて  
おしっこさせて  
ましたね

やめてよ  
覚えてないし

あつねえ  
このまま  
出したら  
シーツよこれ  
ちやう…

私が  
洗濯します



ふふ  
いっぱいだしてね









あッビッ

あッ♡

ビッ

あッ

あッ

セ

あううう

セ

あッ♡  
あッ♡  
あッ♡

はッ

はッ

こちらも  
準備はよさそう  
ですね

さっきのブツを  
使いましょう

いつ買ったんですか  
こんなの

なんか手際  
よくない?



いき  
ますよ

ゆつくり...ね

みち..



あ...私いられるの  
慣れてないから....

あ...あああ  
入ってる...ッ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ







カッぽ  
カッぽ  
カッぽ

カッぽ

カッぽ  
カッぽ

は...ああ

は

ああ

ああ

はちゃん

さあ  
射精だあ  
射精し切つて  
しまいましよう

はちゃん

ああ

はちゃん





んっ

びん

あ

びん

あ

イク

イクう

びん

びん

いきすぎなの...ッッ

はちゃん

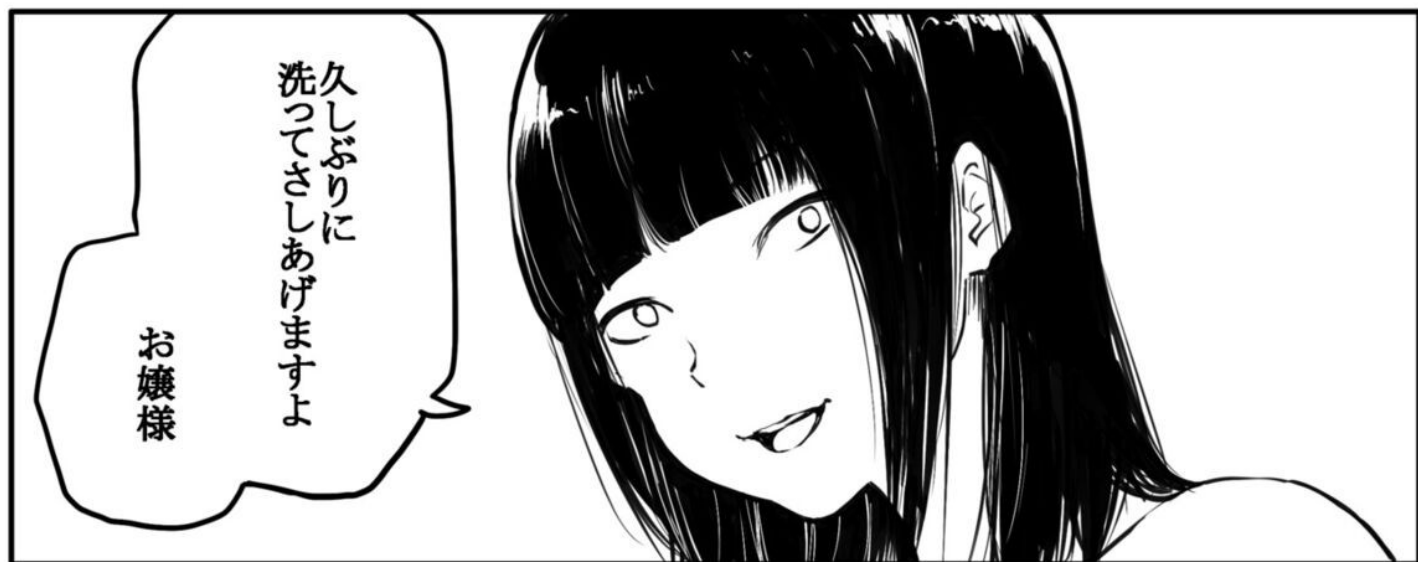
はちゃん

はちゃん

はちゃん

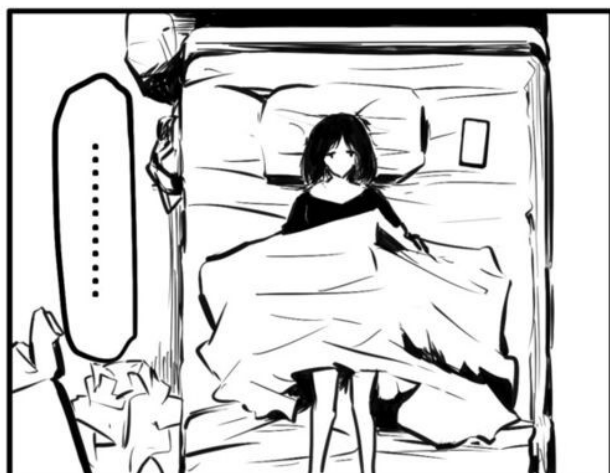
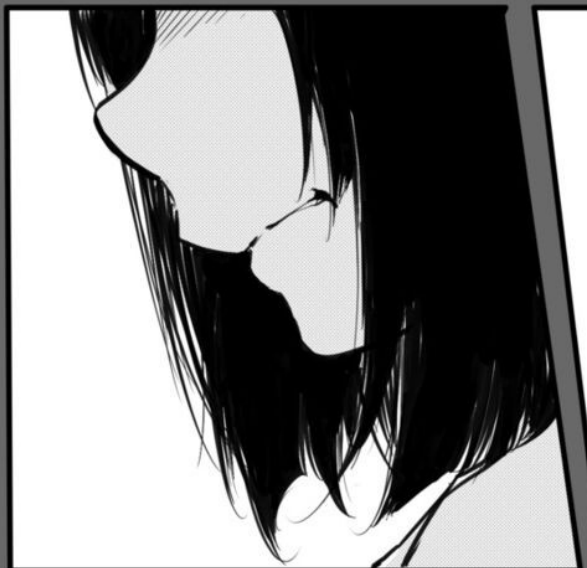
はちゃん









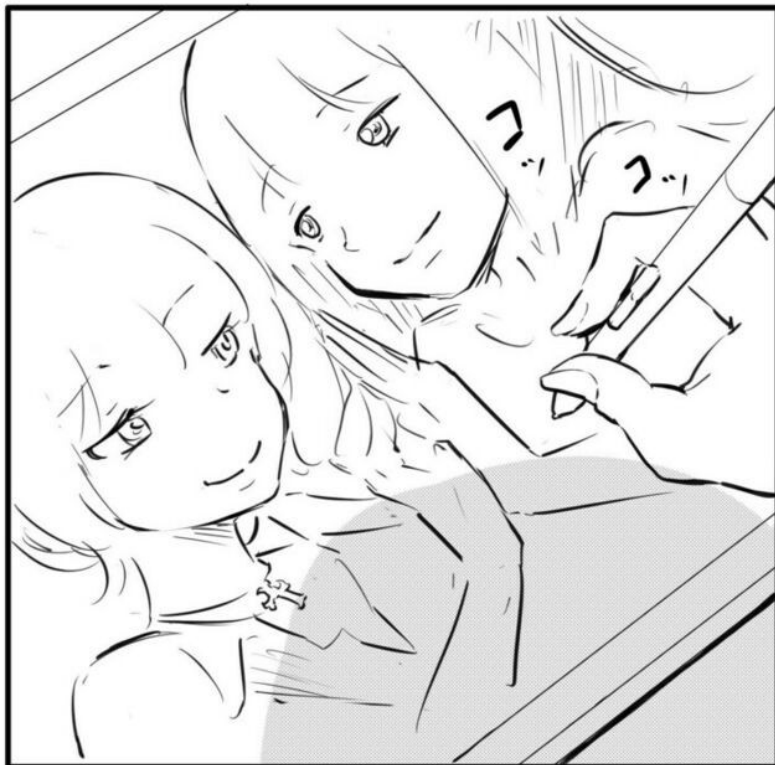
















なりみ  
鳴美せんぱいと  
むらかみ  
村上せんぱい



やっぱり  
オティンティン・  
タタンティンノ  
監督といえは  
『ホッテル』よね  
2のオチとか  
笑っちゃったもん



『ボイーン・  
ユレテルノ』  
もけっこう  
おもしろかったよ  
途中  
捕まってさ——

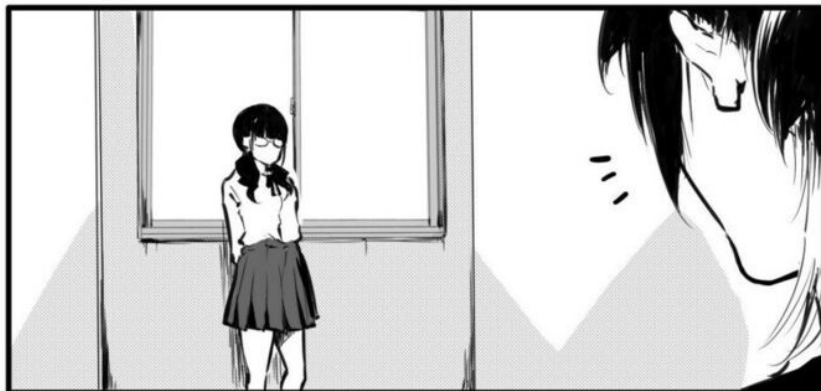


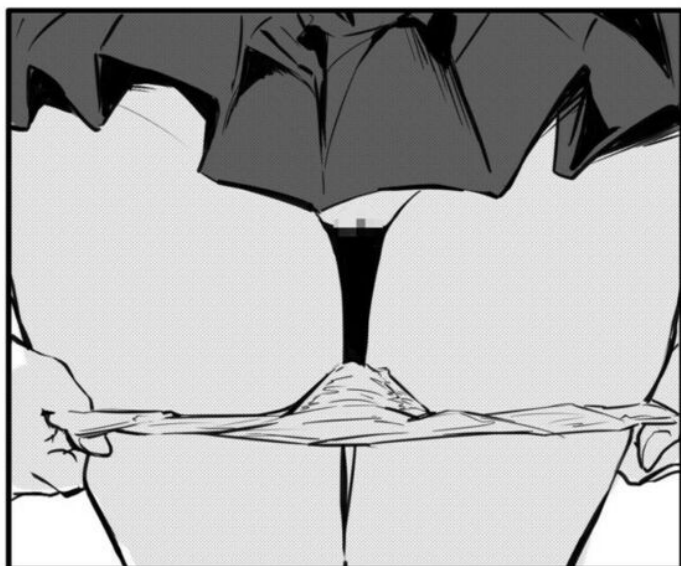
あれ：  
真宮ちゃん



おはよう  
ございます









—ていうか  
お前もレズ  
なんでしょ

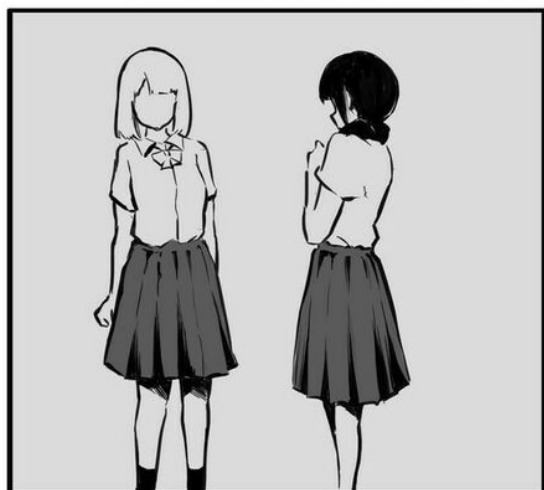


なんでそんなこと  
お前に言われなきゃ  
なんないの？

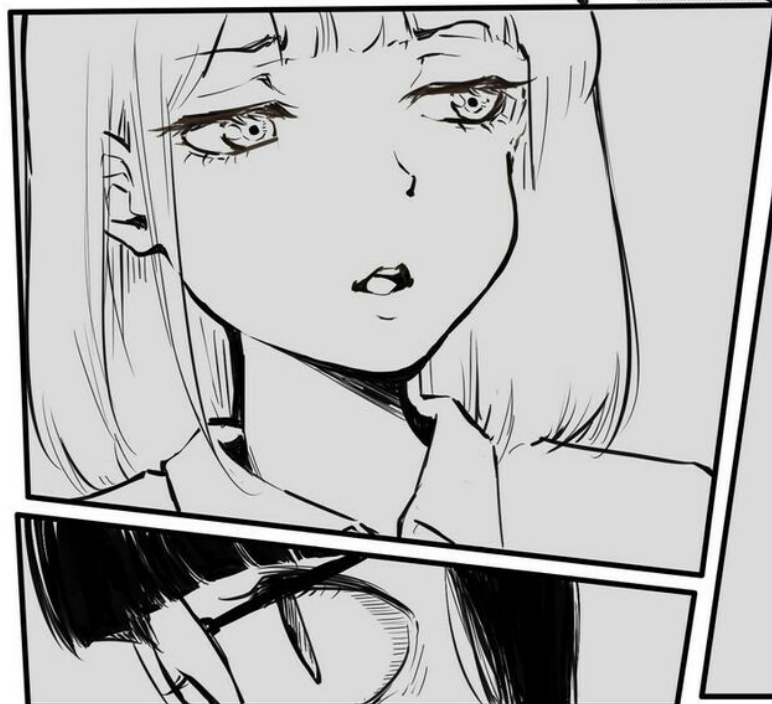
鳴美先輩たちの間に  
割ってはいんなって  
言っただじゃん



なら好きって  
言えばいいじゃん



.....







一方的に  
マイノリティな好意  
ぶつけたら迷惑  
でしょ



うちらはそんな  
簡単に気持ち  
伝えちゃいけない  
んだよ

こしこし

なんでよ



お前

自分が臆病なのに  
いろいろ理由つけて  
優等生ぶってる  
だけでしょ



人が人を  
好きになつて  
わるい？

私は気持ちに  
従ってるだけ



バタン.

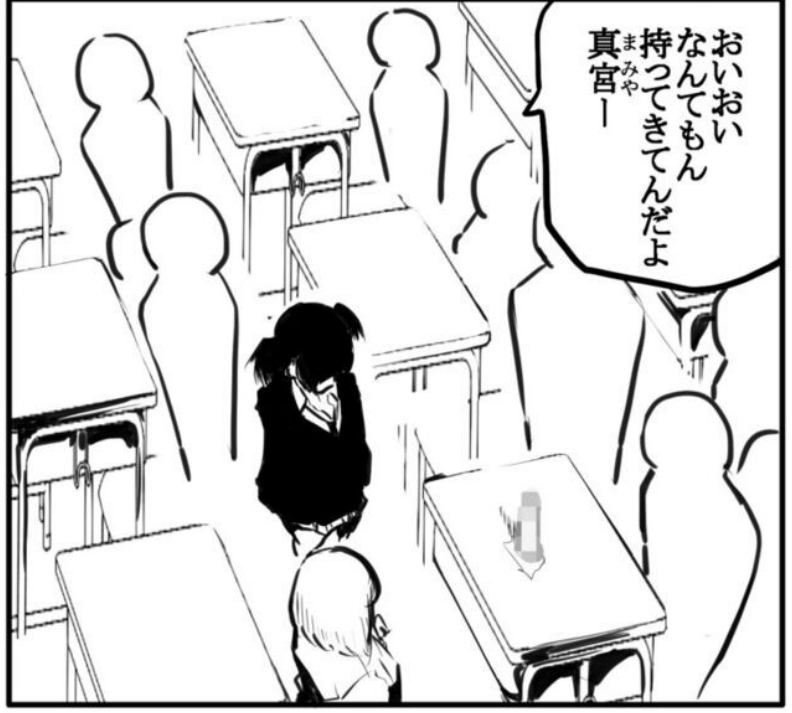


それが自分勝手に  
迷惑かけるって  
言ってるの

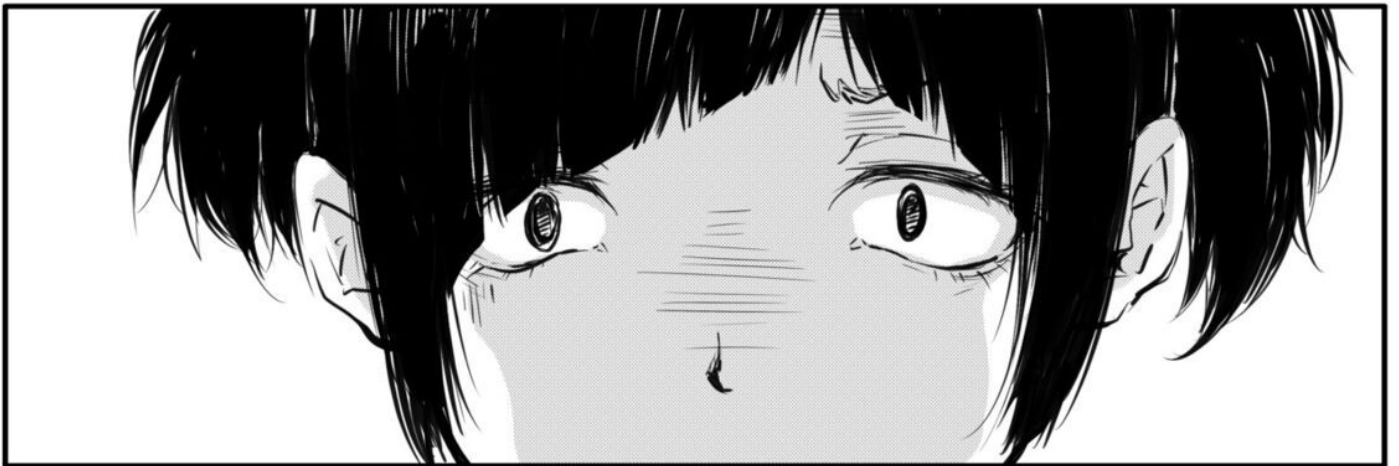
それこそ  
お前に言われる  
筋合いない



# 第九話









くそ...っ  
すべって  
とれない



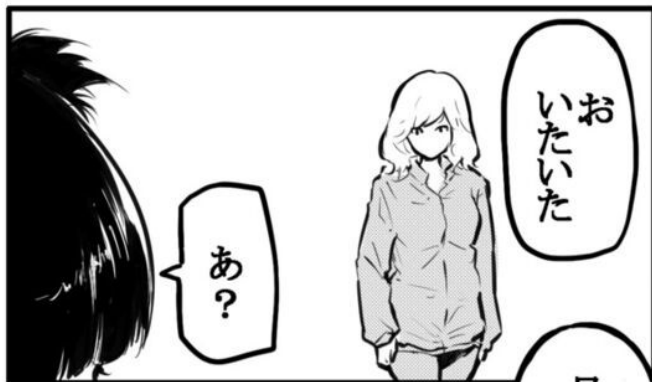
わざわざ  
ローションまで  
塗りやがって

ぬる

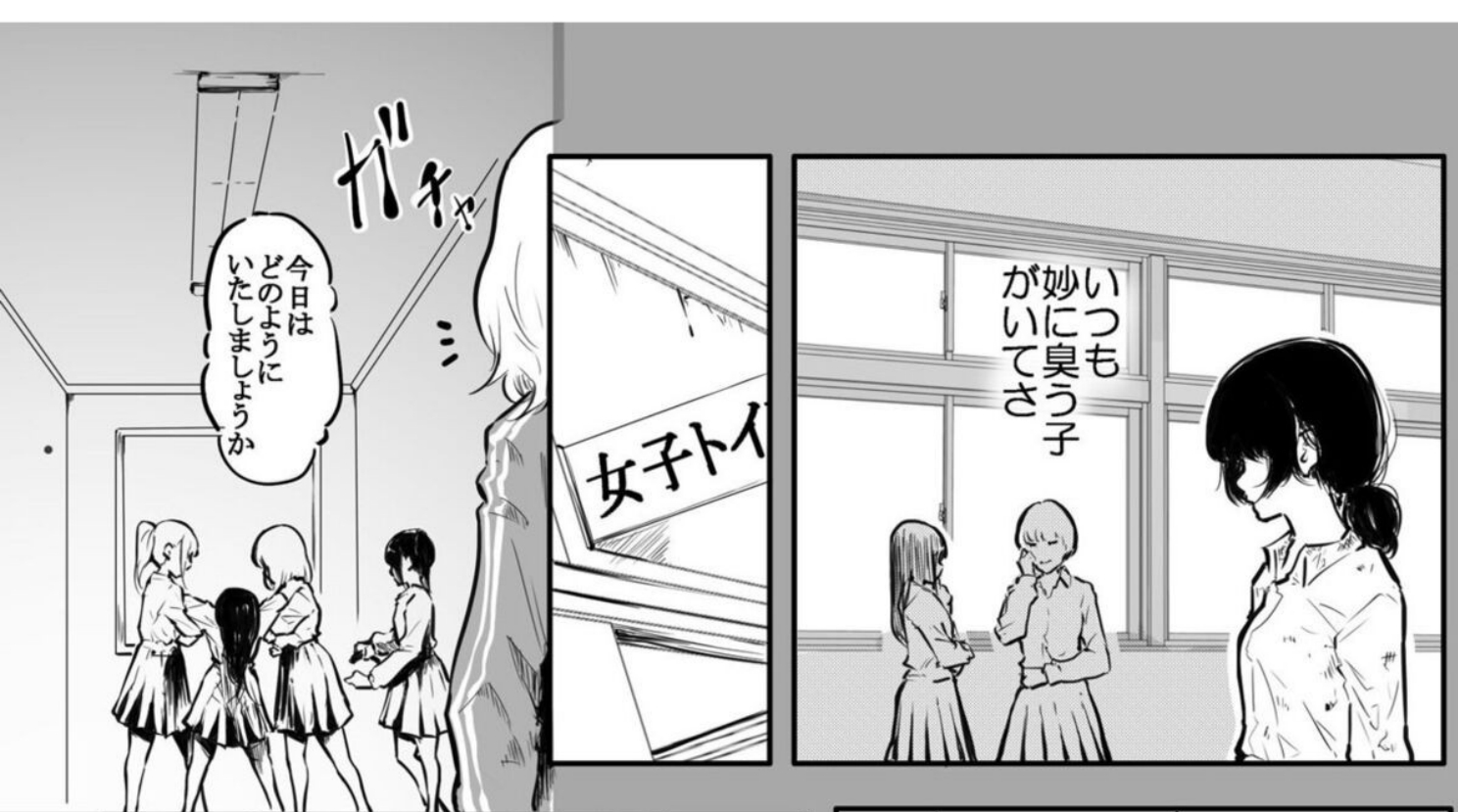


手コキなら  
オレのやつて  
くれよ

















多勢の勝ち馬  
には乗らないって  
決めてんのよ

それって  
私がハブられて  
いじめられてたら  
いいってこと？

でももし  
そうならっても

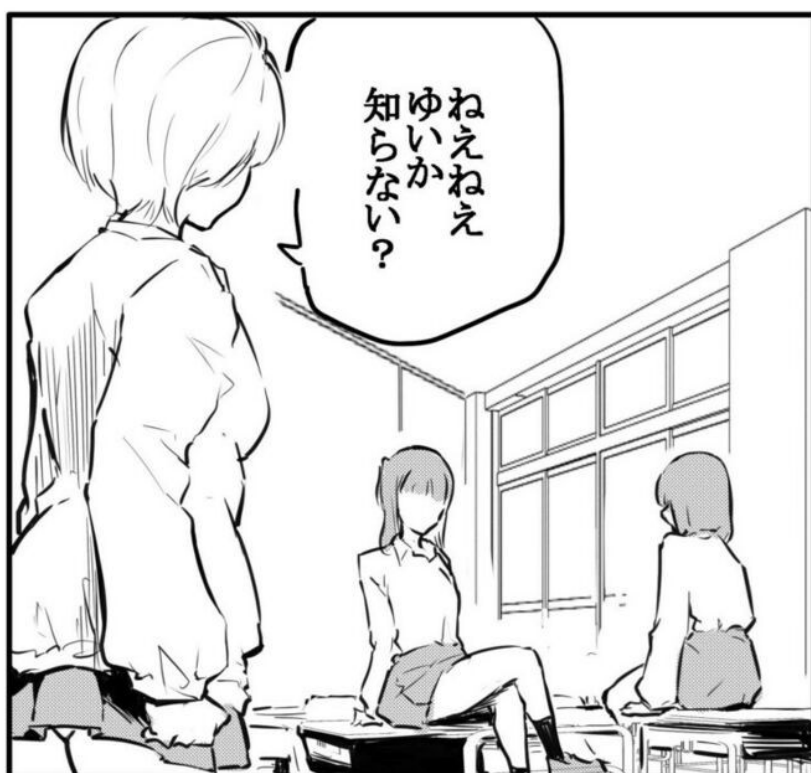
別に  
ただの私の  
自己満足よ

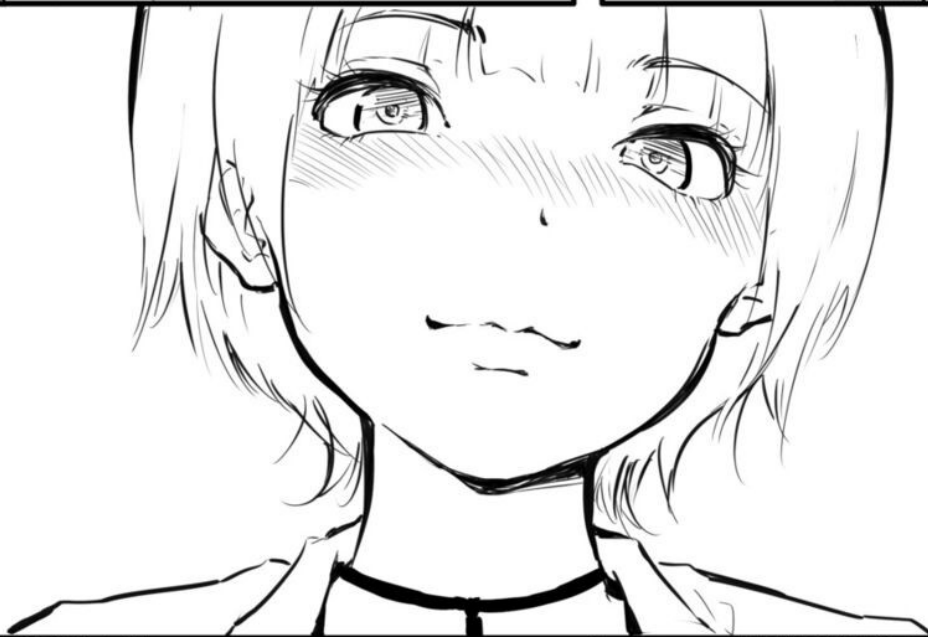
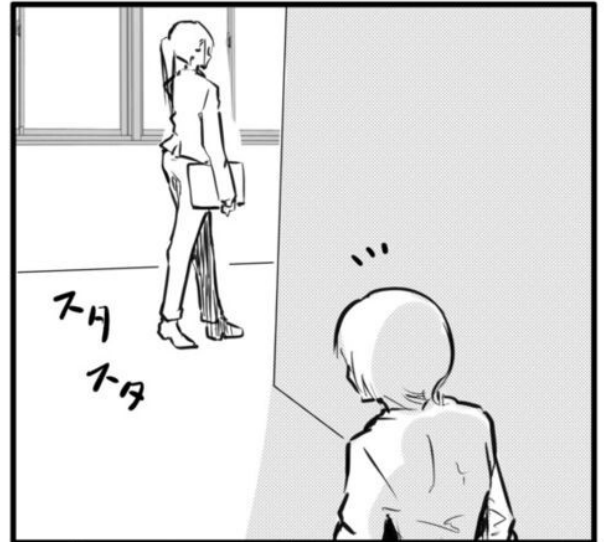
スッ

そんな理由では  
はなれたりしない

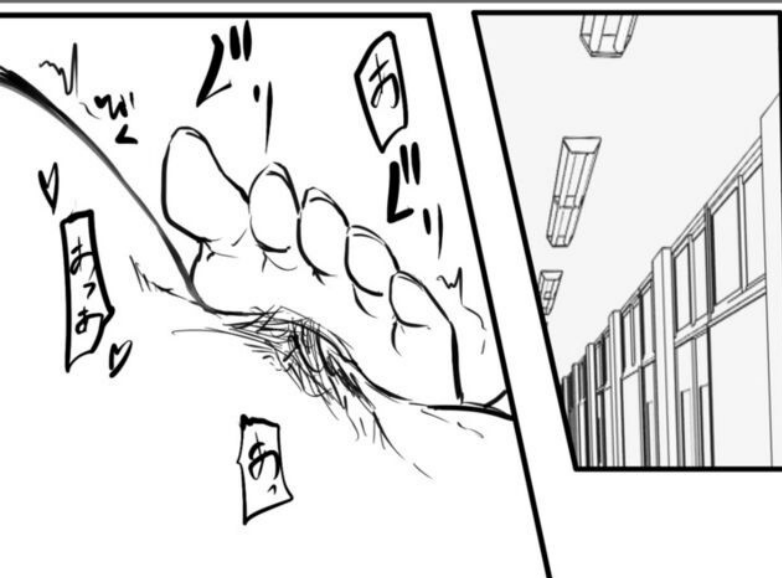
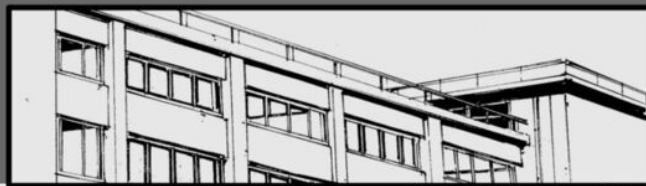
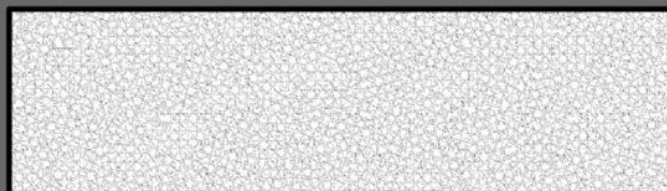
赤月さん…

あの子…

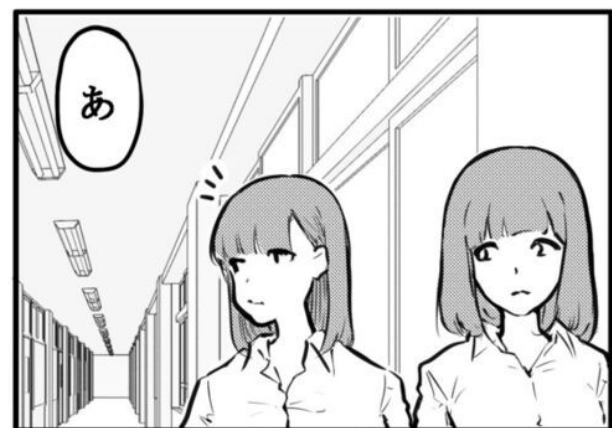
















もっと  
気持ちよく  
なれたかな

ああつ…奥ッ

おま〇この奥  
はいつてる…ッッ

はあ

きもちいいっ…

はあ

きゅ きもちいいん

もいっ…ッ  
もいっ…ッ  
もいっ…ッ

はあ

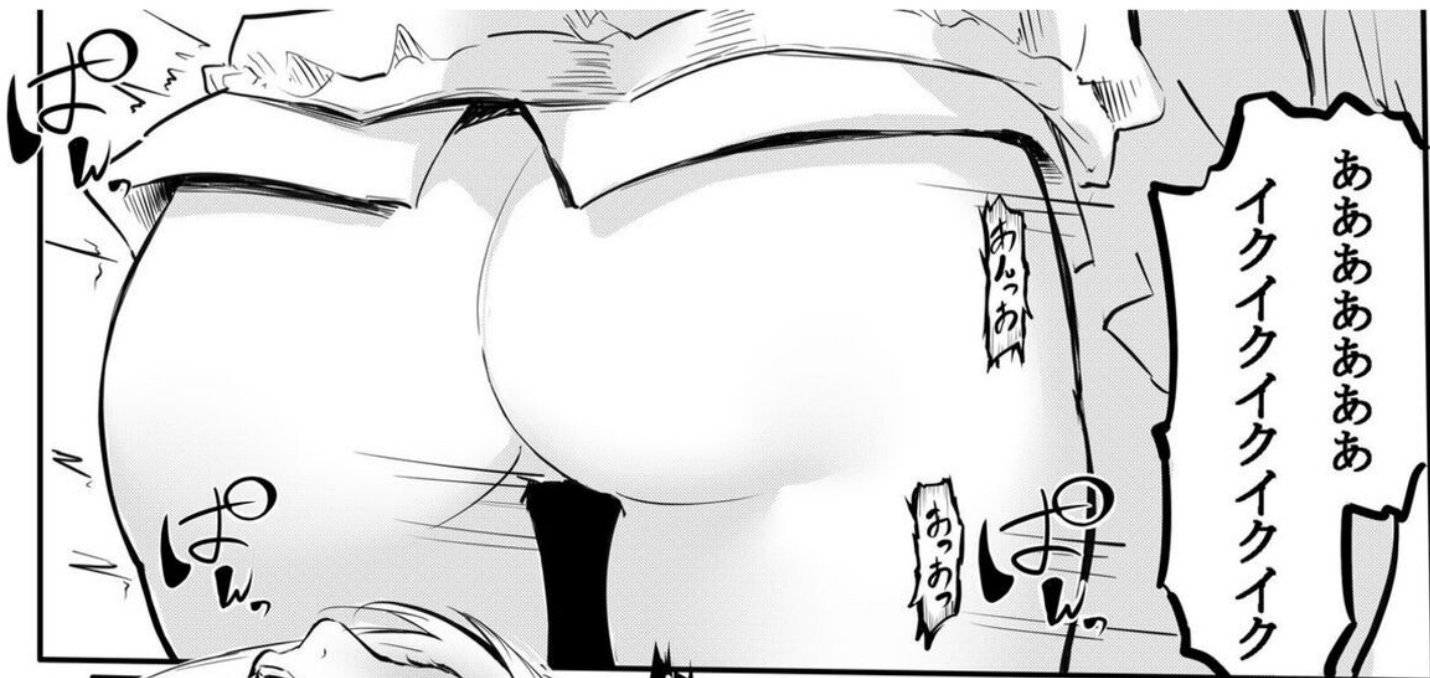
こいし

はあ

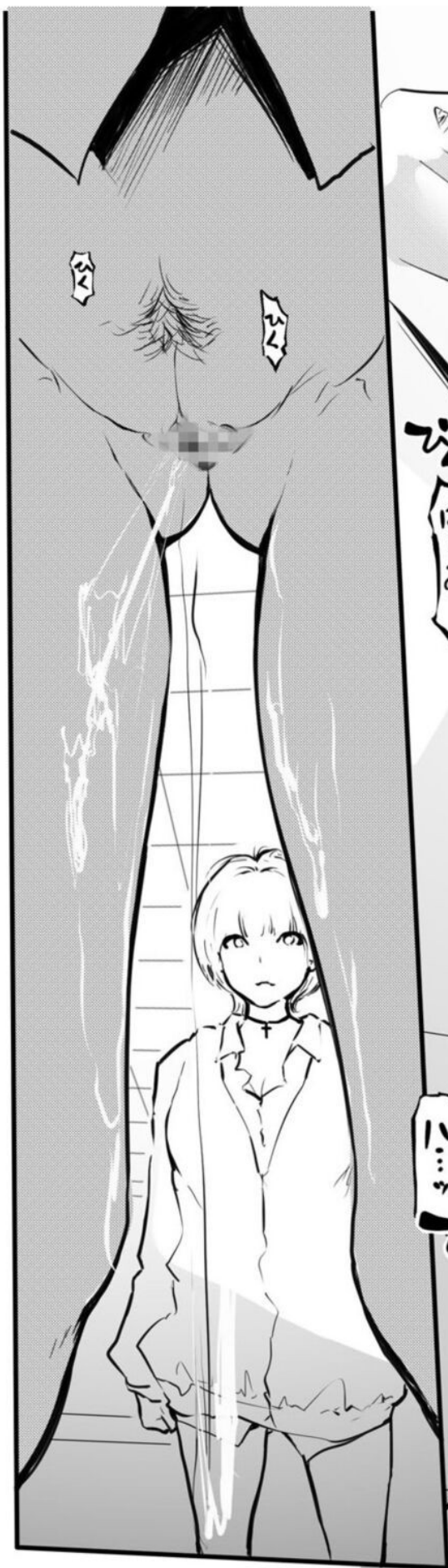
はあ











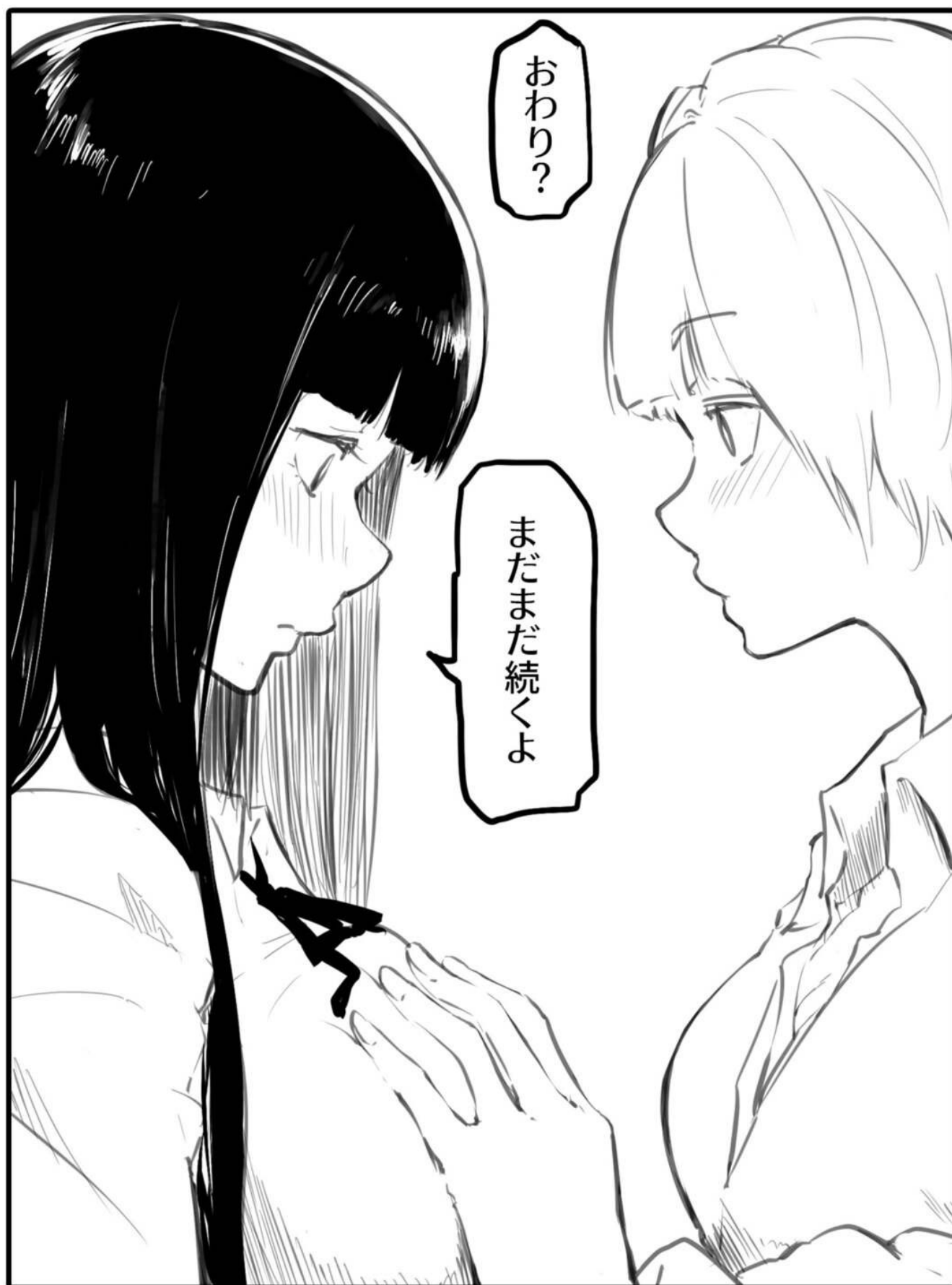


えれな  
???..??

え?..え?  
何してんの!?







おわり?

まだまだ続くよ

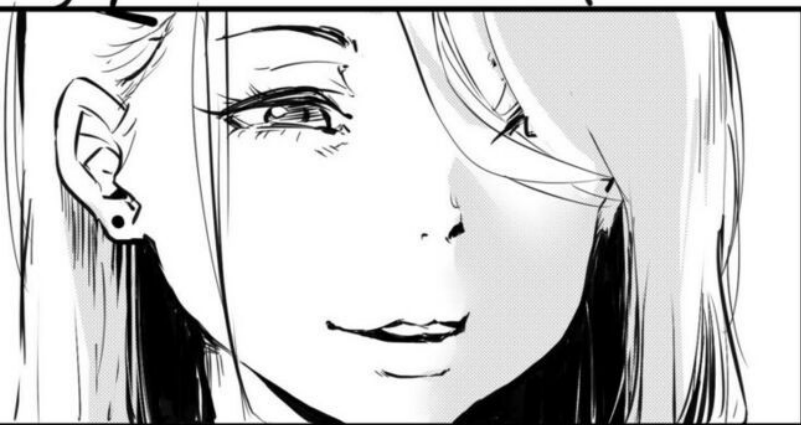
# つづき

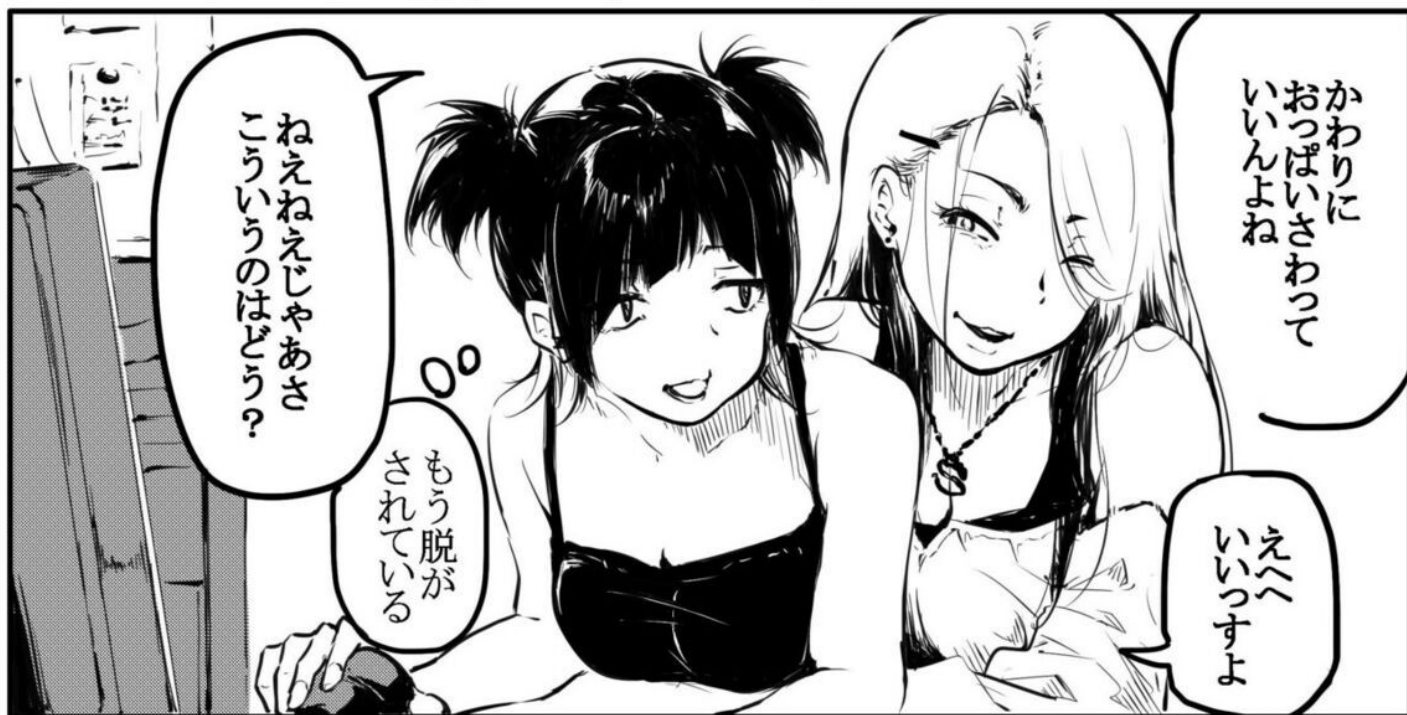
『こう見えて生えてます。(10)』

チラ  
見せ















私もえれなの  
おち○ちん

……あ

ほしいな――

こんな場所で  
こんなこと  
してたらダメなのに

止められない

はあ

はあ……

あ

あ

あ……ああ  
おま○こ  
いじってたら

おち○ちん  
大きくなつて  
きちゃった

い

や……

や……

チラ見せは  
ここまで――





👉 カラーイラスト

まる 見せ















『こう見えて生きてます。』単行本を  
ご購入いただきありがとうございます。

女の子にちんこが生えているというのは  
本来ありえない余計なものです、  
人の心を豊かにするのはそういう余計なもの  
であるとも思います。  
エロ漫画を買って読む時間がまさにそうです。  
そして、そんなものを描くことに心血を注げることは  
とても幸せなことかもしれません。

人生の本質は余計なちんこかもしれません

この漫画がそんな、ほんのささやかな心の豊かさの  
ひとつにでもなれたらと思います

laiking





★この度は、本作をお買い上げいただき有り難うございます。  
ご感想・ご意見等ございましたら、下記の住所までお送りください。

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-19-2-5F  
株式会社プレステージ出版  
「コミックス感想」係

皆様のお便りを心よりお待ちしております。

## 【電子単行本】 こう見えて生きてます。

著者/風雲"アライ"だいき  
発行/プレステージ出版

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。  
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネット  
へのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

ウェブサイト・公式SNSで  
最新情報をチェック!!



ウェブサイト



編集部公式X